

第2章

令和3年度調査集計結果

1 回収状況

《一般》

* 年齢基準日 令和3年4月15日現在

区分(歳)	人口(人)			抽出(人)			集計数(人)				回収率(%)		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男	女	不明	計	男	女	計
18-19	2,835	2,668	5,503	78	72	150	33	29	1	63	42.3	40.3	42.0
20-24	6,911	6,070	12,981	184	160	344	44	63	2	109	23.9	39.4	31.7
25-29	6,525	5,915	12,440	174	157	331	42	65	1	108	24.1	41.4	32.6
30-34	6,914	6,627	13,541	184	174	358	55	85	1	141	29.9	48.9	39.4
35-39	7,701	7,412	15,113	205	197	402	73	96	1	170	35.6	48.7	42.3
40-44	8,864	8,557	17,421	235	227	462	86	107	0	193	36.6	47.1	41.8
45-49	10,238	10,023	20,261	273	266	539	117	143	3	263	42.9	53.8	48.8
50-54	9,213	9,207	18,420	245	245	490	102	144	3	249	41.6	58.8	50.8
55-59	8,786	8,664	17,450	234	232	466	109	153	1	263	46.6	65.9	56.4
60-64	8,751	8,967	17,718	234	239	473	143	167	3	313	61.1	69.9	66.2
65-69	9,565	10,018	19,583	254	268	522	175	191	4	370	68.9	71.3	70.9
70-74	10,243	11,336	21,579	271	302	573	189	214	19	422	69.7	70.9	73.6
75-79	6,526	8,134	14,660	174	216	390	123	149	4	276	70.7	69.0	70.8
80-84	4,933	7,156	12,089	132	191	323	91	140	6	237	68.9	73.3	73.4
総計	108,005	110,754	218,759	2,877	2,946	5,823	1,394	1,760	51	3,205	48.5	59.7	55.0

※抽出は各年齢層人口の2.66%をアンケート送付対象者として算出

《学童思春期》

* 在籍日 令和3年4月1日現在

区分	在籍児童・生徒数					配布・回収数			集計数(福島市在住)(人)			
	公立	国立	私立	特別支援 (盲・聾・ 養護等)	計	配布数 (人)	回収数 (人)	回収率 (%)	男性	女性	無回答	計
小1	2,070	104	22	33	2,229	179	161	89.9	83	78	0	161
小2	2,090	101	33	32	2,256	153	130	85.0	62	68	0	130
小3	1,881	103	21	32	2,037	154	134	87.0	69	65	0	134
小4	2,014	101	24	28	2,167	183	175	95.6	88	87	0	175
小5	2,032	100	22	27	2,181	196	188	95.9	83	104	0	187
小6	2,086	103	28	28	2,245	142	142	100.0	76	66	0	142
中1	2,091	140	43	43	2,317	192	181	94.3	78	99	0	177
中2	2,156	138	31	31	2,356	227	218	96.0	116	92	0	208
中3	2,257	134	30	30	2,451	203	187	92.1	92	95	0	187
高1	1,942		920	79	2,941	369	362	98.1	182	132	1	315
高2	1,980		836	68	2,884	301	297	98.7	156	73	2	231
高3	2,101		855	55	3,011	290	284	97.9	62	130	2	194
総計	24,700	1,024	2,865	486	29,075	2,589	2,459	95.0	1,147	1,089	5	2,241
再)小	12,173	612	150	180	13,115	1,007	930	92.4	461	468	0	929
再)中	6,504	412	104	104	7,124	622	586	94.2	286	286	0	572
再)高	6,023		2,611	202	8,836	960	943	98.2	400	335	5	740

2 対象者の属性

(1) 家族構成（一般のみ）

家族構成（あてはまるもの1つに○）

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 単身世帯（自分のみ） | 2. 夫婦のみ |
| 3. 夫婦と未婚の子の世帯 | 4. あなたと未婚の子の世帯 |
| 5. 三世代家族 | 6. その他 |

【全体】家族構成は「夫婦と未婚の子の世帯」が30.4%、次いで「夫婦のみ」が27.9%、「単身世帯（自分のみ）」が15.8%である。

【年代】20歳代は「単身世帯（自分のみ）」が最も高く、60歳以上は「夫婦のみ」が最も高い。

〈図表1〉家族構成（一般） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
単身世帯（自分のみ）	9 14.3	68 31.3	39 12.5	52 11.4	60 11.7	92 13.5	128 18.3	56 23.6	3 10.7	217 15.6	283 16.1	7 13.7	507 15.8
夫婦のみ	0 0.0	20 9.2	29 9.3	44 9.6	130 25.4	266 38.9	308 44.1	90 38.0	6 21.4	416 29.8	459 26.1	18 35.3	893 27.9
夫婦と未婚の子の世帯	24 38.1	56 25.8	177 56.9	244 53.5	179 35.0	151 22.1	112 16.0	25 10.5	6 21.4	443 31.8	519 29.5	12 23.5	974 30.4
あなたと未婚の子の世帯	1 1.6	1 0.5	9 2.9	16 3.5	17 3.3	41 6.0	39 5.6	17 7.2	2 7.1	20 1.4	121 6.9	2 3.9	143 4.5
三世代家族	11 17.5	35 16.1	25 8.0	48 10.5	64 12.5	51 7.5	59 8.5	21 8.9	6 21.4	136 9.8	177 10.1	7 13.7	320 10.0
その他	13 20.6	35 16.1	30 9.6	47 10.3	58 11.3	69 10.1	40 5.7	17 7.2	2 7.1	137 9.8	171 9.7	3 5.9	311 9.7
無回答	5 7.9	2 0.9	2 0.6	5 1.1	4 0.8	13 1.9	12 1.7	11 4.6	3 10.7	25 1.8	30 1.7	2 3.9	57 1.8
計	63 100.0	217 100.0	311 100.0	456 100.0	512 100.0	683 100.0	698 100.0	237 100.0	28 100.0	1,394 100.0	1,760 100.0	51 100.0	3,205 100.0

(2) 勤務形態（一般のみ）

勤務形態（あてはまるもの1つに○）

1. 常勤（自営含む） 2. パート 3. 無職（学生、専業主婦・主夫を含む）

【全体】勤務形態は「常勤（自営含む）」が42.7%、次いで「無職（学生、専業主婦・主夫を含む）」が40.2%、「パート」が13.3%である。

【年代】20～59歳は「常勤（自営含む）」が最も高く、60歳以上は「無職（学生、専業主婦・主夫を含む）」が最も高い。

【性別】男性は「常勤（自営含む）」が59.2%で最も高く、次いで「無職（学生、専業主婦・主夫を含む）」が32.6%、「パート」が4.9%である。女性は「無職（学生、専業主婦・主夫を含む）」が46.2%で最も高く、次いで「常勤（自営含む）」が29.9%、「パート」が19.9%である。

〈図表2〉勤務形態（一般） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	18・ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 79歳	80～ 84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
常勤（自営含む）	12 19.0	138 63.6	207 66.6	324 71.1	318 62.1	250 36.6	95 13.6	15 6.3	9 32.1	825 59.2	527 29.9	16 31.4	1,368 42.7
パート	2 3.2	22 10.1	41 13.2	85 18.6	102 19.9	118 17.3	50 7.2	1 0.4	4 14.3	68 4.9	350 19.9	7 13.7	425 13.3
無職（学生、専業主婦・主夫を含む）	46 73.0	53 24.4	61 19.6	44 9.6	88 17.2	301 44.1	504 72.2	182 76.8	10 35.7	455 32.6	813 46.2	21 41.2	1,289 40.2
無回答	3 4.8	4 1.8	2 0.6	3 0.7	4 0.8	14 2.0	49 7.0	39 16.5	5 17.9	46 3.3	70 4.0	7 13.7	123 3.8
計	63 100.0	217 100.0	311 100.0	456 100.0	512 100.0	683 100.0	698 100.0	237 100.0	28 100.0	1,394 100.0	1,760 100.0	51 100.0	3,205 100.0

(3) 就業時間 (一般のみ)

就業時間

約 時間

※就業時間は、1週間就業した場合の1日の平均就業時間を記入してください。
(30分以上は切り上げ)

①常勤 (自営含む)

【全体】常勤 (自営含む) の就業時間は「8時間以上～9時間未満」が57.8%で最も高く、次いで「9時間以上～10時間未満」が10.2%、「10時間以上～11時間未満」が8.6%である。

平均は9.1時間である。

【年代】全年代を通じて「8時間以上～9時間未満」が最も高い。

平均は20歳代が9.4時間、30歳代が9.5時間、40歳代が9.7時間と他の年代に比べて高い。

【性別】男性は「8時間以上～9時間未満」が55.2%で最も高く、次いで「9時間以上～10時間未満」が11.3%、「10時間以上～11時間未満」が11.0%であり、9時間以上が32.3%と女性(19.8%)を上回っている。女性は「8時間以上～9時間未満」が62.2%で最も高く、次いで「9時間以上～10時間未満」が8.7%、「7時間以上～8時間未満」が6.8%である。

平均は男性が9.4時間、女性が8.6時間である。

〈図表3〉常勤 (自営含む) の就業時間 (一般) 年齢階級・性別

(単位: 上段人数(人)・下段割合(%))

区分	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体
5時間未満	0 0.0	1 0.7	2 1.0	2 0.6	2 0.6	12 4.8	18 18.9	3 20.0	0 0.0	20 2.4	19 3.6	1 6.3	40 2.9
5時間以上～6時間未満	1 8.3	1 0.7	2 1.0	2 0.6	3 0.9	6 2.4	7 7.4	0 0.0	0 0.0	9 1.1	13 2.5	0 0.0	22 1.6
6時間以上～7時間未満	1 8.3	2 1.4	4 1.9	4 1.2	5 1.6	11 4.4	14 14.7	2 13.3	0 0.0	23 2.8	17 3.2	3 18.8	43 3.1
7時間以上～8時間未満	0 0.0	7 5.1	12 5.8	8 2.5	8 2.5	18 7.2	10 10.5	3 20.0	0 0.0	30 3.6	36 6.8	0 0.0	66 4.8
8時間以上～9時間未満	8 66.7	89 64.5	126 60.9	197 60.8	192 60.4	148 59.2	24 25.3	4 26.7	3 33.3	455 55.2	328 62.2	8 50.0	791 57.8
9時間以上～10時間未満	1 8.3	11 8.0	24 11.6	39 12.0	31 9.7	22 8.8	10 10.5	0 0.0	2 22.2	93 11.3	46 8.7	1 6.3	140 10.2
10時間以上～11時間未満	1 8.3	14 10.1	18 8.7	27 8.3	36 11.3	11 4.4	7 7.4	2 13.3	1 11.1	91 11.0	24 4.6	2 12.5	117 8.6
11時間以上～12時間未満	0 0.0	1 0.7	5 2.4	16 4.9	4 1.3	3 1.2	2 2.1	0 0.0	1 11.1	21 2.5	11 2.1	0 0.0	32 2.3
12時間以上	0 0.0	10 7.2	10 4.8	22 6.8	28 8.8	14 5.6	0 0.0	0 0.0	2 22.2	62 7.5	23 4.4	1 6.3	86 6.3
無回答	0 0.0	2 1.4	4 1.9	7 2.2	9 2.8	5 2.0	3 3.2	1 6.7	0 0.0	21 2.5	10 1.9	0 0.0	31 2.3
計	12 100.0	138 100.0	207 100.0	324 100.0	318 100.0	250 100.0	95 100.0	15 100.0	9 100.0	825 100.0	527 100.0	16 100.0	1,368 100.0

(単位: 時間)

平均	7.8	9.4	9.5	9.7	9.0	8.8	6.7	6.7	9.9	9.4	8.6	7.9	9.1
----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

②パート

【全体】パートの就業時間は「5時間未満」が30.6%で最も高く、次いで「5時間以上～6時間未満」が21.9%、「8時間以上～9時間未満」が14.4%である。

平均は6.3時間である。

【年代】「5時間未満」が60歳代で39.8%、70歳代で44.0%と他の年代に比べて高い。

平均は30歳代が7.1時間、70歳代が7.6時間と他の年代に比べて高い。

【性別】男性は「5時間未満」が39.7%で最も高く、次いで「7時間以上～8時間未満」が19.1%、「8時間以上～9時間未満」が17.6%であり、7時間以上が44.0%と女性

(31.1%)を上回っている。女性は「5時間未満」が29.1%で最も高く、次いで「5時間以上～6時間未満」が23.7%、「6時間以上～7時間未満」が15.4%である。平均は男性が6.5時間、女性が6.3時間である。

〈図表4〉パートの就業時間（一般） 年齢階級・性別

(単位：上段人数(人)・下段割合(%))

区分	18・ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 79歳	80～ 84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体
5時間未満	1 50.0	3 13.6	8 19.5	22 25.9	27 26.5	47 39.8	22 44.0	0 0.0	0 0.0	27 39.7	102 29.1	1 14.3	130 30.6
5時間以上～ 6時間未満	1 50.0	5 22.7	11 26.8	22 25.9	31 30.4	16 13.6	7 14.0	0 0.0	0 0.0	8 11.8	83 23.7	2 28.6	93 21.9
6時間以上～ 7時間未満	0 0.0	3 13.6	12 29.3	14 16.5	15 14.7	12 10.2	1 2.0	0 0.0	1 25.0	3 4.4	54 15.4	1 14.3	58 13.6
7時間以上～ 8時間未満	0 0.0	2 9.1	2 4.9	14 16.5	8 7.8	16 13.6	10 20.0	0 0.0	1 25.0	13 19.1	40 11.4	0 0.0	53 12.5
8時間以上～ 9時間未満	0 0.0	6 27.3	3 7.3	9 10.6	15 14.7	22 18.6	5 10.0	0 0.0	1 25.0	12 17.6	46 13.1	3 42.9	61 14.4
9時間以上～ 10時間未満	0 0.0	1 4.5	2 4.9	1 1.2	1 1.0	2 1.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 2.9	5 1.4	0 0.0	7 1.6
10時間以上～ 11時間未満	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 2.0	1 0.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 0.9	0 0.0	3 0.7
11時間以上～ 12時間未満	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
12時間以上	0 0.0	1 4.5	3 7.3	2 2.4	3 2.9	2 1.7	5 10.0	1 100.0	1 25.0	3 4.4	15 4.3	0 0.0	18 4.2
無回答	0 0.0	1 4.5	0 0.0	1 1.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 0.6	0 0.0	2 0.5
計	2 100.0	22 100.0	41 100.0	85 100.0	102 100.0	118 100.0	50 100.0	1 100.0	4 100.0	68 100.0	350 100.0	7 100.0	425 100.0

(単位：時間)

平均	4.5	6.9	7.1	6.3	5.9	5.6	7.6	16.0	10.3	6.5	6.3	6.3	6.3
----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	------	-----	-----	-----	-----

3 健康観

設問 普段ご自分で健康だと思われますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 非常に健康だと思う | 2. まあ健康な方だと思う |
| 3. あまり健康ではない | 4. 健康ではない |

《一般》

【全体】健康観について「まあ健康な方だと思う」は72.7%で最も高く、次いで「あまり健康ではない」が14.5%、「非常に健康だと思う」が7.8%である。

『健康群(「非常に健康だと思う」と「まあ健康な方だと思う」を合わせたもの)』は80.5%である。

【年代】全年代を通して「まあ健康な方だと思う」が最も高い。

『健康群』は60歳以上で8割を下回る。

【性別】男性は「まあ健康な方だと思う」が71.2%で最も高く、次いで「あまり健康ではない」が15.7%、「非常に健康だと思う」が7.1%である。女性は「まあ健康な方だと思う」が74.1%で最も高く、次いで「あまり健康ではない」が13.5%、「非常に健康だと思う」が8.2%である。

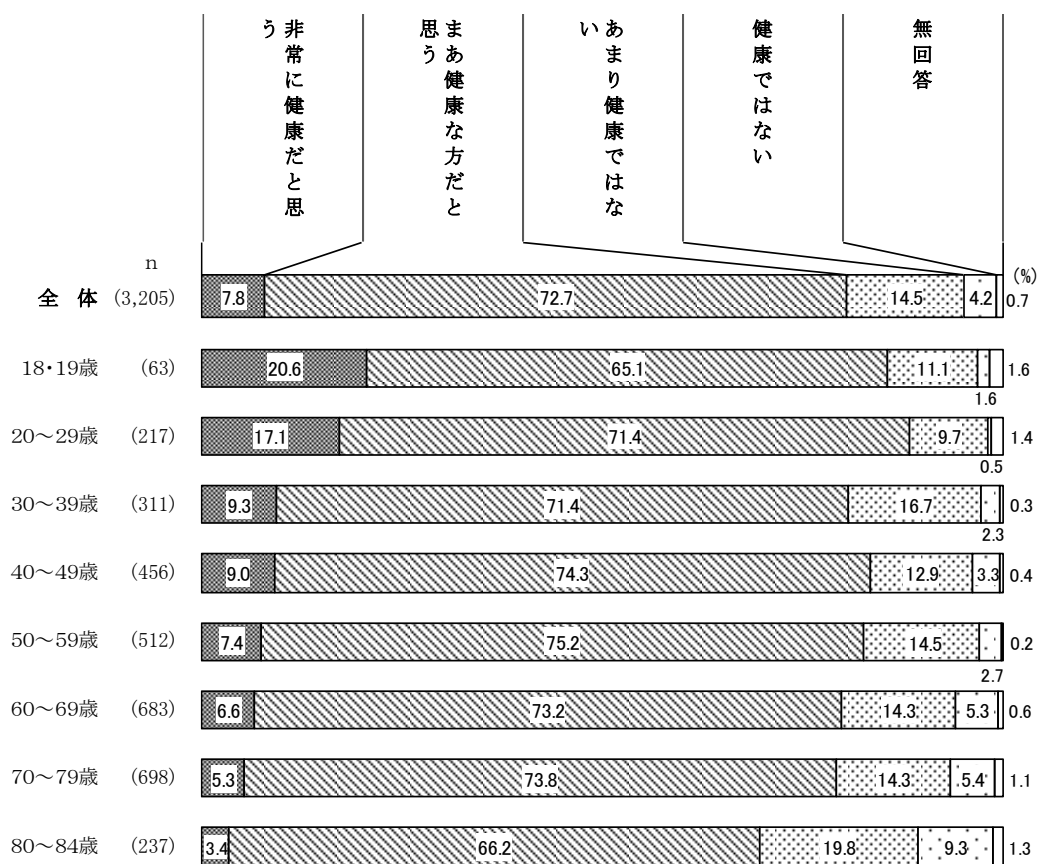
『健康群』は、男性が78.3%、女性が82.3%である。

〈図表5〉健康観(一般) 年齢階級・性別

(単位:上段人数(人)・下段割合(%))

区分	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
非常に健康だと思う	13 20.6	37 17.1	29 9.3	41 9.0	38 7.4	45 6.6	37 5.3	8 3.4	1 3.6	99 7.1	144 8.2	6 11.8	249 7.8
まあ健康な方だと思う	41 65.1	155 71.4	222 71.4	339 74.3	385 75.2	500 73.2	515 73.8	157 66.2	17 60.7	992 71.2	1,304 74.1	35 68.6	2,331 72.7
あまり健康ではない	7 11.1	21 9.7	52 16.7	59 12.9	74 14.5	98 14.3	100 14.3	47 19.8	8 28.6	219 15.7	237 13.5	10 19.6	466 14.5
健康ではない	1 1.6	1 0.5	7 2.3	15 3.3	14 2.7	36 5.3	38 5.4	22 9.3	1 3.6	73 5.2	62 3.5	0 0.0	135 4.2
無回答	1 1.6	3 1.4	1 0.3	2 0.4	1 0.2	4 0.6	8 1.1	3 1.3	1 3.6	11 0.8	13 0.7	0 0.0	24 0.7
計	63 100.0	217 100.0	311 100.0	456 100.0	512 100.0	683 100.0	698 100.0	237 100.0	28 100.0	1,394 100.0	1,760 100.0	51 100.0	3,205 100.0

〈図表6〉健康観（一般） 年齢階級別／割合



《学童思春期：中学生・高校生》

【全体】健康観について「まあ健康な方だと思う」は61.8%で最も高く、次いで「非常に健康だと思う」が28.0%、「あまり健康ではない」が8.9%である。

『健康群(「非常に健康だと思う」と「まあ健康な方だと思う」を合わせたもの)』は89.8%である。

【年代】全学年を通して「まあ健康な方だと思う」が最も高い。

『健康群』は中学生が91.4%、高校生は88.6%である。

【性別】男性は「まあ健康な方だと思う」が59.2%で最も高く、次いで「非常に健康だと思う」が29.7%、「あまり健康ではない」が9.2%である。女性は「まあ健康な方だと思う」が64.9%で最も高く、次いで「非常に健康だと思う」が26.1%、「あまり健康ではない」が8.5%である。

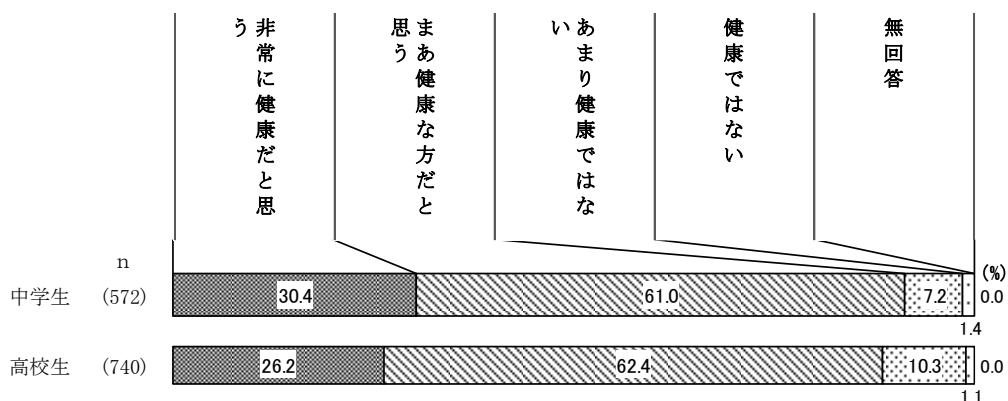
『健康群』は男性が88.9%で、女性は91.0%である。

〈図表7〉健康観（学童思春期：中学生・高校生） 年齢階級・性別

(単位：上段人数(人)・下段割合(%))

区分	中学生	高校生	男性	女性	無回答	全体数
非常に健康だと思う	174 30.4	194 26.2	204 29.7	162 26.1	2 40.0	368 28.0
まあ健康な方だと思う	349 61.0	462 62.4	406 59.2	403 64.9	2 40.0	811 61.8
あまり健康ではない	41 7.2	76 10.3	63 9.2	53 8.5	1 20.0	117 8.9
健康ではない	8 1.4	8 1.1	13 1.9	3 0.5	0 0.0	16 1.2
無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
計	572 100.0	740 100.0	686 100.0	621 100.0	5 100.0	1,312 100.0

〈図表8〉健康観（学童思春期：中学生・高校生） 年齢階級別／割合



4 体格

(1) BMI・ローレル指数判定

身長 <input style="width: 80px;" type="text"/> cm	体重 <input style="width: 80px;" type="text"/> kg
※小数点以下四捨五入	※小数点以下四捨五入

《一般》 ※BMI判定

【全体】BMI判定にて「普通（BMI 18.5～25未満）」は67.2%で最も高く、次いで「肥満（BMI 25以上）」が23.2%、「やせ（BMI 18.5未満）」が7.3%である。

【年代】全年代を通して「普通（BMI 18.5～25未満）」が最も高い。それに次いで、18・19歳は「やせ（BMI 18.5未満）」が高く、20歳以上は「肥満（BMI 25以上）」が高い。

【性別】男性は「普通（BMI 18.5～25未満）」が65.1%で最も高く、次いで「肥満（BMI 25以上）」が29.2%、「やせ（BMI 18.5未満）」が4.3%である。女性は「普通（BMI 18.5～25未満）」が69.3%で最も高く、次いで「肥満（BMI 25以上）」が18.1%、「やせ（BMI 18.5未満）」が9.6%である。

〈図表9〉BMI判定（一般） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
やせ（BMI 18.5未満）	9 14.3	22 10.1	29 9.3	26 5.7	32 6.3	46 6.7	52 7.4	17 7.2	1 3.6	60 4.3	169 9.6	5 9.8	234 7.3
普通（BMI 18.5～25未満）	46 73.0	160 73.7	205 65.9	305 66.9	345 67.4	450 65.9	475 68.1	151 63.7	16 57.1	907 65.1	1,220 69.3	26 51.0	2,153 67.2
肥満（BMI 25以上）	7 11.1	30 13.8	71 22.8	112 24.6	123 24.0	182 26.6	152 21.8	59 24.9	7 25.0	407 29.2	318 18.1	18 35.3	743 23.2
無回答	1 1.6	5 2.3	6 1.9	13 2.9	12 2.3	5 0.7	19 2.7	10 4.2	4 14.3	20 1.4	53 3.0	2 3.9	75 2.3
計	63 100.0	217 100.0	311 100.0	456 100.0	512 100.0	683 100.0	698 100.0	237 100.0	28 100.0	1,394 100.0	1,760 100.0	51 100.0	3,205 100.0

* BMI とは (body mass index: 体格指数)

$$BMI = \text{体重 } kg \div \text{身長 } m^2$$

《学童思春期：中学生》 ※ローレル指数判定

【全体】ローレル指数判定にて「普通（ローレル指数 1 1 6～1 4 5）」は 44.2%で最も高く、次いで「やせ（ローレル指数 1 1 5以下）」が 39.5%、「肥満（ローレル指数 1 4 6以上）」が 10.7%である。

【性別】男性は「やせ（ローレル指数 1 1 5以下）」が 47.6%で最も高く、次いで「普通（ローレル指数 1 1 6～1 4 5）」が 34.3%、「肥満（ローレル指数 1 4 6以上）」が 12.6%である。女性は「普通（ローレル指数 1 1 6～1 4 5）」が 54.2%で最も高く、次いで「やせ（ローレル指数 1 1 5以下）」が 31.5%、「肥満（ローレル指数 1 4 6以上）」が 8.7%である。

〈図表 10〉ローレル指数判定（学童思春期：中学生） 性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	男性	女性	無回答	全体数
やせ (ローレル指数 1 1 5以下)	136 47.6	90 31.5	0 0.0	226 39.5
普通 (ローレル指数 1 1 6～1 4 5)	98 34.3	155 54.2	0 0.0	253 44.2
肥満 (ローレル指数 1 4 6以上)	36 12.6	25 8.7	0 0.0	61 10.7
無回答	16 5.6	16 5.6	0 0.0	32 5.6
計	286 100.0	286 100.0	0 0.0	572 100.0

* ローレル指数とは児童生徒の体格判定に使用されている。

$$\text{ローレル指数} = \text{体重 } k \text{ g} \div \text{身長 } c \text{ m}^3 \times 10^7$$

《学童思春期：高校生》 ※BMI判定

【全体】BMI判定にて「普通（BMI 1 8. 5～2 5未満）」は 71.8%で最も高く、次いで「やせ（BMI 1 8. 5未満）」が 18.6%、「肥満（BMI 2 5以上）」が 7.2%である。

【性別】男性は「普通（BMI 1 8. 5～2 5未満）」が 70.0%で最も高く、次いで「やせ（BMI 1 8. 5未満）」が 19.5%、「肥満（BMI 2 5以上）」が 8.5%である。女性は「普通（BMI 1 8. 5～2 5未満）」が 73.7%で最も高く、次いで「やせ（BMI 1 8. 5未満）」が 17.9%、「肥満（BMI 2 5以上）」が 5.4%である。

〈図表 11〉BMI判定（学童思春期：高校生） 性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	男性	女性	無回答	全体数
やせ (BMI 1 8. 5未満)	78 19.5	60 17.9	0 0.0	138 18.6
普通 (BMI 1 8. 5～2 5未満)	280 70.0	247 73.7	4 80.0	531 71.8
肥満 (BMI 2 5以上)	34 8.5	18 5.4	1 20.0	53 7.2
無回答	8 2.0	10 3.0	0 0.0	18 2.4
計	400 100.0	335 100.0	5 100.0	740 100.0

(2) BMI・ローレル指数判定とボディ・イメージ (学童思春期のみ)

①ボディ・イメージ

設問 自分の自分の身長と体重のバランスをどう思っていますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 太っている 2. 太り気味 3. ふつう 4. やせ気味 5. やせている

【全体】ボディ・イメージについては「ふつう」と思うが49.5%で最も高く、次いで「太り気味」と思うが22.9%、「やせ気味」と思うが13.3%である。

【年代】全学年を通じて「ふつう」と思うが最も高く、次いで「太り気味」と思う、「やせ気味」と思うとなっている。

【性別】男性は「ふつう」と思うが51.9%で最も高く、次いで「やせ気味」と思うが18.2%、「太り気味」と思うが15.5%である。女性は「ふつう」と思うが47.0%で最も高く、次いで「太り気味」と思うが30.9%、「太っている」と思うが11.9%である。

〈図表12〉ボディ・イメージ (学童思春期：中学生・高校生) 年齢階級・性別

(単位：上段人数(人)・下段割合(%))

区分	中学生	高校生	男性	女性	無回答	全体数
太っている	53 9.3	75 10.1	54 7.9	74 11.9	0 0.0	128 9.8
太り気味	135 23.6	165 22.3	106 15.5	192 30.9	2 40.0	300 22.9
ふつう	294 51.4	356 48.1	356 51.9	292 47.0	2 40.0	650 49.5
やせ気味	65 11.4	110 14.9	125 18.2	49 7.9	1 20.0	175 13.3
やせている	25 4.4	34 4.6	45 6.6	14 2.3	0 0.0	59 4.5
無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
計	572 100.0	740 100.0	686 100.0	621 100.0	5 100.0	1,312 100.0

②BMI・ローレル指数判定とボディ・イメージ

《学童思春期：中学生》 ※ローレル指数判定

◇判定「やせ（ローレル指数 115 以下）」の場合

【全体】自分の体格を「ふつう」と思うが 58.4%で最も高く、次いで「やせている・やせ気味」と思うが 34.5%、「太っている・太り気味」と思うが 7.1%である。

【性別】男性は「ふつう」と思うが 57.4%で最も高く、次いで「やせている・やせ気味」と思うが 36.0%、「太っている・太り気味」と思うが 6.6%である。女性は「ふつう」と思うが 60.0%で最も高く、次いで「やせている・やせ気味」と思うが 32.2%、「太っている・太り気味」と思うが 7.8%である。

◇判定「普通（ローレル指数 116～145）」の場合

【全体】自分の体格を「ふつう」と思うが 55.7%、「太っている・太り気味」と思うが 41.1%、「やせている・やせ気味」と思うが 3.2%である。

【性別】男性は「ふつう」と思うが 61.2%で最も高く、次いで「太っている・太り気味」と思うが 34.7%、「やせている・やせ気味」と思うが 4.1%である。女性は「ふつう」と思うが 52.3%で最も高く、次いで「太っている・太り気味」と思うが 45.2%、「やせている・やせ気味」と思うが 2.6%である。

◇判定「肥満（ローレル指数 146 以上）」の場合

【全体】自分の体格を「太っている・太り気味」と思うが 93.4%、次いで「ふつう」と思うが 6.6%である。

【性別】男性は「太っている・太り気味」と思うが 91.7%、次いで「ふつう」と思うが 8.3%である。女性は「太っている・太り気味」と思うが 96.0%、次いで「ふつう」と思うが 4.0%である。

〈図表 13〉 ローレル指数判定とボディ・イメージ（学童思春期：中学生） 性別

（単位：割合（%））

区分		やせている ・やせ気味	ふつう	太っている ・太り気味	無回答	全体
やせ (ローレル指数 115 以下)	男性	36.0	57.4	6.6	0.0	100.0
	女性	32.2	60.0	7.8	0.0	100.0
	計	34.5	58.4	7.1	0.0	100.0
普通 (ローレル指数 116～145)	男性	4.1	61.2	34.7	0.0	100.0
	女性	2.6	52.3	45.2	0.0	100.0
	計	3.2	55.7	41.1	0.0	100.0
肥満 (ローレル指数 146 以上)	男性	0.0	8.3	91.7	0.0	100.0
	女性	0.0	4.0	96.0	0.0	100.0
	計	0.0	6.6	93.4	0.0	100.0
無回答	男性	25.0	50.0	25.0	0.0	100.0
	女性	0.0	56.3	43.8	0.0	100.0
	計	12.5	53.1	34.4	0.0	100.0
計	男性	19.9	52.1	28.0	0.0	100.0
	女性	11.5	50.7	37.8	0.0	100.0
	計	15.7	51.4	32.9	0.0	100.0

《学童思春期：高校生》 ※BMI判定

◇判定「やせ（BMI 18.5未満）」の場合

【全体】自分の体格を「やせている・やせ気味」と思うが57.2%で最も高く、次いで「ふつう」と思うが39.1%、「太っている・太り気味」と思うが3.6%である。

【性別】男性は「やせている・やせ気味」と思うが67.9%で最も高く、次いで「ふつう」と思うが30.8%、「太っている・太り気味」と思うが1.3%である。女性は「ふつう」と思うが50.0%で最も高く、次いで「やせている・やせ気味」と思うが43.3%、「太っている・太り気味」と思うが6.7%である。

◇判定「普通（BMI 18.5～25未満）」の場合

【全体】自分の体格を「ふつう」と思うが54.4%で最も高く、次いで「太っている・太り気味」と思うが33.7%、「やせている・やせ気味」と思うが11.9%である。

【性別】男性は「ふつう」と思うが62.9%で最も高く、次いで「やせている・やせ気味」と思うが20.7%、「太っている・太り気味」と思うが16.4%である。女性は「太っている・太り気味」と思うが53.4%で最も高く、次いで「ふつう」と思うが44.9%、「やせている・やせ気味」と思うが1.6%である。

◇判定「肥満（BMI 25以上）」の場合

【全体】自分の体格を「太っている・太り気味」と思うが90.6%、次いで「ふつう」と思うが9.4%である。

【性別】男性は「太っている・太り気味」と思うが91.2%、次いで「ふつう」と思うが8.8%である。女性は「太っている・太り気味」と思うが88.9%、次いで「ふつう」と思うが11.1%である。

〈図表 14〉 BMI判定とボディ・イメージ（学童思春期：高校生） 性別

（単位：割合（%））

区分		やせている ・やせ気味	ふつう	太っている ・太り気味	無回答	全体
やせ (BMI 18.5未満)	男性	67.9	30.8	1.3	0.0	100.0
	女性	43.3	50.0	6.7	0.0	100.0
	計	57.2	39.1	3.6	0.0	100.0
普通 (BMI 18.5～25未満)	男性	20.7	62.9	16.4	0.0	100.0
	女性	1.6	44.9	53.4	0.0	100.0
	計	11.9	54.4	33.7	0.0	100.0
肥満 (BMI 25以上)	男性	0.0	8.8	91.2	0.0	100.0
	女性	0.0	11.1	88.9	0.0	100.0
	計	0.0	9.4	90.6	0.0	100.0
無回答	男性	25.0	50.0	25.0	0.0	100.0
	女性	0.0	40.0	60.0	0.0	100.0
	計	11.1	44.4	44.4	0.0	100.0
計	男性	28.3	51.8	20.0	0.0	100.0
	女性	9.0	43.9	47.2	0.0	100.0
	計	19.5	48.1	32.4	0.0	100.0

※性別無回答の場合については合計にのみ計上している。

5 健診・検診受診状況

(1) 健診・検診受診状況（一般のみ）

設問 最近1年間健診・検診を受けましたか。（あてはまるもの1つに○）

1. 受けた 2. 受けていない

①健康診断

【全体】健康診断を受診した人は83.1%である。

【年代】18・19歳は61.9%、20歳代は84.8%、30歳代は79.7%、40歳代は86.0%、50歳代は85.9%、60歳代は81.0%、70歳代は83.5%、80～84歳は85.2%である。なお、18・19歳は「受けていない」が36.5%と他の年代に比べて高い。

【性別】男性は85.7%、女性は81.1%である。

〈図表15〉健康診断受診状況（一般） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
受けた	39 61.9	184 84.8	248 79.7	392 86.0	440 85.9	553 81.0	583 83.5	202 85.2	21 75.0	1,195 85.7	1,428 81.1	39 76.5	2,662 83.1
受けていない	23 36.5	33 15.2	61 19.6	62 13.6	70 13.7	129 18.9	107 15.3	28 11.8	5 17.9	188 13.5	319 18.1	11 21.6	518 16.2
無回答	1 1.6	0 0.0	2 0.6	2 0.4	2 0.4	1 0.1	8 1.1	7 3.0	2 7.1	11 0.8	13 0.7	1 2.0	25 0.8
計	63 100.0	217 100.0	311 100.0	456 100.0	512 100.0	683 100.0	698 100.0	237 100.0	28 100.0	1,394 100.0	1,760 100.0	51 100.0	3,205 100.0

②肺がん検診

【全体】肺がん検診を受診した人は60.6%である。

【年代】18・19歳は22.2%、20歳代は28.6%、30歳代は38.9%、40歳代は65.4%、50歳代は68.6%、60歳代は64.4%、70歳代は67.8%、80～84歳は69.2%である。

【性別】男性は63.0%、女性は59.1%である。

〈図表16〉肺がん検診受診状況（一般） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
受けた	14 22.2	62 28.6	121 38.9	298 65.4	351 68.6	440 64.4	473 67.8	164 69.2	19 67.9	878 63.0	1,040 59.1	24 47.1	1,942 60.6
受けていない	44 69.8	151 69.6	185 59.5	148 32.5	147 28.7	222 32.5	187 26.8	57 24.1	7 25.0	456 32.7	671 38.1	21 41.2	1,148 35.8
無回答	5 7.9	4 1.8	5 1.6	10 2.2	14 2.7	21 3.1	38 5.4	16 6.8	2 7.1	60 4.3	49 2.8	6 11.8	115 3.6
計	63 100.0	217 100.0	311 100.0	456 100.0	512 100.0	683 100.0	698 100.0	237 100.0	28 100.0	1,394 100.0	1,760 100.0	51 100.0	3,205 100.0

③胃がん検診

【全体】胃がん検診を受診した人は45.5%である。

【年代】18・19歳は0.0%、20歳代は2.8%、30歳代は20.9%、40歳代は55.0%、50歳代は54.9%、60歳代は50.1%、70歳代は53.3%、80～84歳は53.2%である。

【性別】男性は51.1%、女性は41.0%である。

〈図表17〉胃がん検診受診状況（一般） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
受けた	0 0.0	6 2.8	65 20.9	251 55.0	281 54.9	342 50.1	372 53.3	126 53.2	14 50.0	712 51.1	721 41.0	24 47.1	1,457 45.5
受けていない	60 95.2	207 95.4	240 77.2	194 42.5	214 41.8	317 46.4	287 41.1	94 39.7	12 42.9	619 44.4	984 55.9	22 43.1	1,625 50.7
無回答	3 4.8	4 1.8	6 1.9	11 2.4	17 3.3	24 3.5	39 5.6	17 7.2	2 7.1	63 4.5	55 3.1	5 9.8	123 3.8
計	63 100.0	217 100.0	311 100.0	456 100.0	512 100.0	683 100.0	698 100.0	237 100.0	28 100.0	1,394 100.0	1,760 100.0	51 100.0	3,205 100.0

④大腸がん検診

【全体】大腸がん検診を受診した人は46.3%である。

【年代】18・19歳は0.0%、20歳代は5.1%、30歳代は19.6%、40歳代は54.8%、50歳代は53.7%、60歳代は52.7%、70歳代は55.9%、80～84歳は51.5%である。

【性別】男性は49.1%、女性は44.4%である。

〈図表18〉大腸がん検診受診状況（一般） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
受けた	0 0.0	11 5.1	61 19.6	250 54.8	275 53.7	360 52.7	390 55.9	122 51.5	16 57.1	684 49.1	782 44.4	19 37.3	1,485 46.3
受けていない	59 93.7	201 92.6	242 77.8	194 42.5	216 42.2	297 43.5	259 37.1	96 40.5	11 39.3	633 45.4	918 52.2	24 47.1	1,575 49.1
無回答	4 6.3	5 2.3	8 2.6	12 2.6	21 4.1	26 3.8	49 7.0	19 8.0	1 3.6	77 5.5	60 3.4	8 15.7	145 4.5
計	63 100.0	217 100.0	311 100.0	456 100.0	512 100.0	683 100.0	698 100.0	237 100.0	28 100.0	1,394 100.0	1,760 100.0	51 100.0	3,205 100.0

⑤子宮頸がん検診 ※女性のみ（過去2年間）

【全体】子宮頸がん検診を受診した人は42.7%である。

【年代】18・19歳は0.0%、20歳代は28.9%、30歳代は56.9%、40歳代は66.4%、50歳代は52.9%、60歳代は40.2%、70歳代は29.8%、80～84歳は19.3%である。

〈図表19〉子宮頸がん検診受診状況（一般） 年齢階級別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～84歳	無回答	全体数
受けた	0 0.0	37 28.9	103 56.9	166 66.4	157 52.9	144 40.2	108 29.8	27 19.3	10 71.4	752 42.7
受けていない	27 93.1	91 71.1	76 42.0	80 32.0	137 46.1	201 56.1	221 60.9	93 66.4	4 28.6	930 52.8
無回答	2 6.9	0 0.0	2 1.1	4 1.6	3 1.0	13 3.6	34 9.4	20 14.3	0 0.0	78 4.4
計	29 100.0	128 100.0	181 100.0	250 100.0	297 100.0	358 100.0	363 100.0	140 100.0	14 100.0	1,760 100.0

⑥乳がん検診 ※女性のみ（過去2年間）

【全体】乳がん検診を受診した人は38.8%である。

【年代】18・19歳は0.0%、20歳代は9.4%、30歳代は22.1%、40歳代は62.0%、50歳代は55.2%、60歳代は41.3%、70歳代は35.3%、80～84歳は18.6%である。

〈図表20〉乳がん検診受診状況（一般） 年齢階級別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～84歳	無回答	全体数
受けた	0 0.0	12 9.4	40 22.1	155 62.0	164 55.2	148 41.3	128 35.3	26 18.6	9 64.3	682 38.8
受けていない	27 93.1	116 90.6	140 77.3	92 36.8	129 43.4	201 56.1	209 57.6	96 68.6	5 35.7	1,015 57.7
無回答	2 6.9	0 0.0	1 0.6	3 1.2	4 1.3	9 2.5	26 7.2	18 12.9	0 0.0	63 3.6
計	29 100.0	128 100.0	181 100.0	250 100.0	297 100.0	358 100.0	363 100.0	140 100.0	14 100.0	1,760 100.0

6 歯の健康

(1) 平均保有歯数（一般のみ）

設問 自分の歯は何本ありますか。

本

※親知らず、入れ歯、ブリッジ、インプラントは含みません。さし歯は含みます。
親知らずを抜くと全部で28本です。

【全体】平均保有歯数は、23.0本である。

【年代】全年代で28本を下回り、70歳代で20本未満に減少する。

【性別】男性は22.7本、女性は23.4本である。

〈図表 21〉平均保有歯数（一般） 年齢階級・性別

(単位：本)

区分	18・ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 79歳	80～ 84歳	全体
男性	26.8	27.5	27.2	26.6	24.3	20.9	18.9	15.7	22.7
女性	28.0	27.4	27.4	26.6	25.6	22.1	18.9	16.3	23.4
平均	27.3	27.4	27.3	26.6	25.1	21.5	18.9	16.0	23.0

〈図表 22〉保有歯数が20本以上ある者（一般） 年齢階級別・性別

(単位：%)

区分	18・ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 79歳	80～ 84歳	全体
男性	93.9	97.7	96.9	93.6	82.5	69.2	55.1	45.1	74.7
女性	96.6	96.9	97.8	94.4	91.9	76.0	53.4	40.0	77.8
平均	95.2	97.2	97.4	93.9	88.1	72.6	54.0	41.4	76.1

(2) 歯みがきの状況

設問 1日何回歯みがきをしますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 0回 2. 1回 3. 2回 4. 3回以上

《一般》

【全体】1日に歯みがきをする回数は「2回」が48.2%で最も高く、次いで「3回以上」が30.0%、「1回」が18.3%である。

【年代】全年代を通して「2回」が最も高い。

【性別】最も高いのは「2回」で男性は47.3%、女性は48.8%である。

〈図表 23〉 一日に歯みがきをする回数（一般） 年齢階級・性別

(単位：上段人数(人)・下段割合(%))

区分	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
0回	0 0.0	0 0.0	1 0.3	3 0.7	4 0.8	11 1.6	12 1.7	17 7.2	0 0.0	28 2.0	20 1.1	0 0.0	48 1.5
1回	13 20.6	32 14.7	55 17.7	51 11.2	73 14.3	133 19.5	150 21.5	71 30.0	9 32.1	380 27.3	194 11.0	13 25.5	587 18.3
2回	38 60.3	112 51.6	167 53.7	228 50.0	238 46.5	332 48.6	334 47.9	87 36.7	10 35.7	659 47.3	858 48.8	29 56.9	1,546 48.2
3回以上	12 19.0	73 33.6	86 27.7	171 37.5	192 37.5	202 29.6	170 24.4	45 19.0	9 32.1	301 21.6	654 37.2	5 9.8	960 30.0
無回答	0 0.0	0 0.0	2 0.6	3 0.7	5 1.0	5 0.7	32 4.6	17 7.2	0 0.0	26 1.9	34 1.9	4 7.8	64 2.0
計	63 100.0	217 100.0	311 100.0	456 100.0	512 100.0	683 100.0	698 100.0	237 100.0	28 100.0	1,394 100.0	1,760 100.0	51 100.0	3,205 100.0

《学童思春期》

【全体】一日に歯みがきをする回数は「2回」が46.3%で最も高く、次いで「3回以上」が44.5%、「1回」が8.0%である。

【年代】小学1～4年生、小学5・6年生、中学生は「3回以上」が最も高い。高校生は「2回」が最も高い。

【性別】男性は「2回」が49.1%で最も高く、次いで「3回以上」が40.3%、「1回」が9.3%である。女性は「3回以上」が49.0%で最も高く、次いで「2回」が43.3%、「1回」が6.6%である。

〈図表 24〉 一日に歯みがきをする回数（学童思春期） 年齢階級・性別

(単位：上段人数(人)・下段割合(%))

区分	小学1～4年生	小学5・6年生	中学生	高校生	男性	女性	無回答	全体数
0回	3 0.5	15 4.6	1 0.2	7 0.9	15 1.3	11 1.0	0 0.0	26 1.2
1回	45 7.5	24 7.3	42 7.3	68 9.2	107 9.3	72 6.6	0 0.0	179 8.0
2回	244 40.7	92 28.0	223 39.0	479 64.7	563 49.1	472 43.3	3 60.0	1,038 46.3
3回以上	308 51.3	198 60.2	306 53.5	186 25.1	462 40.3	534 49.0	2 40.0	998 44.5
無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
計	600 100.0	329 100.0	572 100.0	740 100.0	1,147 100.0	1,089 100.0	5 100.0	2,241 100.0

(3) 歯肉の状態

設問 最近1ヶ月以内に歯ぐきが腫れていたり、歯をみがいたときに血が出るなどの症状がありますか。(あてはまるもの1つに○)

1. ある 2. ない

《一般》

【全体】最近1ヶ月以内に歯ぐきが腫れていたり、歯をみがいたときに血が出るなどの症状が「ある」人は25.8%である。

【年代】「ある」は30歳代が31.8%、50歳代が31.8%と他の年代に比べてやや高い。

【性別】「ある」は男性が26.5%、女性が25.2%である。

〈図表25〉歯ぐきの腫れ、出血の有無（一般） 年齢階級・性別

(単位：上段人数(人)・下段割合(%))

区分	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
ある	5 7.9	63 29.0	99 31.8	136 29.8	163 31.8	171 25.0	141 20.2	38 16.0	11 39.3	369 26.5	444 25.2	14 27.5	827 25.8
ない	58 92.1	154 71.0	210 67.5	319 70.0	345 67.4	510 74.7	535 76.6	188 79.3	16 57.1	1,006 72.2	1,297 73.7	32 62.7	2,335 72.9
無回答	0 0.0	0 0.0	2 0.6	1 0.2	4 0.8	2 0.3	22 3.2	11 4.6	1 3.6	19 1.4	19 1.1	5 9.8	43 1.3
計	63 100.0	217 100.0	311 100.0	456 100.0	512 100.0	683 100.0	698 100.0	237 100.0	28 100.0	1,394 100.0	1,760 100.0	51 100.0	3,205 100.0

《学童思春期：中学生・高校生》

【全体】最近1ヶ月以内に歯ぐきが腫れていたり、歯をみがいたときに血が出るなどの症状が「ある」人は18.0%である。

【年代】「ある」は中学生が14.5%、高校生が20.7%である。

【性別】「ある」は男性が20.4%、女性が15.5%である。

〈図表26〉歯ぐきの腫れ、出血の有無（学童思春期：中学生・高校生） 年齢階級・性別

(単位：上段人数(人)・下段割合(%))

区分	中学生	高校生	男性	女性	無回答	全体数
ある	83 14.5	153 20.7	140 20.4	96 15.5	0 0.0	236 18.0
ない	489 85.5	587 79.3	546 79.6	525 84.5	5 100.0	1,076 82.0
無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
計	572 100.0	740 100.0	686 100.0	621 100.0	5 100.0	1,312 100.0

(4) 咀嚼の状況（一般のみ）

設問 噛んで食べることができますか。（あてはまるもの1つに○）

1. 何でも噛んで食べることができる 2. 噛めない食べ物がある
3. 噛めない食べ物が多い 4. 噛んで食べることができない

【全体】咀嚼の状況については「何でも噛んで食べることができる」が82.1%で最も高く、次いで「噛めない食べ物がある」が15.2%、「噛めない食べ物が多い」が1.2%である。

【年代】全年代を通して「何でも噛んで食べることができる」が最も高い。60歳以上は「噛めない食べ物がある」が2割以上である。

【性別】「何でも噛んで食べることができる」は男性が81.7%、女性が82.7%である。

〈図表 27〉咀嚼の状況（一般） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	18・ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 79歳	80～ 84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
何でも噛んで食べることができる	62 98.4	210 96.8	295 94.9	417 91.4	455 88.9	514 75.3	492 70.5	167 70.5	19 67.9	1,139 81.7	1,455 82.7	37 72.5	2,631 82.1
噛めない食べ物がある	1 1.6	7 3.2	11 3.5	34 7.5	51 10.0	153 22.4	172 24.6	50 21.1	7 25.0	220 15.8	255 14.5	11 21.6	486 15.2
噛めない食べ物が多い	0 0.0	0 0.0	1 0.3	2 0.4	3 0.6	10 1.5	12 1.7	8 3.4	1 3.6	16 1.1	21 1.2	0 0.0	37 1.2
噛んで食べることができない	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 0.4	2 0.3	3 0.4	1 0.4	0 0.0	2 0.1	6 0.3	0 0.0	8 0.2
無回答	0 0.0	0 0.0	4 1.3	3 0.7	1 0.2	4 0.6	19 2.7	11 4.6	1 3.6	17 1.2	23 1.3	3 5.9	43 1.3
計	63 100.0	217 100.0	311 100.0	456 100.0	512 100.0	683 100.0	698 100.0	237 100.0	28 100.0	1,394 100.0	1,760 100.0	51 100.0	3,205 100.0

(5) かかりつけ歯科医

設問 かかりつけ歯科医院はありますか。(あてはまるもの1つに○)

1. ある 2. ない

《一般》

【全体】 かかりつけ歯科医については「ある」が74.6%である。

【年代】 全年代を通して「ある」が最も高い。30歳代以下は「ない」が他の年代に比べて高い。

【性別】 「ある」は男性が69.3%、女性が78.9%である。

《図表28》 かかりつけ歯科医（一般） 年齢階級・性別

(単位：上段人数(人)・下段割合(%))

区分	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
ある	38 60.3	121 55.8	183 58.8	332 72.8	381 74.4	542 79.4	570 81.7	202 85.2	23 82.1	966 69.3	1,388 78.9	38 74.5	2,392 74.6
ない	24 38.1	96 44.2	125 40.2	123 27.0	128 25.0	139 20.4	111 15.9	25 10.5	3 10.7	414 29.7	350 19.9	10 19.6	774 24.1
無回答	1 1.6	0 0.0	3 1.0	1 0.2	3 0.6	2 0.3	17 2.4	10 4.2	2 7.1	14 1.0	22 1.3	3 5.9	39 1.2
計	63 100.0	217 100.0	311 100.0	456 100.0	512 100.0	683 100.0	698 100.0	237 100.0	28 100.0	1,394 100.0	1,760 100.0	51 100.0	3,205 100.0

《学童思春期》

【全体】 かかりつけ歯科医については「ある」が70.8%である。

【年代】 全学年を通して「ある」が最も高い。中学生、高校生は「ない」が3割以上となっている。

【性別】 「ある」は男性が66.4%、女が75.2%である。

《図表29》 かかりつけ歯科医（学童思春期） 年齢階級・性別

(単位：上段人数(人)・下段割合(%))

区分	小学 1～4年生	小学 5・6年生	中学生	高校生	男性	女性	無回答	全体数
ある	508 84.7	250 76.0	384 67.1	444 60.0	762 66.4	819 75.2	5 100.0	1,586 70.8
ない	92 15.3	76 23.1	188 32.9	293 39.6	382 33.3	267 24.5	0 0.0	649 29.0
無回答	0 0.0	3 0.9	0 0.0	3 0.4	3 0.3	3 0.3	0 0.0	6 0.3
計	600 100.0	329 100.0	572 100.0	740 100.0	1,147 100.0	1,089 100.0	5 100.0	2,241 100.0

7 健康維持のための活動状況

(1) 健康のための行動（一般のみ）

①健康維持のための心がけ

設問 健康を維持するために心がけていることはありますか。(あてはまるもの1つに○)

1. ある 2. ない

【全体】健康維持のための心がけについては「ある」が73.5%である。

【年代】概ね年代が上がるにつれて「ある」が高くなっている。

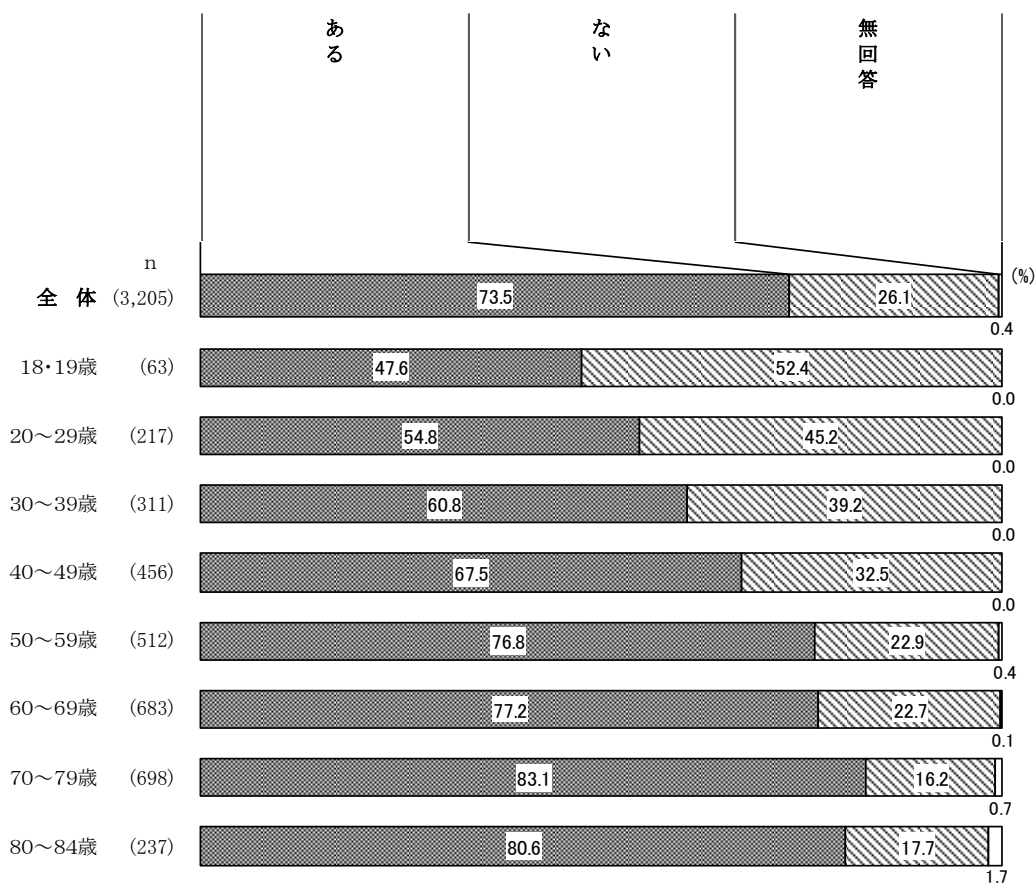
【性別】「ある」は男性が69.5%、女性が76.6%である。

〈図表 30〉健康維持のための心がけ（一般） 年齢階級・性別

(単位：上段人数(人)・下段割合(%))

区分	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
ある	30 47.6	119 54.8	189 60.8	308 67.5	393 76.8	527 77.2	580 83.1	191 80.6	18 64.3	969 69.5	1,348 76.6	38 74.5	2,355 73.5
ない	33 52.4	98 45.2	122 39.2	148 32.5	117 22.9	155 22.7	113 16.2	42 17.7	8 28.6	422 30.3	403 22.9	11 21.6	836 26.1
無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 0.4	1 0.1	5 0.7	4 1.7	2 7.1	3 0.2	9 0.5	2 3.9	14 0.4
計	63 100.0	217 100.0	311 100.0	456 100.0	512 100.0	683 100.0	698 100.0	237 100.0	28 100.0	1,394 100.0	1,760 100.0	51 100.0	3,205 100.0

〈図表 31〉健康維持のための心がけ（一般） 年齢階級別／割合



②健康維持のために心がけていることが「ある」の内容（心がけていることが「ある」のみ）

設問 心がけていることはどんなことですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|-------------|-----------|-------------|
| 1. 運動 | 2. 栄養（食事） | 3. 休養・睡眠 |
| 4. 健康診断を受ける | 5. 酒をひかえる | 6. たばこをひかえる |
| 7. その他 | | |

【全体】健康維持のために心がけていることは「栄養（食事）」が69.4%で最も高く、次いで「運動」が59.6%、「休養・睡眠」が58.1%である。

【年代】20歳代は「運動」が最も高く、その他の年代は「栄養（食事）」が最も高い。

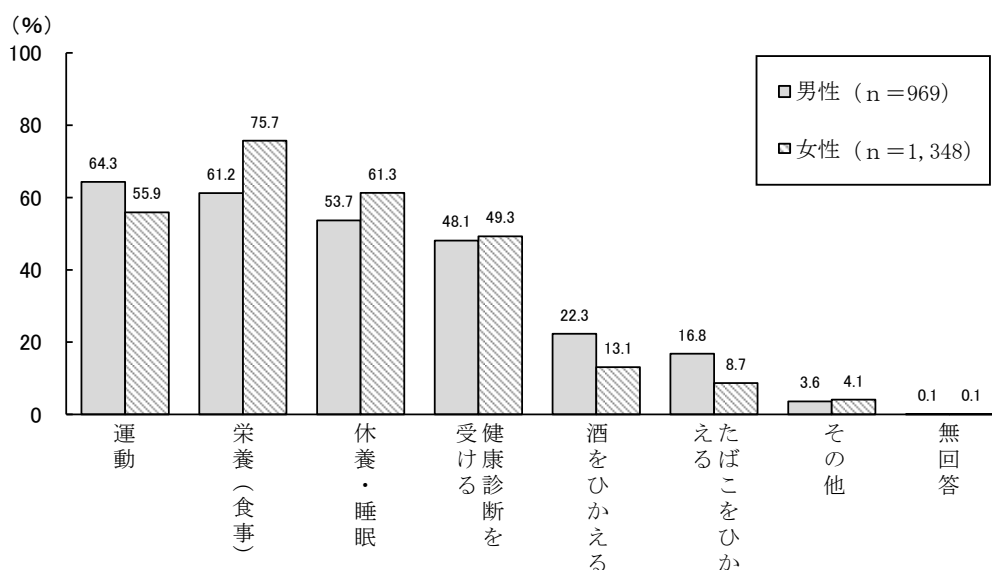
【性別】男性は「運動」が64.3%で最も高く、次いで「栄養（食事）」が61.2%、「休養・睡眠」が53.7%である。女性は「栄養（食事）」が75.7%で最も高く、次いで「休養・睡眠」が61.3%、「運動」が55.9%である。

〈図表 32〉健康維持のための心がけが「ある」の内容（一般） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
運動	17 56.7	69 58.0	79 41.8	167 54.2	211 53.7	325 61.7	394 67.9	132 69.1	10 55.6	623 64.3	754 55.9	27 71.1	1,404 59.6
栄養（食事）	22 73.3	67 56.3	134 70.9	195 63.3	268 68.2	378 71.7	421 72.6	138 72.3	11 61.1	593 61.2	1,021 75.7	20 52.6	1,634 69.4
休養・睡眠	18 60.0	66 55.5	117 61.9	158 51.3	227 57.8	325 61.7	333 57.4	113 59.2	11 61.1	520 53.7	826 61.3	22 57.9	1,368 58.1
健康診断を受ける	5 16.7	26 21.8	63 33.3	134 43.5	203 51.7	259 49.1	344 59.3	102 53.4	8 44.4	466 48.1	665 49.3	13 34.2	1,144 48.6
酒をひかえる	0 0.0	29 24.4	37 19.6	55 17.9	70 17.8	87 16.5	87 15.0	27 14.1	5 27.8	216 22.3	176 13.1	5 13.2	397 16.9
たばこをひかえる	0 0.0	22 18.5	30 15.9	33 10.7	41 10.4	60 11.4	74 12.8	24 12.6	2 11.1	163 16.8	117 8.7	6 15.8	286 12.1
その他	0 0.0	6 5.0	6 3.2	12 3.9	15 3.8	17 3.2	23 4.0	11 5.8	0 0.0	35 3.6	55 4.1	0 0.0	90 3.8
無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.5	0 0.0	1 0.1	1 0.1	0 0.0	2 0.1
計	30 100.0	119 100.0	189 100.0	308 100.0	393 100.0	527 100.0	580 100.0	191 100.0	18 100.0	969 100.0	1,348 100.0	38 100.0	2,355 100.0

〈図表 33〉健康維持のための心がけが「ある」の内容（一般） 性別／割合



③健康維持のために心がけていることが「ない」理由（心がけていることが「ない」のみ）

設問 なぜですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 忙しくて時間がない | 2. 健康なので必要ない |
| 3. 経済的にゆとりがない | 4. 健康上の理由からやれない |
| 5. 施設や機会がない | 6. やり方がわからない |
| 7. 一緒にやる仲間がいない | 8. 特に理由はない |

【全体】健康維持のために心がけていることが「ない」理由は「特に理由はない」が42.5%で最も高く、次いで「忙しくて時間がない」が32.1%、「経済的にゆとりがない」が12.7%である。

【年代】20歳代、60歳以上は「特に理由はない」が最も高く、18・19歳、30～59歳は「忙しくて時間がない」が最も高い。

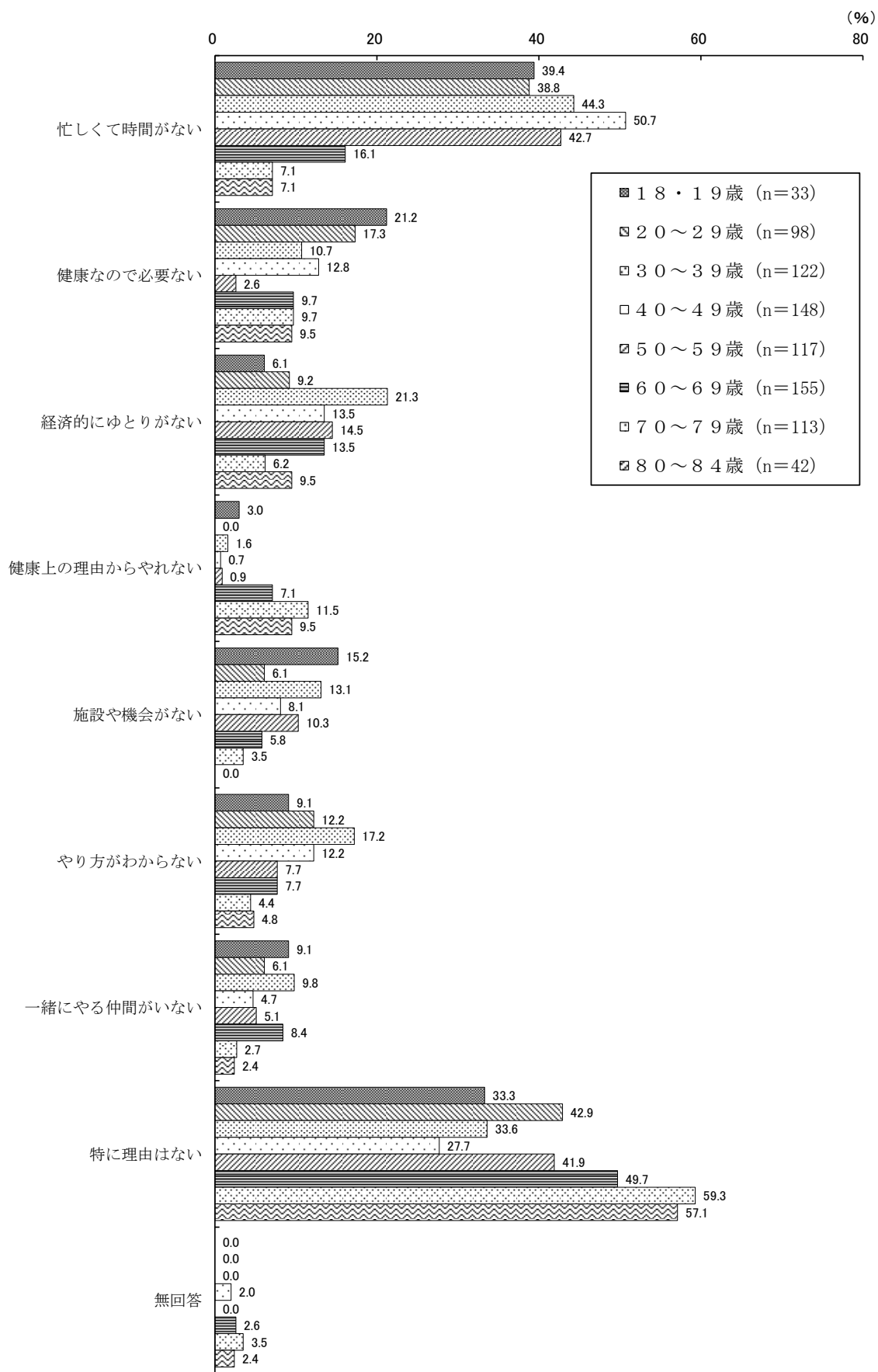
【性別】「特に理由はない」は男性が43.6%、女性が41.4%である。

〈図表 34〉健康維持のために心がけていることが「ない」理由（一般） 年齢階級・性別

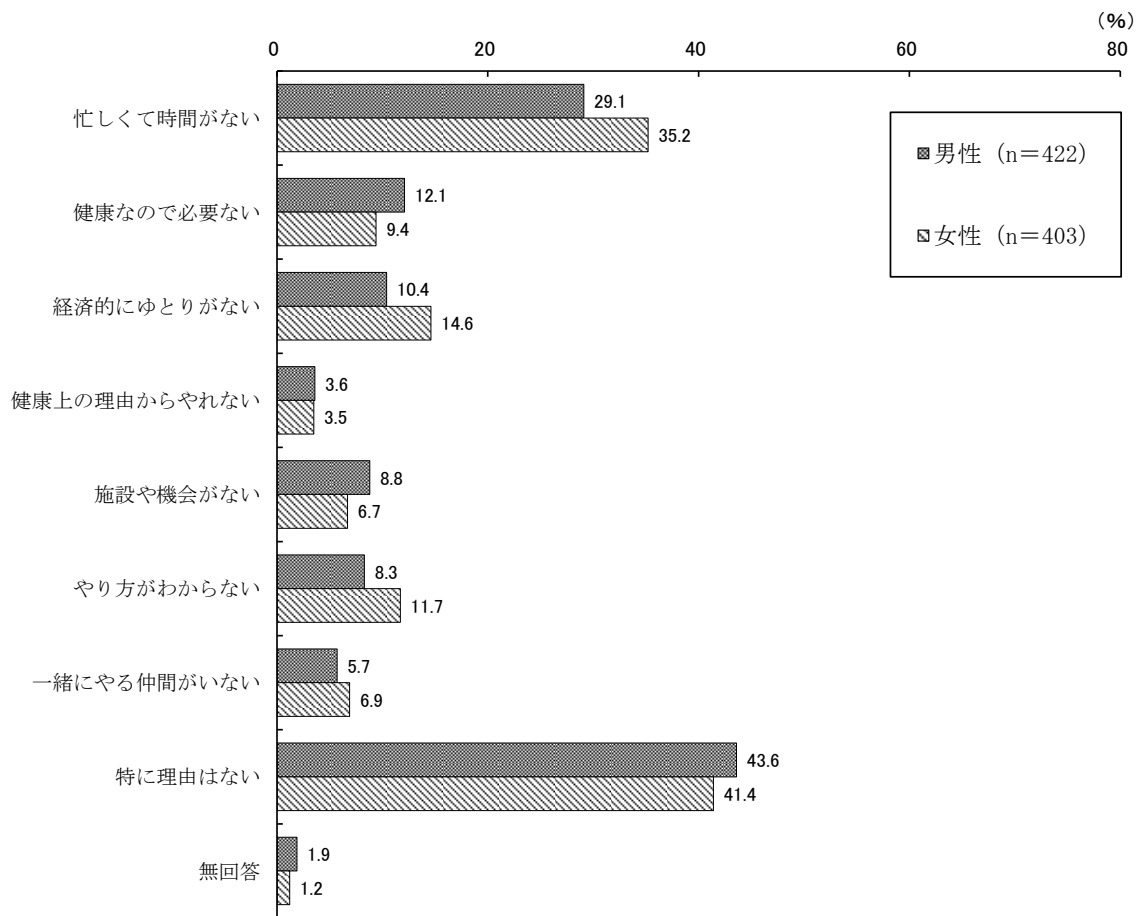
（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
忙しくて時間がない	13 39.4	38 38.8	54 44.3	75 50.7	50 42.7	25 16.1	8 7.1	3 7.1	2 25.0	123 29.1	142 35.2	3 27.3	268 32.1
健康なので必要ない	7 21.2	17 17.3	13 10.7	19 12.8	3 2.6	15 9.7	11 9.7	4 9.5	1 12.5	51 12.1	38 9.4	1 9.1	90 10.8
経済的にゆとりがない	2 6.1	9 9.2	26 21.3	20 13.5	17 14.5	21 13.5	7 6.2	4 9.5	0 0.0	44 10.4	59 14.6	3 27.3	106 12.7
健康上の理由からやれない	1 3.0	0 0.0	2 1.6	1 0.7	1 0.9	11 7.1	13 11.5	4 9.5	0 0.0	15 3.6	14 3.5	4 36.4	33 3.9
施設や機会がない	5 15.2	6 6.1	16 13.1	12 8.1	12 10.3	9 5.8	4 3.5	0 0.0	1 12.5	37 8.8	27 6.7	1 9.1	65 7.8
やり方がわからない	3 9.1	12 12.2	21 17.2	18 12.2	9 7.7	12 7.7	5 4.4	2 4.8	1 12.5	35 8.3	47 11.7	1 9.1	83 9.9
一緒にやる仲間がいない	3 9.1	6 6.1	12 9.8	7 4.7	6 5.1	13 8.4	3 2.7	1 2.4	1 12.5	24 5.7	28 6.9	0 0.0	52 6.2
特に理由はない	11 33.3	42 42.9	41 33.6	41 27.7	49 41.9	77 49.7	67 59.3	24 57.1	3 37.5	184 43.6	167 41.4	4 36.4	355 42.5
無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 2.0	0 0.0	4 2.6	4 3.5	1 2.4	1 12.5	8 1.9	5 1.2	0 0.0	13 1.6
計	33 100.0	98 100.0	122 100.0	148 100.0	117 100.0	155 100.0	113 100.0	42 100.0	8 100.0	422 100.0	403 100.0	11 100.0	836 100.0

〈図表 35〉健康維持のために心がけていることが「ない」理由（一般） 年齢階級別／割合



〈図表 36〉健康維持のために心がけていることが「ない」理由（一般） 性別／割合



(2) 運動

①運動の頻度

《一般》

設問 普段、運動をしていますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1. ほとんど毎日している
- 2. 週に2～4回している
- 3. 週1回程度している
- 4. ほとんどしていない

【全体】運動の頻度については「ほとんどしていない」が35.5%で最も高く、次いで「週に2～4回している」が25.6%、「ほとんど毎日している」が22.6%である。

『週1回以上している群(「ほとんど毎日している」と「週に2～4回している」と「週1回程度している」を合わせたもの)』は63.1%である。

【年代】60歳代以下は「ほとんどしていない」が最も高い。70歳代は「週に2～4回している」が34.1%、80～84歳は「ほとんど毎日している」が32.1%で最も高い。

『週1回以上している群』は70歳代が75.3%、80～84歳が75.2%と他の年代に比べて高い。

【性別】「ほとんどしていない」は男性が35.2%、女性が35.9%である。

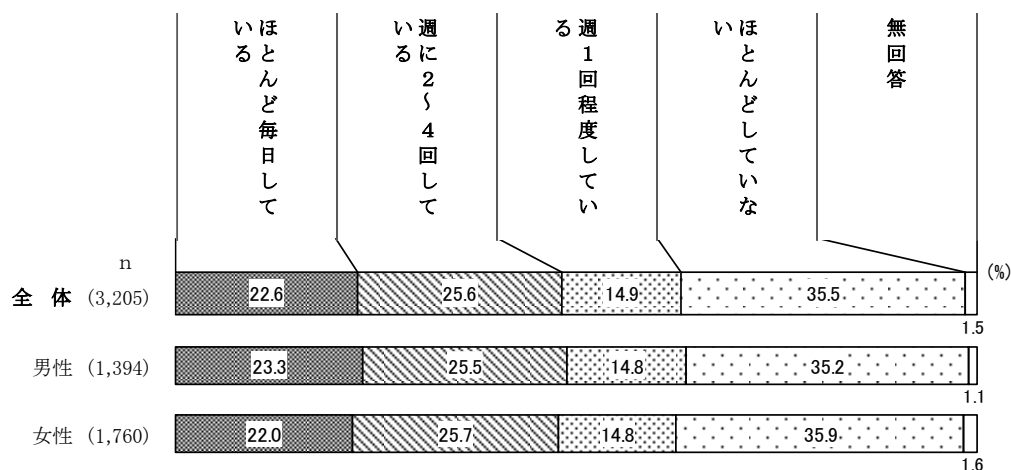
『週1回以上している群』は男性が63.6%、女性が62.5%である。

〈図表 37〉 運動の頻度 (一般) 年齢階級・性別

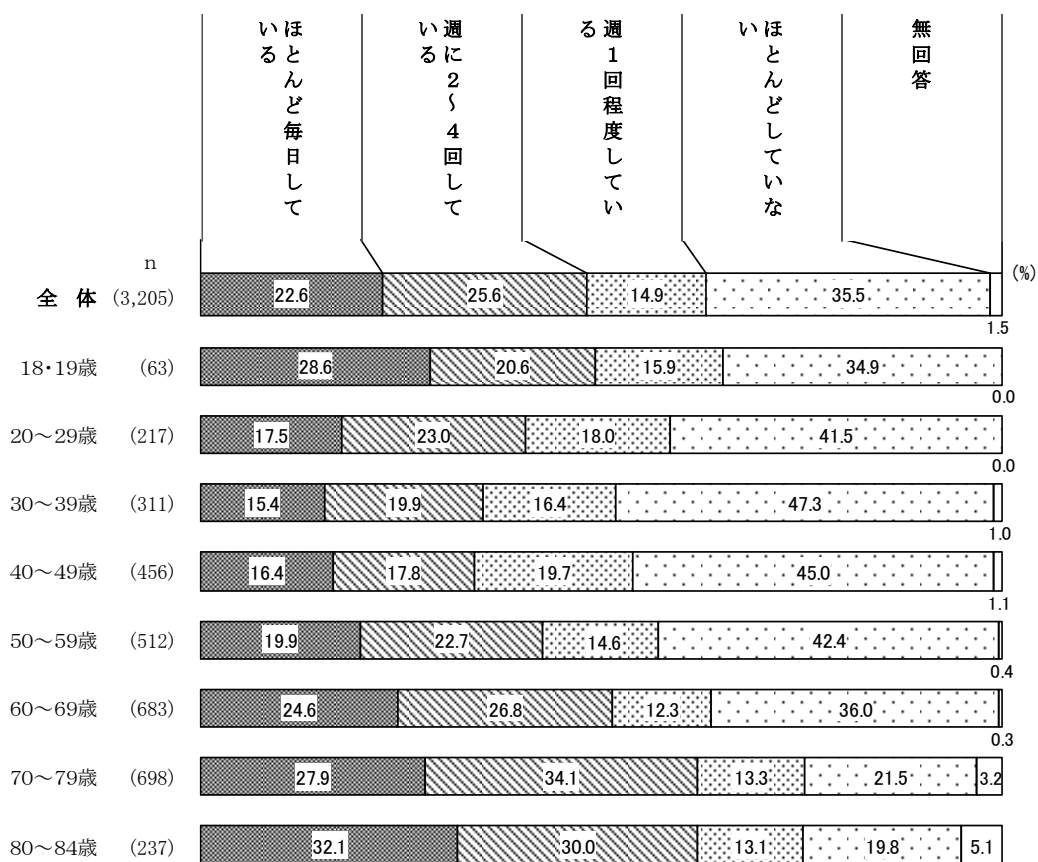
(単位: 上段人数(人)・下段割合(%))

区分	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
ほとんど毎日している	18 28.6	38 17.5	48 15.4	75 16.4	102 19.9	168 24.6	195 27.9	76 32.1	3 10.7	325 23.3	387 22.0	11 21.6	723 22.6
週に2～4回している	13 20.6	50 23.0	62 19.9	81 17.8	116 22.7	183 26.8	238 34.1	71 30.0	7 25.0	356 25.5	452 25.7	13 25.5	821 25.6
週1回程度している	10 15.9	39 18.0	51 16.4	90 19.7	75 14.6	84 12.3	93 13.3	31 13.1	4 14.3	206 14.8	261 14.8	10 19.6	477 14.9
ほとんどしていない	22 34.9	90 41.5	147 47.3	205 45.0	217 42.4	246 36.0	150 21.5	47 19.8	13 46.4	491 35.2	632 35.9	14 27.5	1,137 35.5
無回答	0 0.0	0 0.0	3 1.0	5 1.1	2 0.4	2 0.3	22 3.2	12 5.1	1 3.6	16 1.1	28 1.6	3 5.9	47 1.5
計	63 100.0	217 100.0	311 100.0	456 100.0	512 100.0	683 100.0	698 100.0	237 100.0	28 100.0	1,394 100.0	1,760 100.0	51 100.0	3,205 100.0
週1回以上している	41 65.1	127 58.5	161 51.7	246 53.9	293 57.2	435 63.7	526 75.3	178 75.2	14 50.0	887 63.6	1,100 62.5	34 66.7	2,021 63.1

〈図表 38〉 運動の頻度 (一般) 性別/割合



〈図表 39〉 運動の頻度（一般） 年齢階級別／割合



《学童思春期》

設問 学校の授業以外（部活動・スポーツ関連の習い事など）でどのくらい運動をしていますか。（あてはまるもの1つに○）

- 1. ほとんど毎日している
- 2. 週に2～4回している
- 3. 週1回程度している
- 4. ほとんどしていない

【全体】運動の頻度については「ほとんどしていない」は28.1%で最も高く、次いで「ほとんど毎日している」が28.0%、「週2～4回程度している」が24.3%である。
『週1回以上している群』は71.8%である。

【年代】小学1～4年生は「ほとんどしていない」、小学5・6年生は「週2～4回程度している」が最も高い。中学生、高校生は「ほとんど毎日している」が最も高い。
『週1回以上している群』は小学5・6年生が85.2%、中学生が80.8%と他の学年に比べて高い。

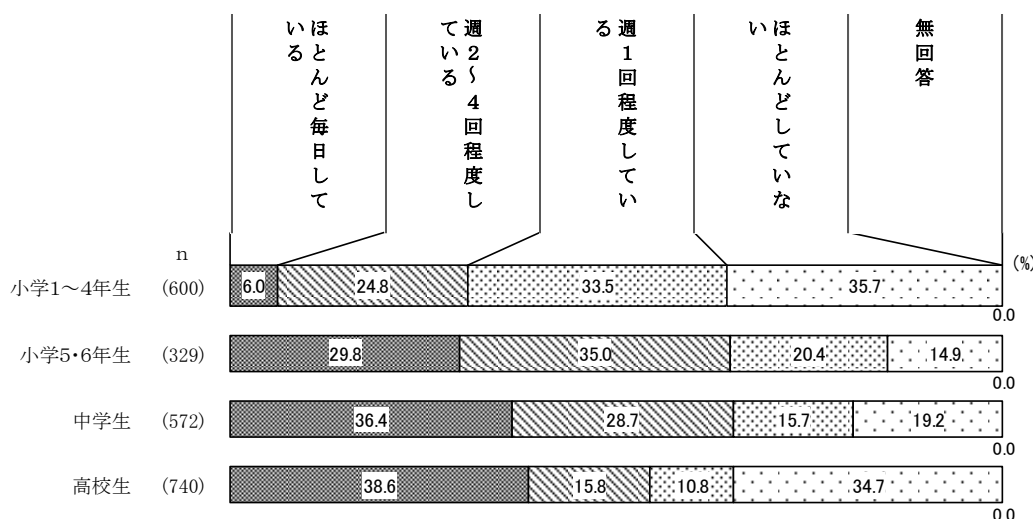
【性別】男性は「ほとんど毎日している」が34.0%で最も高く、次いで「週2～4回程度している」が26.2%、「ほとんどしていない」が21.8%である。女性は「ほとんどしていない」が34.8%で最も高く、次いで「週2～4回程度している」が22.3%、「ほとんど毎日している」が21.8%である。
『週1回以上している群』は男性が78.2%、女性が65.2%である。

〈図表40〉運動の頻度（学童思春期） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	小学 1～4年生	小学 5・6年生	中学生	高校生	男性	女性	無回答	全体数
ほとんど毎日している	36 6.0	98 29.8	208 36.4	286 38.6	390 34.0	237 21.8	1 20.0	628 28.0
週2～4回程度している	149 24.8	115 35.0	164 28.7	117 15.8	301 26.2	243 22.3	1 20.0	545 24.3
週1回程度している	201 33.5	67 20.4	90 15.7	80 10.8	206 18.0	230 21.1	2 40.0	438 19.5
ほとんどしていない	214 35.7	49 14.9	110 19.2	257 34.7	250 21.8	379 34.8	1 20.0	630 28.1
無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
計	600 100.0	329 100.0	572 100.0	740 100.0	1,147 100.0	1,089 100.0	5 100.0	2,241 100.0
週1回以上している	386 64.3	280 85.2	462 80.8	483 65.2	897 78.2	710 65.2	4 80.0	1,611 71.8

〈図表41〉運動の頻度（学童思春期） 年齢階級別／割合



② 1日の運動時間（一般、「ほとんど毎日」「週2～4回」「週1回程度」運動をしている人のみ）

設問 1日の運動時間はどれくらいですか。（通勤時の徒歩や自転車、農作業などの身体活動を含む）運動がいくつもある場合は1日の運動時間を合計してお答えください。（あてはまるもの1つに○）

1. 30分未満 2. 30分以上

【全体】1日の運動時間は「30分以上」が62.0%で最も高く、次いで「30分未満」が37.0%である。

【年代】全年代を通して「30分以上」が最も高い。

【性別】「30分以上」は男性が66.4%、女性が58.3%である。

〈図表 42〉 1日の運動時間（一般） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	18・ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 79歳	80～ 84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
30分未満	15 36.6	51 40.2	65 40.4	100 40.7	114 38.9	151 34.7	160 30.4	83 46.6	8 57.1	288 32.5	450 40.9	9 26.5	747 37.0
30分以上	26 63.4	75 59.1	95 59.0	146 59.3	179 61.1	280 64.4	355 67.5	92 51.7	6 42.9	589 66.4	641 58.3	24 70.6	1,254 62.0
無回答	0 0.0	1 0.8	1 0.6	0 0.0	0 0.0	4 0.9	11 2.1	3 1.7	0 0.0	10 1.1	9 0.8	1 2.9	20 1.0
計	41 100.0	127 100.0	161 100.0	246 100.0	293 100.0	435 100.0	526 100.0	178 100.0	14 100.0	887 100.0	1,100 100.0	34 100.0	2,021 100.0

(3) テレビ・DVD・パソコン・スマホなどの時間（学童思春期のみ）

①テレビ・DVD・パソコン・スマホなどの時間

設問 学校の授業以外でテレビ・DVD、パソコン、スマホ・タブレットなどを利用する時間は1日平均どれくらいですか。（あてはまるもの1つに○）

1. 1時間未満 2. 1～2時間未満 3. 2～3時間未満 4. 3時間以上

【全体】 テレビ、DVD、パソコン、スマホなどを利用する時間は、1日平均「1～2時間未満」が33.1%で最も高く、次いで「2～3時間未満」が30.6%、「3時間以上」が24.9%である。

【年代】 小学1～4年生、小学5・6年生、中学生は「1～2時間未満」が最も高い。高校生は「3時間以上」が最も高い。

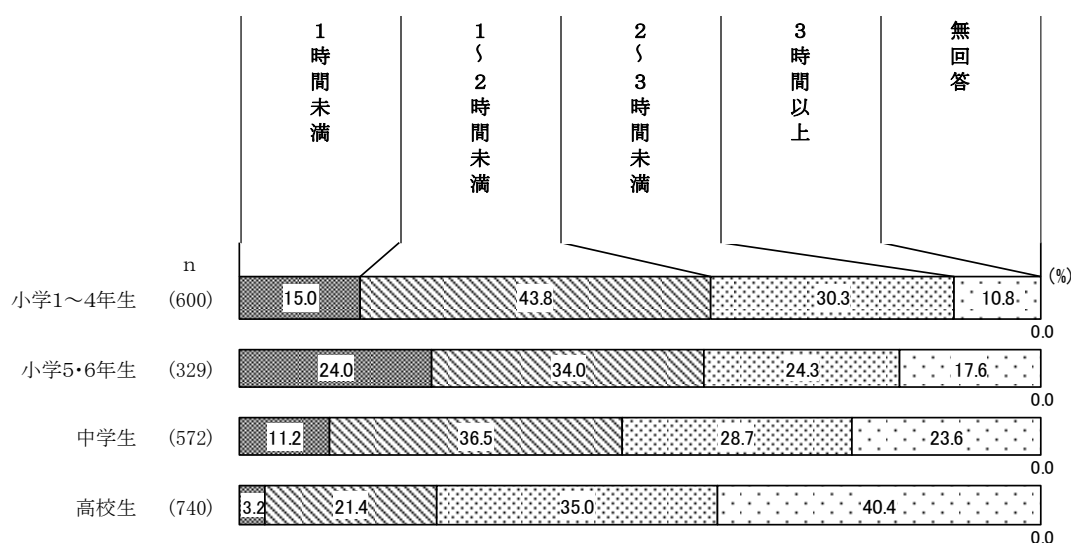
【性別】 「3時間以上」は男性が27.3%、女性が22.4%である。

〈図表43〉 テレビ・DVD・パソコン・スマホなどの時間（学童思春期） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	小学 1～4年生	小学 5・6年生	中学生	高校生	男性	女性	無回答	全体数
1時間未満	90 15.0	79 24.0	64 11.2	24 3.2	109 9.5	148 13.6	0 0.0	257 11.5
1～2時間未満	263 43.8	112 34.0	209 36.5	158 21.4	379 33.0	361 33.1	2 40.0	742 33.1
2～3時間未満	182 30.3	80 24.3	164 28.7	259 35.0	346 30.2	336 30.9	3 60.0	685 30.6
3時間以上	65 10.8	58 17.6	135 23.6	299 40.4	313 27.3	244 22.4	0 0.0	557 24.9
無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
計	600 100.0	329 100.0	572 100.0	740 100.0	1,147 100.0	1,089 100.0	5 100.0	2,241 100.0

〈図表44〉 テレビ・DVD・パソコン・スマホなどの時間（学童思春期） 年齢階級別／割合



②スマホ・タブレットの時間

設問 そのうち、学校の授業以外でスマホ・タブレットを利用する時間はどれくらいですか。(あてはまるもの1つに○)

1. 1時間未満 2. 1～2時間未満 3. 2～3時間未満 4. 3時間以上

【全体】スマホ・タブレットを利用する時間は、1日平均「1時間未満」が36.6%で最も高く、次いで「1～2時間未満」が29.0%、「2～3時間未満」が18.7%である。

【年代】小学1～4年生、小学5・6年生は「1時間未満」が最も高い。中学生は「1～2時間未満」、高校生は「3時間以上」が最も高い

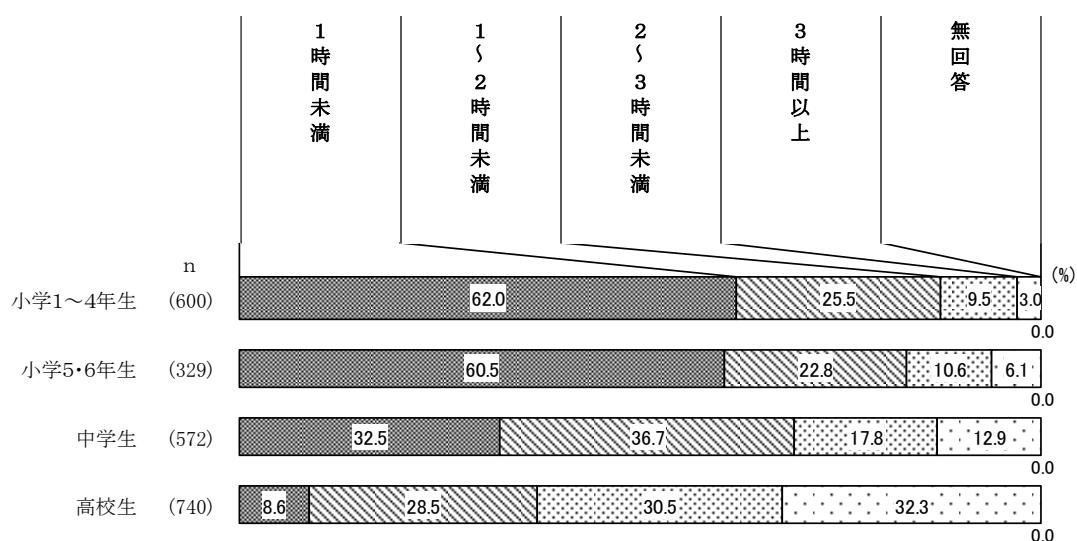
【性別】「3時間以上」は男性が16.9%、女性が14.4%である。

〈図表 45〉スマホ・タブレットの時間（学童思春期） 年齢階級・性別

(単位：上段人数(人)・下段割合(%))

区分	小学 1～4年生	小学 5・6年生	中学生	高校生	男性	女性	無回答	全体数
1時間未満	372 62.0	199 60.5	186 32.5	64 8.6	414 36.1	407 37.4	0 0.0	821 36.6
1～2時間未満	153 25.5	75 22.8	210 36.7	211 28.5	330 28.8	315 28.9	4 80.0	649 29.0
2～3時間未満	57 9.5	35 10.6	102 17.8	226 30.5	209 18.2	210 19.3	1 20.0	420 18.7
3時間以上	18 3.0	20 6.1	74 12.9	239 32.3	194 16.9	157 14.4	0 0.0	351 15.7
無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
計	600 100.0	329 100.0	572 100.0	740 100.0	1,147 100.0	1,089 100.0	5 100.0	2,241 100.0

〈図表 46〉スマホ・タブレットの時間（学童思春期） 年齢階級別／割合



8 フレイルの認知度

(1) フレイルの認知度（一般のみ）

設問 フレイル※について知っていますか。（あてはまるもの1つに○）

1. 言葉も内容も知っている 2. 言葉は知っている 3. 知らない

※健康な状態と要介護状態の中間の状態、身体機能、認知機能、生活機能及び社会性などの低下が見られる状態のことです。

【全体】フレイルの認知度については「知らない」が69.0%で最も高く、次いで「言葉は知っている」が14.7%、「言葉も内容も知っている」が14.3%である。

【年代】全年代を通して「知らない」が最も高い。「言葉も内容も知っている」は70歳代が19.1%、80～84歳が21.9%である。

【性別】「知らない」は男性が76.8%、女性が63.0%である。

〈図表 47〉フレイルの認知度（一般） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
言葉も内容も知っている	5 7.9	23 10.6	33 10.6	46 10.1	60 11.7	105 15.4	133 19.1	52 21.9	2 7.1	138 9.9	317 18.0	4 7.8	459 14.3
言葉は知っている	5 7.9	16 7.4	14 4.5	36 7.9	66 12.9	120 17.6	169 24.2	41 17.3	4 14.3	163 11.7	301 17.1	7 13.7	471 14.7
知らない	53 84.1	177 81.6	261 83.9	369 80.9	384 75.0	454 66.5	369 52.9	126 53.2	19 67.9	1,070 76.8	1,108 63.0	34 66.7	2,212 69.0
無回答	0 0.0	1 0.5	3 1.0	5 1.1	2 0.4	4 0.6	27 3.9	18 7.6	3 10.7	23 1.6	34 1.9	6 11.8	63 2.0
計	63 100.0	217 100.0	311 100.0	456 100.0	512 100.0	683 100.0	698 100.0	237 100.0	28 100.0	1,394 100.0	1,760 100.0	51 100.0	3,205 100.0

9 食生活の状況

(1) 1日3食の摂取状況

《一般》

設問 1日3食とりますか。(あてはまるもの1つに○)

1. ほとんど毎日 2. 時々(週3～4回) 3. ほとんどとらない

【全体】 1日3食の摂取状況は「ほとんど毎日」が81.0%で最も高い。

【年代】 全年代を通して「ほとんど毎日」が最も高い。30歳代以下は「時々(週3～4回)」
「ほとんどとらない」が他の年代に比べて高い。

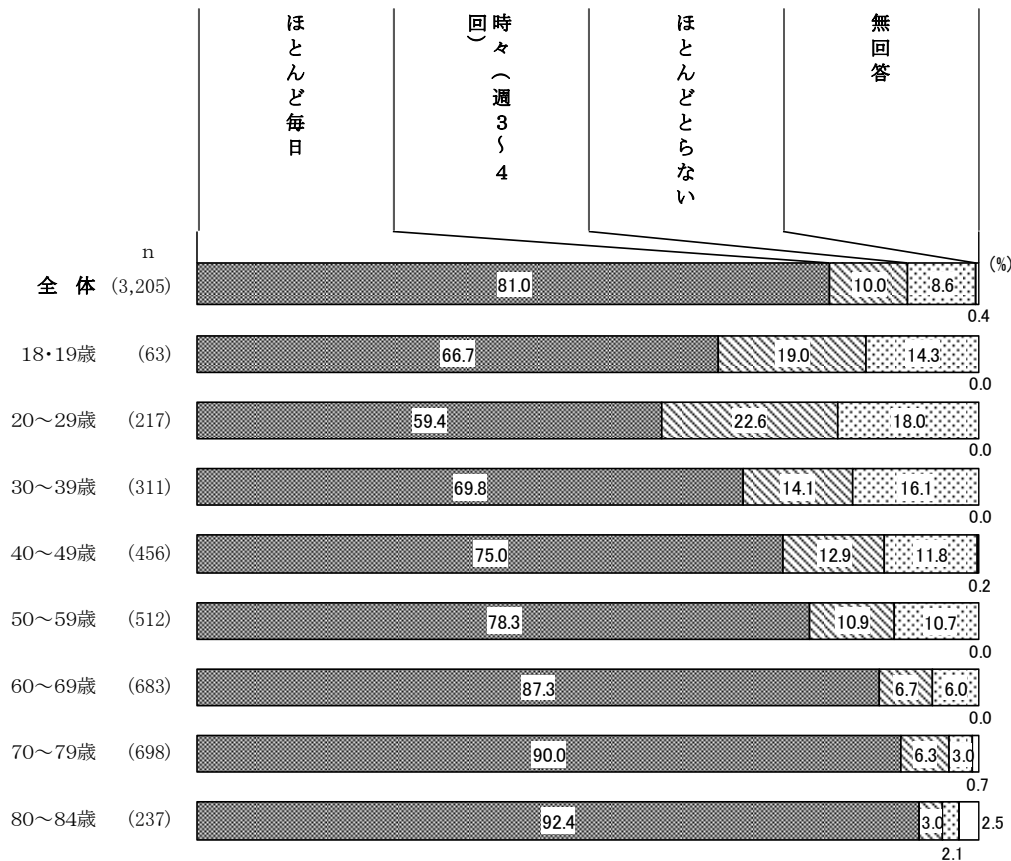
【性別】 「ほとんど毎日」は男性が78.3%、女性が83.1%である。

〈図表48〉 1日3食の摂取状況(一般) 年齢階級・性別

(単位: 上段人数(人)・下段割合(%))

区分	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
ほとんど毎日	42 66.7	129 59.4	217 69.8	342 75.0	401 78.3	596 87.3	628 90.0	219 92.4	22 78.6	1,092 78.3	1,463 83.1	41 80.4	2,596 81.0
時々(週3～4回)	12 19.0	49 22.6	44 14.1	59 12.9	56 10.9	46 6.7	44 6.3	7 3.0	2 7.1	137 9.8	176 10.0	6 11.8	319 10.0
ほとんどとらない	9 14.3	39 18.0	50 16.1	54 11.8	55 10.7	41 6.0	21 3.0	5 2.1	3 10.7	160 11.5	114 6.5	3 5.9	277 8.6
無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.2	0 0.0	0 0.0	5 0.7	6 2.5	1 3.6	5 0.4	7 0.4	1 2.0	13 0.4
計	63 100.0	217 100.0	311 100.0	456 100.0	512 100.0	683 100.0	698 100.0	237 100.0	28 100.0	1,394 100.0	1,760 100.0	51 100.0	3,205 100.0

〈図表49〉 1日3食の摂取状況(一般) 年齢階級別/割合



《学童思春期》

設問 1日3食、食べていますか。(あてはまるもの1つに○)

1. ほとんど毎日食べる 2. 時々(週3~4回)食べる 3. ほとんど食べない

【全体】 1日3食の摂取状況は「ほとんど毎日食べる」が91.1%で最も高い。

【年代】 全学年を通して「ほとんど毎日食べる」が最も高く、小学1~4年生は97.5%、小学5・6年生は91.8%、中学生は90.6%、高校生は86.1%である。

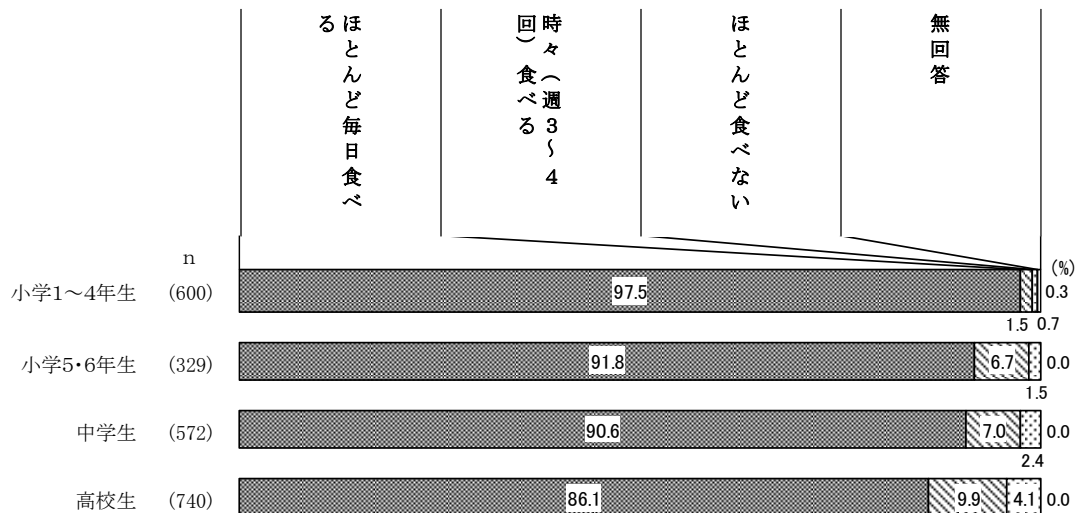
【性別】 「ほとんど毎日食べる」は男性が90.8%、女性が91.4%である。

〈図表 50〉 1日3食の摂取状況（学童思春期） 年齢階級・性別

(単位：上段人数(人)・下段割合(%))

区分	小学 1~4年生	小学 5・6年生	中学生	高校生	男性	女性	無回答	全体数
ほとんど毎日 食べる	585 97.5	302 91.8	518 90.6	637 86.1	1,042 90.8	995 91.4	5 100.0	2,042 91.1
時々(週3~ 4回)食べる	9 1.5	22 6.7	40 7.0	73 9.9	71 6.2	73 6.7	0 0.0	144 6.4
ほとんど食べ ない	4 0.7	5 1.5	14 2.4	30 4.1	33 2.9	20 1.8	0 0.0	53 2.4
無回答	2 0.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.1	1 0.1	0 0.0	2 0.1
計	600 100.0	329 100.0	572 100.0	740 100.0	1,147 100.0	1,089 100.0	5 100.0	2,241 100.0

〈図表 51〉 1日3食の摂取状況（学童思春期） 年齢階級別／割合



(2) 朝食の摂取状況

《一般》

設問 朝食を食べていますか。(あてはまるもの1つに○)

1. ほとんど毎日 2. 時々(週3～4回) 3. ほとんど食べない

【全体】朝食の摂取状況は「ほとんど毎日」が83.4%で最も高い。

【年代】全年代を通して「ほとんど毎日」が最も高い。20歳以上は年代が上がるにつれて高くなっている。30歳代以下は「時々(週3～4回)」「ほとんど食べない」が他の年代に比べて高い。

【性別】「ほとんど毎日」は男性が81.0%、女性が85.3%である。

〈図表 52〉朝食の摂取状況(一般) 年齢階級・性別

(単位:上段人数(人)・下段割合(%))

区分	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
ほとんど毎日	42 66.7	132 60.8	218 70.1	348 76.3	421 82.2	615 90.0	648 92.8	226 95.4	23 82.1	1,129 81.0	1,501 85.3	43 84.3	2,673 83.4
時々(週3～4回)	13 20.6	46 21.2	42 13.5	48 10.5	43 8.4	32 4.7	26 3.7	3 1.3	2 7.1	108 7.7	143 8.1	4 7.8	255 8.0
ほとんど食べない	8 12.7	39 18.0	51 16.4	59 12.9	48 9.4	35 5.1	18 2.6	7 3.0	3 10.7	153 11.0	111 6.3	4 7.8	268 8.4
無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.2	0 0.0	1 0.1	6 0.9	1 0.4	0 0.0	4 0.3	5 0.3	0 0.0	9 0.3
計	63 100.0	217 100.0	311 100.0	456 100.0	512 100.0	683 100.0	698 100.0	237 100.0	28 100.0	1,394 100.0	1,760 100.0	51 100.0	3,205 100.0

《学童思春期》

設問 朝食を食べていますか。(あてはまるもの1つに○)

1. ほとんど毎日食べる 2. 時々(週3～4回)食べる 3. ほとんど食べない

【全体】朝食の摂取状況は「ほとんど毎日食べる」が90.4%で最も高い。

【年代】全学年を通して「ほとんど毎日食べる」が最も高く、小学1～4年生は95.8%、小学5・6年生は92.1%、中学生は90.6%、高校生は85.0%である。

【性別】「ほとんど毎日食べる」は男性が90.4%、女性が90.3%である。

〈図表 53〉朝食の摂取状況(学童思春期) 年齢階級・性別

(単位:上段人数(人)・下段割合(%))

区分	小学1～4年生	小学5・6年生	中学生	高校生	男性	女性	無回答	全体数
ほとんど毎日食べる	575 95.8	303 92.1	518 90.6	629 85.0	1,037 90.4	983 90.3	5 100.0	2,025 90.4
時々(週3～4回)食べる	18 3.0	19 5.8	31 5.4	68 9.2	69 6.0	67 6.2	0 0.0	136 6.1
ほとんど食べない	5 0.8	7 2.1	23 4.0	43 5.8	40 3.5	38 3.5	0 0.0	78 3.5
無回答	2 0.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.1	1 0.1	0 0.0	2 0.1
計	600 100.0	329 100.0	572 100.0	740 100.0	1,147 100.0	1,089 100.0	5 100.0	2,241 100.0

(3) 家族と一緒に食事（学童思春期のみ）

設問 家族のどれかと一緒に食事をしていますか。（あてはまるもの1つに○）

1. ほとんど毎日食べる 2. 時々(週3～4回)食べる 3. ほとんど食べない

【全体】家族と一緒に食事は「ほとんど毎日食べる」が83.1%で最も高く、次いで「時々(週3～4回)食べる」が12.4%、「ほとんど食べない」が4.4%である。

【年代】全学年を通して「ほとんど毎日食べる」が最も高く、小学1～4年生は96.5%、小学5・6年生は84.8%、中学生は81.1%、高校生は73.1%である。

【年代】「ほとんど毎日食べる」は男性が82.1%、女性が84.3%である。

〈図表 54〉 家族と一緒に食事（学童思春期） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	小学 1～4年生	小学 5・6年生	中学生	高校生	男性	女性	無回答	全体数
ほとんど毎日 食べる	579 96.5	279 84.8	464 81.1	541 73.1	942 82.1	918 84.3	3 60.0	1,863 83.1
時々(週3～ 4回)食べる	15 2.5	39 11.9	89 15.6	136 18.4	151 13.2	126 11.6	2 40.0	279 12.4
ほとんど食べ ない	6 1.0	11 3.3	19 3.3	63 8.5	54 4.7	45 4.1	0 0.0	99 4.4
無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
計	600 100.0	329 100.0	572 100.0	740 100.0	1,147 100.0	1,089 100.0	5 100.0	2,241 100.0

(4) ゆっくりよく噛んで食事（一般のみ）

設問 普段、ゆっくりよく噛んで食事をしていますか。（あてはまるもの1つに○）

1. はい 2. いいえ

【全体】 ゆっくりよく噛んで食事しているかについては「はい」が61.7%である。

【年代】 30～49歳は「いいえ」が最も高く、その他の年代は「はい」が最も高い。

【性別】 「はい」は男性が56.9%、女性が65.3%である。

〈図表 55〉 ゆっくりよく噛んで食事（一般） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
はい	44 69.8	133 61.3	148 47.6	221 48.5	273 53.3	444 65.0	497 71.2	203 85.7	14 50.0	793 56.9	1,150 65.3	34 66.7	1,977 61.7
いいえ	18 28.6	84 38.7	163 52.4	234 51.3	237 46.3	234 34.3	193 27.7	30 12.7	13 46.4	591 42.4	599 34.0	16 31.4	1,206 37.6
無回答	1 1.6	0 0.0	0 0.0	1 0.2	2 0.4	5 0.7	8 1.1	4 1.7	1 3.6	10 0.7	11 0.6	1 2.0	22 0.7
計	63 100.0	217 100.0	311 100.0	456 100.0	512 100.0	683 100.0	698 100.0	237 100.0	28 100.0	1,394 100.0	1,760 100.0	51 100.0	3,205 100.0

(5) 塩分摂取状況（一般のみ）

設問 塩分のとりすぎに気をつけていますか。（あてはまるもの1つに○）

1. 気をつけている 2. 気をつけていない

【全体】 塩分摂取状況については「気をつけている」が69.8%である。

【年代】 全年代を通して「気をつけている」が最も高く、50歳代は66.4%、60歳代は74.4%、70歳代は87.1%、80～84歳は85.7%と他の年代に比べて高い。

【性別】 「気をつけている」は男性が64.1%、女性が74.3%である。

〈図表 56〉 塩分摂取状況（一般） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
気をつけている	34 54.0	113 52.1	158 50.8	255 55.9	340 66.4	508 74.4	608 87.1	203 85.7	17 60.7	894 64.1	1,308 74.3	34 66.7	2,236 69.8
気をつけていない	29 46.0	104 47.9	152 48.9	200 43.9	171 33.4	174 25.5	87 12.5	31 13.1	11 39.3	493 35.4	449 25.5	17 33.3	959 29.9
無回答	0 0.0	0 0.0	1 0.3	1 0.2	1 0.2	1 0.1	3 0.4	3 1.3	0 0.0	7 0.5	3 0.2	0 0.0	10 0.3
計	63 100.0	217 100.0	311 100.0	456 100.0	512 100.0	683 100.0	698 100.0	237 100.0	28 100.0	1,394 100.0	1,760 100.0	51 100.0	3,205 100.0

(6) 塩分の多い食品の摂取状況

①つけもの

設問 次の項目の食品を1日に何回くらい食べますか。(それぞれあてはまるもの1つに○)

<つけもの(浅漬け・酢漬け・昆布の佃煮など)>

1. 1日3回 2. 1日2回 3. 1日1回以下 4. ほとんど食べない

《一般》

【全体】つけものの摂取状況については「1日1回以下」が48.5%で最も高く、次いで「ほとんど食べない」が25.5%、「1日2回」が18.3%である。

【年代】20歳代以下は「ほとんど食べない」が最も高く、30歳以上は「1日1回以下」が最も高い。60歳以上は「1日2回」が他の年代に比べて高い。

【性別】男性は「1日1回以下」が51.6%で最も高く、次いで「ほとんど食べない」が24.5%、「1日2回」が16.6%である。女性は「1日1回以下」が46.3%で最も高く、次いで「ほとんど食べない」が26.5%、「1日2回」が19.3%である。

〈図表57〉つけものの摂取状況(一般) 年齢階級・性別

(単位:上段人数(人)・下段割合(%))

区分	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
1日3回	2 3.2	0 0.0	3 1.0	7 1.5	15 2.9	53 7.8	81 11.6	40 16.9	3 10.7	81 5.8	121 6.9	2 3.9	204 6.4
1日2回	1 1.6	6 2.8	15 4.8	38 8.3	56 10.9	149 21.8	236 33.8	78 32.9	6 21.4	231 16.6	339 19.3	15 29.4	585 18.3
1日1回以下	24 38.1	95 43.8	159 51.1	247 54.2	303 59.2	344 50.4	287 41.1	83 35.0	13 46.4	719 51.6	815 46.3	21 41.2	1,555 48.5
ほとんど食べない	36 57.1	114 52.5	133 42.8	162 35.5	135 26.4	131 19.2	79 11.3	24 10.1	4 14.3	341 24.5	467 26.5	10 19.6	818 25.5
無回答	0 0.0	2 0.9	1 0.3	2 0.4	3 0.6	6 0.9	15 2.1	12 5.1	2 7.1	22 1.6	18 1.0	3 5.9	43 1.3
計	63 100.0	217 100.0	311 100.0	456 100.0	512 100.0	683 100.0	698 100.0	237 100.0	28 100.0	1,394 100.0	1,760 100.0	51 100.0	3,205 100.0

《学童思春期》

【全体】つけものの摂取状況については「1日1回以下」が44.5%で最も高く、次いで「ほとんど食べない」が36.1%、「1日2回」が13.9%である。

【年代】全学年を通して「1日1回以下」が最も高い。

【性別】男性は「1日1回以下」が43.2%で最も高く、次いで「ほとんど食べない」が35.5%、「1日2回」が15.0%である。女性は「1日1回以下」が46.0%で最も高く、次いで「ほとんど食べない」が36.5%、「1日2回」が12.8%である。

〈図表58〉つけものの摂取状況(学童思春期) 年齢階級・性別

(単位:上段人数(人)・下段割合(%))

区分	小学 1～4年生	小学 5・6年生	中学生	高校生	男性	女性	無回答	全体数
1日3回	11 1.8	41 12.5	42 7.3	29 3.9	72 6.3	51 4.7	0 0.0	123 5.5
1日2回	36 6.0	92 28.0	95 16.6	89 12.0	172 15.0	139 12.8	1 20.0	312 13.9
1日1回以下	305 50.8	111 33.7	252 44.1	329 44.5	496 43.2	501 46.0	0 0.0	997 44.5
ほとんど食べない	248 41.3	85 25.8	183 32.0	293 39.6	407 35.5	398 36.5	4 80.0	809 36.1
無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
計	600 100.0	329 100.0	572 100.0	740 100.0	1,147 100.0	1,089 100.0	5 100.0	2,241 100.0

②みそ汁などの汁物

設問 次の項目の食品を1日に何回くらい食べますか。(それぞれあてはまるもの1つに○)

＜みそ汁などの汁物（インスタント含む）＞

1. 1日3回 2. 1日2回 3. 1日1回以下 4. ほとんど食べない

《一般》

【全体】みそ汁などの汁物の摂取状況については「1日1回以下」が52.2%で最も高く、次いで「1日2回」が26.2%、「ほとんど食べない」が12.6%である。

【年代】全年代を通して「1日1回以下」が最も高い。50歳以上は1日2回以上が他の年代に比べて高い。

【性別】男性は「1日1回以下」が51.3%で最も高く、次いで「1日2回」が28.3%、「ほとんど食べない」が10.4%である。女性は「1日1回以下」が53.2%で最も高く、次いで「1日2回」が24.6%、「ほとんど食べない」が14.3%である。

〈図表 59〉みそ汁などの汁物の摂取状況（一般） 年齢階級・性別

(単位：上段人数(人)・下段割合(%))

区分	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
1日3回	2 3.2	4 1.8	19 6.1	15 3.3	32 6.3	65 9.5	79 11.3	41 17.3	3 10.7	129 9.3	123 7.0	8 15.7	260 8.1
1日2回	8 12.7	45 20.7	80 25.7	103 22.6	127 24.8	176 25.8	216 30.9	77 32.5	9 32.1	394 28.3	433 24.6	14 27.5	841 26.2
1日1回以下	38 60.3	119 54.8	177 56.9	274 60.1	276 53.9	349 51.1	327 46.8	99 41.8	13 46.4	715 51.3	937 53.2	20 39.2	1,672 52.2
ほとんど食べない	15 23.8	49 22.6	35 11.3	62 13.6	77 15.0	89 13.0	59 8.5	15 6.3	2 7.1	145 10.4	252 14.3	6 11.8	403 12.6
無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 0.4	0 0.0	4 0.6	17 2.4	5 2.1	1 3.6	11 0.8	15 0.9	3 5.9	29 0.9
計	63 100.0	217 100.0	311 100.0	456 100.0	512 100.0	683 100.0	698 100.0	237 100.0	28 100.0	1,394 100.0	1,760 100.0	51 100.0	3,205 100.0

《学童思春期》

【全体】みそ汁などの汁物の摂取状況については「1日1回以下」が38.2%で最も高く、次いで「1日2回」が35.8%、「1日3回」が18.6%である。

【年代】小学1～4年生、高校生は「1日1回以下」が最も高い。小学5・6年生、中学生は「1日2回」が最も高い。

【性別】男性は「1日2回」が35.7%で最も高く、次いで「1日1回以下」が35.3%、「1日3回」が22.0%である。女性は「1日1回以下」が41.2%で最も高く、次いで「1日2回」が35.9%、「1日3回」が15.1%である。

〈図表 60〉みそ汁などの汁物の摂取状況（学童思春期） 年齢階級・性別

(単位：上段人数(人)・下段割合(%))

区分	小学1～4年生	小学5・6年生	中学生	高校生	男性	女性	無回答	全体数
1日3回	65 10.8	114 34.7	143 25.0	94 12.7	252 22.0	164 15.1	0 0.0	416 18.6
1日2回	239 39.8	121 36.8	221 38.6	222 30.0	410 35.7	391 35.9	2 40.0	803 35.8
1日1回以下	267 44.5	68 20.7	177 30.9	345 46.6	405 35.3	449 41.2	3 60.0	857 38.2
ほとんど食べない	29 4.8	26 7.9	31 5.4	79 10.7	80 7.0	85 7.8	0 0.0	165 7.4
無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
計	600 100.0	329 100.0	572 100.0	740 100.0	1,147 100.0	1,089 100.0	5 100.0	2,241 100.0

③加工品・練り製品

設問 次の項目の食品を1日に何回くらい食べますか。(それぞれあてはまるもの1つに○)

<加工品・練り製品(ハム・ウインナー・ちくわ・かまぼこなど)>

1. ほとんど毎日 2. 2日に1回 3. 週に1~2回 4. ほとんど食べない

《一般》

【全体】加工品・練り製品の摂取状況については「週に1~2回」が52.6%で最も高く、次いで「2日に1回」が23.2%、「ほとんど毎日」が13.9%である。

【年代】全年代を通して「週に1~2回」が最も高く、次いで「2日に1回」となっている。

【性別】男性は「週に1~2回」が49.2%で最も高く、次いで「2日に1回」が24.8%、「ほとんど毎日」が16.4%である。女性は「週に1~2回」が55.1%で最も高く、次いで「2日に1回」が22.2%、「ほとんど毎日」が11.9%である。

〈図表 61〉加工品・練り製品の摂取状況(一般) 年齢階級・性別

(単位: 上段人数(人)・下段割合(%))

区分	18・19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80~84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
ほとんど毎日	8 12.7	23 10.6	55 17.7	74 16.2	70 13.7	84 12.3	83 11.9	43 18.1	4 14.3	228 16.4	209 11.9	7 13.7	444 13.9
2日に1回	14 22.2	48 22.1	90 28.9	124 27.2	121 23.6	148 21.7	135 19.3	56 23.6	8 28.6	346 24.8	390 22.2	8 15.7	744 23.2
週に1~2回	30 47.6	112 51.6	137 44.1	215 47.1	269 52.5	385 56.4	414 59.3	111 46.8	13 46.4	686 49.2	969 55.1	31 60.8	1,686 52.6
ほとんど食べない	11 17.5	34 15.7	29 9.3	41 9.0	51 10.0	65 9.5	58 8.3	21 8.9	2 7.1	124 8.9	186 10.6	2 3.9	312 9.7
無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 0.4	1 0.2	1 0.1	8 1.1	6 2.5	1 3.6	10 0.7	6 0.3	3 5.9	19 0.6
計	63 100.0	217 100.0	311 100.0	456 100.0	512 100.0	683 100.0	698 100.0	237 100.0	28 100.0	1,394 100.0	1,760 100.0	51 100.0	3,205 100.0

《学童思春期》

【全体】加工品・練り製品の摂取状況については「週に1~2回」が37.8%で最も高く、次いで「2日に1回」が34.9%、「ほとんど毎日」が20.9%である。

【年代】小学1~4年生は「週に1~2回」、小学5・6年生は「ほとんど毎日」「2日に1回」が最も高い。中学生、高校生は「2日に1回」が最も高い。

【性別】男性は「週に1~2回」が37.8%で最も高く、次いで「2日に1回」が33.7%、「ほとんど毎日」が23.7%である。女性は「週に1~2回」が38.0%で最も高く、次いで「2日に1回」が36.2%、「ほとんど毎日」が17.8%である。

〈図表 62〉加工品・練り製品の摂取状況(学童思春期) 年齢階級・性別

(単位: 上段人数(人)・下段割合(%))

区分	小学 1~4年生	小学 5・6年生	中学生	高校生	男性	女性	無回答	全体数
ほとんど毎日	81 13.5	101 30.7	102 17.8	184 24.9	272 23.7	194 17.8	2 40.0	468 20.9
2日に1回	206 34.3	101 30.7	218 38.1	257 34.7	386 33.7	394 36.2	2 40.0	782 34.9
週に1~2回	287 47.8	99 30.1	215 37.6	247 33.4	433 37.8	414 38.0	1 20.0	848 37.8
ほとんど食べない	26 4.3	28 8.5	37 6.5	52 7.0	56 4.9	87 8.0	0 0.0	143 6.4
無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
計	600 100.0	329 100.0	572 100.0	740 100.0	1,147 100.0	1,089 100.0	5 100.0	2,241 100.0

(7) 栄養バランスのとれた食事

設問 主食・主菜・副菜を3つそろえて食べることが1日に2回以上あるのは、週に何日ありますか。(あてはまるもの1つに○)

1. ほぼ毎日 2. 週に4～5日 3. 週に2～3日 4. ほとんどない

※主食…ごはん・パン・麺など、 主菜…肉・魚・卵・大豆製品など、
副菜…野菜・海藻など

《一般》

【全体】 栄養バランスのとれた食事は「ほぼ毎日」が50.9%で最も高い。

【年代】 20歳代は「週に2～3日」が最も高く、その他の年代は「ほぼ毎日」が最も高い。
「ほぼ毎日」は30歳以上で年代が上がるにつれて高くなっている。

【性別】 「ほぼ毎日」は男性が49.2%、女性が52.4%である。

〈図表 63〉 栄養バランスのとれた食事（一般） 年齢階級・性別

(単位：上段人数(人)・下段割合(%))

区分	18・ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 79歳	80～ 84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
ほぼ毎日	21 33.3	55 25.3	118 37.9	180 39.5	245 47.9	404 59.2	438 62.8	156 65.8	13 46.4	686 49.2	922 52.4	22 43.1	1,630 50.9
週に4～5日	15 23.8	46 21.2	65 20.9	100 21.9	101 19.7	118 17.3	138 19.8	33 13.9	5 17.9	271 19.4	338 19.2	12 23.5	621 19.4
週に2～3日	16 25.4	74 34.1	84 27.0	118 25.9	127 24.8	110 16.1	72 10.3	23 9.7	3 10.7	294 21.1	326 18.5	7 13.7	627 19.6
ほとんどない	10 15.9	38 17.5	41 13.2	45 9.9	32 6.3	34 5.0	13 1.9	6 2.5	4 14.3	102 7.3	117 6.6	4 7.8	223 7.0
無回答	1 1.6	4 1.8	3 1.0	13 2.9	7 1.4	17 2.5	37 5.3	19 8.0	3 10.7	41 2.9	57 3.2	6 11.8	104 3.2
計	63 100.0	217 100.0	311 100.0	456 100.0	512 100.0	683 100.0	698 100.0	237 100.0	28 100.0	1,394 100.0	1,760 100.0	51 100.0	3,205 100.0

《学童思春期：中学生・高校生》

【全体】 栄養バランスのとれた食事は「ほぼ毎日」が48.6%で最も高い。

【年代】 全学年を通して「ほぼ毎日」が最も高く、中学生は49.7%、高校生は47.7%である。

【性別】 「ほぼ毎日」は男性が52.2%、女性が44.3%である。

〈図表 64〉 栄養バランスのとれた食事（学童思春期：中学生・高校生） 年齢階級・性別

(単位：上段人数(人)・下段割合(%))

区分	中学生	高校生	男性	女性	無回答	全体数
ほぼ毎日	284 49.7	353 47.7	358 52.2	275 44.3	4 80.0	637 48.6
週に4～5日	175 30.6	234 31.6	204 29.7	204 32.9	1 20.0	409 31.2
週に2～3日	93 16.3	114 15.4	92 13.4	115 18.5	0 0.0	207 15.8
ほとんどない	20 3.5	39 5.3	32 4.7	27 4.3	0 0.0	59 4.5
無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
計	572 100.0	740 100.0	686 100.0	621 100.0	5 100.0	1,312 100.0

(8) 栄養摂取状況

設問 次の食べ物を1日または1週間に何回くらい食べますか。(それぞれあてはまるもの1つに○)

1. ほとんど毎日 2. 2日に1回 3. 週に1～2回 4. ほとんど食べない

①魚介類

《一般》

【全体】魚介類の摂取状況については「週に1～2回」が47.8%で最も高く、次いで「2日に1回」が30.0%、「ほとんど毎日」が12.9%である。

【年代】70歳代以下は「週に1～2回」が最も高く、80～84歳は「2日に1回」が最も高い。概ね年代が上がるにつれて「ほとんど毎日」が高くなっている。

【性別】男性は「週に1～2回」が49.0%で最も高く、次いで「2日に1回」が29.6%「ほとんど毎日」が13.0%である。女性は「週に1～2回」が46.8%で最も高く、次いで「2日に1回」が30.5%「ほとんど毎日」が13.0%である。

〈図表 65〉魚介類の摂取状況（一般） 年齢階級・性別

(単位：上段人数(人)・下段割合(%))

区分	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
ほとんど毎日	3 4.8	6 2.8	17 5.5	41 9.0	50 9.8	84 12.3	145 20.8	67 28.3	2 7.1	181 13.0	228 13.0	6 11.8	415 12.9
2日に1回	18 28.6	42 19.4	87 28.0	112 24.6	159 31.1	220 32.2	234 33.5	80 33.8	9 32.1	413 29.6	536 30.5	12 23.5	961 30.0
週に1～2回	37 58.7	129 59.4	173 55.6	242 53.1	271 52.9	334 48.9	266 38.1	66 27.8	14 50.0	683 49.0	823 46.8	26 51.0	1,532 47.8
ほとんど食べない	5 7.9	39 18.0	29 9.3	57 12.5	24 4.7	36 5.3	24 3.4	12 5.1	1 3.6	94 6.7	131 7.4	2 3.9	227 7.1
無回答	0 0.0	1 0.5	5 1.6	4 0.9	8 1.6	9 1.3	29 4.2	12 5.1	2 7.1	23 1.6	42 2.4	5 9.8	70 2.2
計	63 100.0	217 100.0	311 100.0	456 100.0	512 100.0	683 100.0	698 100.0	237 100.0	28 100.0	1,394 100.0	1,760 100.0	51 100.0	3,205 100.0

《学童思春期》

【全体】魚介類の摂取状況については「週に1～2回」が50.8%で最も高く、次いで「2日に1回」が31.3%、「ほとんど毎日」が10.3%である。

【年代】全学年を通して「週に1～2回」が最も高い。

【性別】男性は「週に1～2回」が49.2%で最も高く、次いで「2日に1回」が31.6%、「ほとんど毎日」が12.4%である。女性は「週に1～2回」が52.3%で最も高く、次いで「2日1回」が31.2%、「ほとんど食べない」が8.4%である。

〈図表 66〉魚介類の摂取状況（学童思春期） 年齢階級・性別

(単位：上段人数(人)・下段割合(%))

区分	小学 1～4年生	小学 5・6年生	中学生	高校生	男性	女性	無回答	全体数
ほとんど毎日	40 6.7	61 18.5	45 7.9	84 11.4	142 12.4	87 8.0	1 20.0	230 10.3
2日に1回	169 28.2	94 28.6	198 34.6	241 32.6	362 31.6	340 31.2	0 0.0	702 31.3
週に1～2回	345 57.5	137 41.6	284 49.7	372 50.3	564 49.2	570 52.3	4 80.0	1,138 50.8
ほとんど食べない	46 7.7	37 11.2	45 7.9	43 5.8	79 6.9	92 8.4	0 0.0	171 7.6
無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
計	600 100.0	329 100.0	572 100.0	740 100.0	1,147 100.0	1,089 100.0	5 100.0	2,241 100.0

②肉類

《一般》

- 【全体】肉類の摂取状況については「2日に1回」が37.6%で最も高く、次いで「週に1～2回」が32.1%、「ほとんど毎日」が24.5%である。
- 【年代】60～79歳は「週に1～2回」が最も高く、その他の年代は「2日に1回」が最も高い（18・19歳は「2日に1回」と「ほとんど毎日」がともに34.9%で最も高い）。
- 【性別】男性は「2日に1回」が37.2%で最も高く、次いで「週に1～2回」が33.9%、「ほとんど毎日」が23.8%である。女性は「2日に1回」が38.4%で最も高く、次いで「週に1～2回」が30.5%、「ほとんど毎日」が25.0%である。

〈図表 67〉肉類の摂取状況（一般） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
ほとんど毎日	22 34.9	79 36.4	113 36.3	150 32.9	118 23.0	124 18.2	126 18.1	44 18.6	8 28.6	332 23.8	440 25.0	12 23.5	784 24.5
2日に1回	22 34.9	90 41.5	128 41.2	179 39.3	208 40.6	231 33.8	256 36.7	84 35.4	8 28.6	518 37.2	675 38.4	13 25.5	1,206 37.6
週に1～2回	17 27.0	43 19.8	62 19.9	117 25.7	159 31.1	276 40.4	261 37.4	82 34.6	11 39.3	473 33.9	537 30.5	18 35.3	1,028 32.1
ほとんど食べない	2 3.2	5 2.3	6 1.9	6 1.3	19 3.7	45 6.6	30 4.3	11 4.6	1 3.6	48 3.4	73 4.1	4 7.8	125 3.9
無回答	0 0.0	0 0.0	2 0.6	4 0.9	8 1.6	7 1.0	25 3.6	16 6.8	0 0.0	23 1.6	35 2.0	4 7.8	62 1.9
計	63 100.0	217 100.0	311 100.0	456 100.0	512 100.0	683 100.0	698 100.0	237 100.0	28 100.0	1,394 100.0	1,760 100.0	51 100.0	3,205 100.0

《学童思春期》

- 【全体】肉類の摂取状況については「ほとんど毎日」が42.2%で最も高く、次いで「2日に1回」が39.0%、「週に1～2回」が17.5%である。
- 【年代】小学1～4年生、小学5・6年生、高校生は「ほとんど毎日」、中学生は「2日に1回」が最も高い。
- 【性別】男性は「ほとんど毎日」が47.7%で最も高く、次いで「2日に1回」が37.5%、「週に1～2回」が14.3%である。女性は、「2日に1回」が40.7%、次いで「ほとんど毎日」が36.4%、「週に1～2回」が20.9%である。

〈図表 68〉肉類の摂取状況（学童思春期） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	小学 1～4年生	小学 5・6年生	中学生	高校生	男性	女性	無回答	全体数
ほとんど毎日	250 41.7	139 42.2	220 38.5	337 45.5	547 47.7	396 36.4	3 60.0	946 42.2
2日に1回	240 40.0	117 35.6	232 40.6	285 38.5	430 37.5	443 40.7	1 20.0	874 39.0
週に1～2回	101 16.8	65 19.8	115 20.1	112 15.1	164 14.3	228 20.9	1 20.0	393 17.5
ほとんど食べない	9 1.5	8 2.4	5 0.9	6 0.8	6 0.5	22 2.0	0 0.0	28 1.2
無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
計	600 100.0	329 100.0	572 100.0	740 100.0	1,147 100.0	1,089 100.0	5 100.0	2,241 100.0

③卵

《一般》

- 【全体】卵の摂取状況については「ほとんど毎日」が35.4%で最も高く、次いで「2日に1回」が30.3%、「週に1～2回」が28.9%である。
- 【年代】18・19歳は「2日に1回」「週に1～2回」がともに31.7%と最も高い。20～49歳は「2日に1回」、50歳以上は「ほとんど毎日」が最も高い。
- 【性別】男性は「ほとんど毎日」が33.5%で最も高く、次いで「2日に1回」31.4%、「週に1～2回」が30.2%である。女性は「ほとんど毎日」が37.0%で最も高く、次いで「2日に1回」29.8%、「週に1～2回」が27.8%である。

〈図表 69〉卵の摂取状況（一般） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
ほとんど毎日	19 30.2	70 32.3	103 33.1	142 31.1	178 34.8	234 34.3	271 38.8	108 45.6	9 32.1	467 33.5	652 37.0	15 29.4	1,134 35.4
2日に1回	20 31.7	75 34.6	115 37.0	145 31.8	144 28.1	198 29.0	210 30.1	55 23.2	9 32.1	438 31.4	524 29.8	9 17.6	971 30.3
週に1～2回	20 31.7	57 26.3	86 27.7	149 32.7	165 32.2	219 32.1	170 24.4	52 21.9	9 32.1	421 30.2	489 27.8	17 33.3	927 28.9
ほとんど食べない	4 6.3	15 6.9	3 1.0	17 3.7	20 3.9	26 3.8	20 2.9	10 4.2	0 0.0	49 3.5	61 3.5	5 9.8	115 3.6
無回答	0 0.0	0 0.0	4 1.3	3 0.7	5 1.0	6 0.9	27 3.9	12 5.1	1 3.6	19 1.4	34 1.9	5 9.8	58 1.8
計	63 100.0	217 100.0	311 100.0	456 100.0	512 100.0	683 100.0	698 100.0	237 100.0	28 100.0	1,394 100.0	1,760 100.0	51 100.0	3,205 100.0

《学童思春期》

- 【全体】卵の摂取状況については「ほとんど毎日」が36.0%で最も高く、次いで「2日に1回」が34.9%、「週に1～2回」が23.7%である。
- 【年代】小学1～4年生、中学生は「2日に1回」が最も高い。小学5・6年生、高校生は「ほとんど毎日」が最も高い。高校生は「ほとんど毎日」が47.8%と他の学年に比べて高い。
- 【性別】男性は「ほとんど毎日」が36.9%で最も高く、次いで「2日に1回」が35.2%、「週に1～2回」が22.1%である。女性は「ほとんど毎日」が34.9%で最も高く、次いで「2日に1回」が34.7%、「週に1～2回」が25.4%である。

〈図表 70〉卵の摂取状況（学童思春期） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	小学1～4年生	小学5・6年生	中学生	高校生	男性	女性	無回答	全体数
ほとんど毎日	165 27.5	107 32.5	180 31.5	354 47.8	423 36.9	380 34.9	3 60.0	806 36.0
2日に1回	230 38.3	104 31.6	216 37.8	233 31.5	404 35.2	378 34.7	1 20.0	783 34.9
週に1～2回	168 28.0	79 24.0	155 27.1	130 17.6	254 22.1	277 25.4	1 20.0	532 23.7
ほとんど食べない	37 6.2	39 11.9	21 3.7	23 3.1	66 5.8	54 5.0	0 0.0	120 5.4
無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
計	600 100.0	329 100.0	572 100.0	740 100.0	1,147 100.0	1,089 100.0	5 100.0	2,241 100.0

④豆・大豆製品

《一般》

【全体】豆・大豆製品の摂取状況については「ほとんど毎日」が40.1%で最も高く、次いで「2日に1回」が28.0%、「週に1～2回」が26.6%である。

【年代】20歳代以下は「週に1～2回」が最も高く、30歳以上は「ほとんど毎日」が最も高い。

【性別】男性は「ほとんど毎日」が36.7%で最も高く、次いで「週に1～2回」が30.0%、「2日に1回」が27.5%である。女性は「ほとんど毎日」が42.8%で最も高く、次いで「2日に1回」が28.4%、「週に1～2回」が24.0%である。

〈図表 71〉豆・大豆製品の摂取状況（一般） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
ほとんど毎日	5 7.9	37 17.1	104 33.4	153 33.6	181 35.4	286 41.9	372 53.3	131 55.3	15 53.6	512 36.7	753 42.8	19 37.3	1,284 40.1
2日に1回	21 33.3	71 32.7	94 30.2	149 32.7	159 31.1	176 25.8	171 24.5	48 20.3	7 25.0	384 27.5	499 28.4	13 25.5	896 28.0
週に1～2回	24 38.1	84 38.7	97 31.2	134 29.4	149 29.1	193 28.3	122 17.5	44 18.6	4 14.3	418 30.0	422 24.0	11 21.6	851 26.6
ほとんど食べない	13 20.6	25 11.5	14 4.5	17 3.7	19 3.7	22 3.2	10 1.4	4 1.7	2 7.1	61 4.4	61 3.5	4 7.8	126 3.9
無回答	0 0.0	0 0.0	2 0.6	3 0.7	4 0.8	6 0.9	23 3.3	10 4.2	0 0.0	19 1.4	25 1.4	4 7.8	48 1.5
計	63 100.0	217 100.0	311 100.0	456 100.0	512 100.0	683 100.0	698 100.0	237 100.0	28 100.0	1,394 100.0	1,760 100.0	51 100.0	3,205 100.0

《学童思春期》

【全体】豆・大豆製品の摂取状況については「週に1～2回」が34.8%で最も高く、次いで「2日に1回」が31.4%、「ほとんど毎日」が25.6%である。

【年代】小学1～4年生は「2日に1回」が最も高い。小学5・6年生、中学生、高校生は「週1～2回」が最も高い。

【性別】男性は「週に1～2回」が33.4%で最も高く、次いで「2日に1回」が31.5%、「ほとんど毎日」が27.1%である。女性は「週に1～2回」が36.1%で最も高く、次いで「2日に1回」が31.2%、「ほとんど毎日」が24.2%である。

〈図表 72〉豆・大豆製品の摂取状況（学童思春期） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	小学 1～4年生	小学 5・6年生	中学生	高校生	男性	女性	無回答	全体数
ほとんど毎日	140 23.3	93 28.3	141 24.7	200 27.0	311 27.1	263 24.2	0 0.0	574 25.6
2日に1回	218 36.3	101 30.7	176 30.8	208 28.1	361 31.5	340 31.2	2 40.0	703 31.4
週に1～2回	207 34.5	106 32.2	206 36.0	260 35.1	383 33.4	393 36.1	3 60.0	779 34.8
ほとんど食べない	35 5.8	29 8.8	49 8.6	72 9.7	92 8.0	93 8.5	0 0.0	185 8.3
無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
計	600 100.0	329 100.0	572 100.0	740 100.0	1,147 100.0	1,089 100.0	5 100.0	2,241 100.0

⑤緑黄色野菜

《一般》

【全体】緑黄色野菜の摂取状況については「ほとんど毎日」が47.4%で最も高く、次いで「2日に1回」が27.3%、「週に1～2回」が20.8%である。

【年代】全年代を通して「ほとんど毎日」が最も高い。

【性別】男性は「ほとんど毎日」が39.5%で最も高く、次いで「週に1～2回」が27.6%、「2日に1回」が27.5%である。女性は「ほとんど毎日」が53.8%で最も高く、「2日に1回」が26.9%、「週に1～2回」が15.6%である。

〈図表 73〉 緑黄色野菜の摂取状況（一般） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
ほとんど毎日	27 42.9	75 34.6	145 46.6	199 43.6	242 47.3	304 44.5	383 54.9	131 55.3	12 42.9	550 39.5	947 53.8	21 41.2	1,518 47.4
2日に1回	18 28.6	71 32.7	82 26.4	149 32.7	139 27.1	189 27.7	165 23.6	53 22.4	8 28.6	383 27.5	474 26.9	17 33.3	874 27.3
週に1～2回	14 22.2	55 25.3	67 21.5	94 20.6	113 22.1	163 23.9	118 16.9	38 16.0	5 17.9	385 27.6	275 15.6	7 13.7	667 20.8
ほとんど食べない	4 6.3	16 7.4	15 4.8	12 2.6	15 2.9	23 3.4	10 1.4	3 1.3	2 7.1	62 4.4	37 2.1	1 2.0	100 3.1
無回答	0 0.0	0 0.0	2 0.6	2 0.4	3 0.6	4 0.6	22 3.2	12 5.1	1 3.6	14 1.0	27 1.5	5 9.8	46 1.4
計	63 100.0	217 100.0	311 100.0	456 100.0	512 100.0	683 100.0	698 100.0	237 100.0	28 100.0	1,394 100.0	1,760 100.0	51 100.0	3,205 100.0

《学童思春期》

【全体】緑黄色野菜の摂取状況については「ほとんど毎日」が56.2%で最も高く、次いで「2日に1回」が26.3%、「週に1～2回」が14.0%である。

【年代】全学年を通して「ほとんど毎日」が最も高く、次いで「2日に1回」、「週に1～2回」となっている。

【性別】男性は「ほとんど毎日」が53.6%で最も高く、次いで「2日に1回」が28.2%、「週に1～2回」が14.6%である。女性は「ほとんど毎日」が58.8%で最も高く、「2日に1回」が24.3%、「週に1～2回」が13.3%である。

〈図表 74〉 緑黄色野菜の摂取状況（学童思春期） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	小学 1～4年生	小学 5・6年生	中学生	高校生	男性	女性	無回答	全体数
ほとんど毎日	311 51.8	178 54.1	322 56.3	448 60.5	615 53.6	640 58.8	4 80.0	1,259 56.2
2日に1回	159 26.5	81 24.6	166 29.0	183 24.7	323 28.2	265 24.3	1 20.0	589 26.3
週に1～2回	103 17.2	50 15.2	68 11.9	92 12.4	168 14.6	145 13.3	0 0.0	313 14.0
ほとんど食べない	27 4.5	20 6.1	16 2.8	17 2.3	41 3.6	39 3.6	0 0.0	80 3.6
無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
計	600 100.0	329 100.0	572 100.0	740 100.0	1,147 100.0	1,089 100.0	5 100.0	2,241 100.0

⑥海藻類

《一般》

【全体】海藻類の摂取状況については「週に1～2回」が41.9%で最も高く、次いで「2日に1回」が29.0%、「ほとんど毎日」が18.4%である。

【年代】70歳代以下は「週に1～2回」が最も高い。80～84歳は「ほとんど毎日」「2日に1回」がともに31.6%で最も高い。

【性別】男性は「週に1～2回」が44.2%で最も高く、次いで「2日に1回」が26.6%、「ほとんど毎日」が17.1%である。女性は「週に1～2回」が40.4%で最も高く、次いで「2日に1回」が31.2%、「ほとんど毎日」が19.1%である。

〈図表 75〉海藻類の摂取状況（一般） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
ほとんど毎日	10 15.9	19 8.8	36 11.6	45 9.9	76 14.8	135 19.8	188 26.9	75 31.6	6 21.4	239 17.1	337 19.1	14 27.5	590 18.4
2日に1回	15 23.8	57 26.3	97 31.2	141 30.9	141 27.5	166 24.3	231 33.1	75 31.6	7 25.0	371 26.6	549 31.2	10 19.6	930 29.0
週に1～2回	33 52.4	86 39.6	133 42.8	210 46.1	243 47.5	325 47.6	233 33.4	70 29.5	11 39.3	616 44.2	711 40.4	17 33.3	1,344 41.9
ほとんど食べない	5 7.9	55 25.3	43 13.8	55 12.1	48 9.4	51 7.5	24 3.4	6 2.5	3 10.7	153 11.0	133 7.6	4 7.8	290 9.0
無回答	0 0.0	0 0.0	2 0.6	5 1.1	4 0.8	6 0.9	22 3.2	11 4.6	1 3.6	15 1.1	30 1.7	6 11.8	51 1.6
計	63 100.0	217 100.0	311 100.0	456 100.0	512 100.0	683 100.0	698 100.0	237 100.0	28 100.0	1,394 100.0	1,760 100.0	51 100.0	3,205 100.0

《学童思春期》

【全体】海藻類の摂取状況については「週に1～2回」が35.7%で最も高く、次いで「2日に1回」が32.8%、「ほとんど毎日」が22.1%である。

【年代】小学1～4年生は「週に1～2回」、小学5・6年生は「ほとんど毎日」「週に1～2回」が最も高い。中学生、高校生は「2日に1回」が最も高い。

【性別】男性は「週に1～2回」が34.2%で最も高く、次いで「2日に1回」が32.0%、「ほとんど毎日」が23.6%である。女性は「週に1～2回」が37.3%で最も高く、次いで「2日に1回」が33.8%、「ほとんど毎日」が20.5%である。

〈図表 76〉海藻類の摂取状況（学童思春期） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	小学 1～4年生	小学 5・6年生	中学生	高校生	男性	女性	無回答	全体数
ほとんど毎日	102 17.0	101 30.7	134 23.4	159 21.5	271 23.6	223 20.5	2 40.0	496 22.1
2日に1回	191 31.8	93 28.3	200 35.0	252 34.1	367 32.0	368 33.8	1 20.0	736 32.8
週に1～2回	265 44.2	101 30.7	185 32.3	249 33.6	392 34.2	406 37.3	2 40.0	800 35.7
ほとんど食べない	42 7.0	34 10.3	53 9.3	80 10.8	117 10.2	92 8.4	0 0.0	209 9.3
無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
計	600 100.0	329 100.0	572 100.0	740 100.0	1,147 100.0	1,089 100.0	5 100.0	2,241 100.0

⑦いも類

《一般》

【全体】いも類の摂取状況については「週に1～2回」が50.6%で最も高く、次いで「2日に1回」が24.5%、「ほとんど食べない」が15.5%である。

【年代】全年代を通して「週に1～2回」が最も高い。

【性別】男性は「週に1～2回」が51.4%で最も高く、次いで「2日に1回」が22.7%、「ほとんど食べない」が17.0%である。女性は「週に1～2回」が50.3%で最も高く、「2日に1回」が25.9%、「ほとんど食べない」が14.1%である。

〈図表 77〉いも類の摂取状況（一般） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
ほとんど毎日	5 7.9	8 3.7	15 4.8	21 4.6	26 5.1	55 8.1	69 9.9	45 19.0	4 14.3	107 7.7	139 7.9	2 3.9	248 7.7
2日に1回	17 27.0	40 18.4	84 27.0	109 23.9	128 25.0	137 20.1	201 28.8	64 27.0	4 14.3	316 22.7	455 25.9	13 25.5	784 24.5
週に1～2回	31 49.2	108 49.8	147 47.3	234 51.3	269 52.5	384 56.2	338 48.4	100 42.2	11 39.3	717 51.4	885 50.3	20 39.2	1,622 50.6
ほとんど食べない	10 15.9	61 28.1	63 20.3	88 19.3	84 16.4	101 14.8	65 9.3	16 6.8	8 28.6	237 17.0	248 14.1	11 21.6	496 15.5
無回答	0 0.0	0 0.0	2 0.6	4 0.9	5 1.0	6 0.9	25 3.6	12 5.1	1 3.6	17 1.2	33 1.9	5 9.8	55 1.7
計	63 100.0	217 100.0	311 100.0	456 100.0	512 100.0	683 100.0	698 100.0	237 100.0	28 100.0	1,394 100.0	1,760 100.0	51 100.0	3,205 100.0

《学童思春期》

【全体】いも類の摂取状況については「週に1～2回」が40.4%で最も高く、次いで「2日に1回」が31.7%、「ほとんど毎日」が17.4%である。

【年代】全学年を通じて「週に1～2回」が最も高く、次いで「2日に1回」、「ほとんど毎日」となっている。

【性別】男性は「週に1～2回」が39.2%で最も高く、次いで「2日に1回」が31.5%、「ほとんど毎日」が18.7%である。女性は「週に1～2回」が41.5%で最も高く、次いで「2日に1回」が32.0%、「ほとんど毎日」が16.0%である。

〈図表 78〉いも類の摂取状況（学童思春期） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	小学 1～4年生	小学 5・6年生	中学生	高校生	男性	女性	無回答	全体数
ほとんど毎日	71 11.8	81 24.6	104 18.2	134 18.1	215 18.7	174 16.0	1 20.0	390 17.4
2日に1回	159 26.5	105 31.9	195 34.1	251 33.9	361 31.5	348 32.0	1 20.0	710 31.7
週に1～2回	302 50.3	106 32.2	215 37.6	282 38.1	450 39.2	452 41.5	3 60.0	905 40.4
ほとんど食べない	68 11.3	37 11.2	58 10.1	73 9.9	121 10.5	115 10.6	0 0.0	236 10.5
無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
計	600 100.0	329 100.0	572 100.0	740 100.0	1,147 100.0	1,089 100.0	5 100.0	2,241 100.0

⑧牛乳・乳製品

《一般》

- 【全体】牛乳・乳製品の摂取状況については「ほとんど毎日」が52.3%で最も高く、次いで「週に1～2回」が20.3%、「2日に1回」が17.6%である。
- 【年代】18・19歳は「2日に1回」が最も高く、20歳以上は「ほとんど毎日」が最も高い。
- 【性別】男性は「ほとんど毎日」が48.0%で最も高く、次いで「週に1～2回」が23.0%、「2日に1回」が16.4%である。女性は「ほとんど毎日」が56.1%で最も高く、次いで「2日に1回」が18.8%、「週に1～2回」が18.0%である。

〈図表 79〉牛乳・乳製品の摂取状況（一般） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
ほとんど毎日	19 30.2	70 32.3	134 43.1	194 42.5	268 52.3	396 58.0	442 63.3	138 58.2	16 57.1	669 48.0	987 56.1	21 41.2	1,677 52.3
2日に1回	24 38.1	61 28.1	71 22.8	88 19.3	95 18.6	91 13.3	95 13.6	37 15.6	3 10.7	228 16.4	330 18.8	7 13.7	565 17.6
週に1～2回	13 20.6	65 30.0	76 24.4	125 27.4	102 19.9	133 19.5	97 13.9	35 14.8	5 17.9	320 23.0	317 18.0	14 27.5	651 20.3
ほとんど食べない	7 11.1	21 9.7	28 9.0	46 10.1	43 8.4	61 8.9	41 5.9	19 8.0	3 10.7	164 11.8	102 5.8	3 5.9	269 8.4
無回答	0 0.0	0 0.0	2 0.6	3 0.7	4 0.8	2 0.3	23 3.3	8 3.4	1 3.6	13 0.9	24 1.4	6 11.8	43 1.3
計	63 100.0	217 100.0	311 100.0	456 100.0	512 100.0	683 100.0	698 100.0	237 100.0	28 100.0	1,394 100.0	1,760 100.0	51 100.0	3,205 100.0

《学童思春期》

- 【全体】牛乳・乳製品の摂取状況については「ほとんど毎日」が55.9%で最も高く、次いで「2日に1回」が20.8%、「週に1～2回」が16.9%である。
- 【年代】全学年を通して「ほとんど毎日」が最も高く、小学1～4年生が66.7%、小学5・6年生が62.9%、中学生が57.9%である。
- 【性別】男性は「ほとんど毎日」が57.8%で最も高く、次いで「2日に1回」が20.7%、「週に1～2回」が16.0%である。女性は「ほとんど毎日」が53.9%で最も高く、次いで「2日に1回」が20.9%、「週に1～2回」が17.7%である。

〈図表 80〉牛乳・乳製品の摂取状況（学童思春期） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	小学1～4年生	小学5・6年生	中学生	高校生	男性	女性	無回答	全体数
ほとんど毎日	400 66.7	207 62.9	331 57.9	314 42.4	663 57.8	587 53.9	2 40.0	1,252 55.9
2日に1回	97 16.2	61 18.5	104 18.2	205 27.7	238 20.7	228 20.9	1 20.0	467 20.8
週に1～2回	81 13.5	40 12.2	105 18.4	152 20.5	183 16.0	193 17.7	2 40.0	378 16.9
ほとんど食べない	22 3.7	21 6.4	32 5.6	69 9.3	63 5.5	81 7.4	0 0.0	144 6.4
無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
計	600 100.0	329 100.0	572 100.0	740 100.0	1,147 100.0	1,089 100.0	5 100.0	2,241 100.0

⑨くだもの

《一般》

【全体】くだものの摂取状況については「週に1～2回」が34.9%で最も高く、次いで「ほとんど毎日」が24.3%、「2日に1回」が21.0%である。

【年代】60歳代以下は「週に1～2回」が最も高く、70歳以上は「ほとんど毎日」が最も高い。

【性別】男性は「週に1～2回」が38.7%で最も高く、次いで「ほとんど食べない」が22.2%、「ほとんど毎日」が19.3%である。女性は「週に1～2回」が32.1%で最も高く、「ほとんど毎日」が28.4%、「2日に1回」が22.9%である。

〈図表 81〉くだものの摂取状況（一般） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
ほとんど毎日	7 11.1	22 10.1	40 12.9	66 14.5	100 19.5	185 27.1	251 36.0	100 42.2	8 28.6	269 19.3	500 28.4	10 19.6	779 24.3
2日に1回	11 17.5	28 12.9	51 16.4	84 18.4	110 21.5	145 21.2	172 24.6	67 28.3	6 21.4	259 18.6	403 22.9	12 23.5	674 21.0
週に1～2回	24 38.1	87 40.1	125 40.2	184 40.4	187 36.5	254 37.2	197 28.2	51 21.5	10 35.7	539 38.7	565 32.1	15 29.4	1,119 34.9
ほとんど食べない	21 33.3	80 36.9	92 29.6	120 26.3	110 21.5	95 13.9	47 6.7	11 4.6	3 10.7	309 22.2	260 14.8	10 19.6	579 18.1
無回答	0 0.0	0 0.0	3 1.0	2 0.4	5 1.0	4 0.6	31 4.4	8 3.4	1 3.6	18 1.3	32 1.8	4 7.8	54 1.7
計	63 100.0	217 100.0	311 100.0	456 100.0	512 100.0	683 100.0	698 100.0	237 100.0	28 100.0	1,394 100.0	1,760 100.0	51 100.0	3,205 100.0

《学童思春期》

【全体】くだものの摂取状況については「週に1～2回」が35.7%で最も高く、次いで「2日に1回」が26.6%、「ほとんど毎日」が24.0%である。

【年代】小学1～4年生、中学生、高校生は「週に1～2回」、小学5・6年生は「ほとんど毎日」が最も高い。

【性別】男性は「週に1～2回」が35.7%で最も高く、次いで「2日に1回」が27.6%、「ほとんど毎日」が22.6%である。女性は「週に1～2回」が35.7%で最も高く、次いで「ほとんど毎日」「2日に1回」がともに25.5%、「ほとんど食べない」が13.2%である。

〈図表 82〉くだものの摂取状況（学童思春期） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	小学 1～4年生	小学 5・6年生	中学生	高校生	男性	女性	無回答	全体数
ほとんど毎日	150 25.0	109 33.1	110 19.2	169 22.8	259 22.6	278 25.5	1 20.0	538 24.0
2日に1回	160 26.7	77 23.4	171 29.9	189 25.5	317 27.6	278 25.5	2 40.0	597 26.6
週に1～2回	231 38.5	94 28.6	217 37.9	258 34.9	409 35.7	389 35.7	2 40.0	800 35.7
ほとんど食べない	59 9.8	49 14.9	74 12.9	124 16.8	162 14.1	144 13.2	0 0.0	306 13.7
無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
計	600 100.0	329 100.0	572 100.0	740 100.0	1,147 100.0	1,089 100.0	5 100.0	2,241 100.0

⑩油脂類

《一般》

【全体】油脂類の摂取状況については「週1～2回」が31.7%で最も高く、次いで「2日に1回」が31.3%、「ほとんど毎日」が30.0%である。

【年代】60歳以上は「週に1～2回」が最も高い。

【性別】男性は「週に1～2回」が37.9%で最も高く、次いで「2日に1回」が30.3%、「ほとんど毎日」が24.2%である。女性は「ほとんど毎日」が34.7%で最も高く、次いで「2日に1回」が31.9%、「週に1～2回」が27.2%である。

〈図表 83〉油脂類の摂取状況（一般） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
ほとんど毎日	11 17.5	61 28.1	115 37.0	137 30.0	193 37.7	196 28.7	178 25.5	60 25.3	12 42.9	337 24.2	611 34.7	15 29.4	963 30.0
2日に1回	26 41.3	78 35.9	109 35.0	165 36.2	143 27.9	201 29.4	206 29.5	67 28.3	8 28.6	423 30.3	562 31.9	18 35.3	1,003 31.3
週に1～2回	21 33.3	62 28.6	76 24.4	124 27.2	156 30.5	246 36.0	248 35.5	80 33.8	4 14.3	528 37.9	478 27.2	11 21.6	1,017 31.7
ほとんど食べない	4 6.3	16 7.4	9 2.9	25 5.5	16 3.1	34 5.0	35 5.0	17 7.2	2 7.1	84 6.0	73 4.1	1 2.0	158 4.9
無回答	1 1.6	0 0.0	2 0.6	5 1.1	4 0.8	6 0.9	31 4.4	13 5.5	2 7.1	22 1.6	36 2.0	6 11.8	64 2.0
計	63 100.0	217 100.0	311 100.0	456 100.0	512 100.0	683 100.0	698 100.0	237 100.0	28 100.0	1,394 100.0	1,760 100.0	51 100.0	3,205 100.0

《学童思春期》

【全体】油脂類の摂取状況については「2日に1回」が35.2%で最も高く、次いで「週1～2回」が30.8%、「ほとんど毎日」が27.1%である。

【年代】小学1～4年生、高校生は「2日に1回」が最も高い。小学5・6年生、中学生は「週1～2回」が最も高い。

【性別】男性は「2日に1回」が35.4%で最も高く、次いで「週1～2回」が31.1%、「ほとんど毎日」が27.0%である。女性は「2日に1回」が35.0%で最も高く、次いで「週1～2回」が30.6%、「ほとんど毎日」が27.1%である。

〈図表 84〉油脂類の摂取状況（学童思春期） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	小学 1～4年生	小学 5・6年生	中学生	高校生	男性	女性	無回答	全体数
ほとんど毎日	215 35.8	85 25.8	122 21.3	186 25.1	310 27.0	295 27.1	3 60.0	608 27.1
2日に1回	217 36.2	102 31.0	198 34.6	271 36.6	406 35.4	381 35.0	1 20.0	788 35.2
週に1～2回	148 24.7	110 33.4	208 36.4	225 30.4	357 31.1	333 30.6	1 20.0	691 30.8
ほとんど食べない	20 3.3	32 9.7	44 7.7	58 7.8	74 6.5	80 7.3	0 0.0	154 6.9
無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
計	600 100.0	329 100.0	572 100.0	740 100.0	1,147 100.0	1,089 100.0	5 100.0	2,241 100.0

⑪甘味飲料

《一般》

【全体】甘味飲料の摂取状況については「ほとんど毎日」が28.9%で最も高く、次いで「ほとんど飲まない」が27.2%、「週に1～2回」が25.8%である。

【年代】20～39歳、80～84歳は「ほとんど毎日」が最も高い。

【性別】男性は「ほとんど毎日」が34.2%で最も高く、次いで「週に1～2回」が25.3%、「ほとんど飲まない」が20.4%である。女性は「ほとんど飲まない」が32.7%で最も高く、次いで「週に1～2回」が26.4%、「ほとんど毎日」が24.8%である。

〈図表 85〉甘味飲料の摂取状況（一般） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	18・ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 79歳	80～ 84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
ほとんど毎日	17 27.0	69 31.8	122 39.2	127 27.9	147 28.7	195 28.6	165 23.6	78 32.9	5 17.9	477 34.2	436 24.8	12 23.5	925 28.9
2日に1回	16 25.4	47 21.7	43 13.8	80 17.5	65 12.7	107 15.7	113 16.2	44 18.6	3 10.7	262 18.8	244 13.9	12 23.5	518 16.2
週に1～2回	18 28.6	51 23.5	75 24.1	101 22.1	134 26.2	175 25.6	201 28.8	62 26.2	10 35.7	352 25.3	464 26.4	11 21.6	827 25.8
ほとんど飲まない	12 19.0	50 23.0	69 22.2	143 31.4	161 31.4	200 29.3	193 27.7	35 14.8	8 28.6	285 20.4	575 32.7	11 21.6	871 27.2
無回答	0 0.0	0 0.0	2 0.6	5 1.1	5 1.0	6 0.9	26 3.7	18 7.6	2 7.1	18 1.3	41 2.3	5 9.8	64 2.0
計	63 100.0	217 100.0	311 100.0	456 100.0	512 100.0	683 100.0	698 100.0	237 100.0	28 100.0	1,394 100.0	1,760 100.0	51 100.0	3,205 100.0

《学童思春期》

【全体】甘味飲料の摂取状況については「ほとんど毎日」が32.4%で最も高く、次いで「週に1～2回」が27.3%、「2日に1回」が26.4%である。

【年代】小学1～4年生、小学5・6年生、高校生は「ほとんど毎日」が最も高い。中学生は「2日に1回」が最も高い。

【性別】男性は「ほとんど毎日」が38.7%で最も高く、次いで「2日に1回」が27.6%、「週に1～2回」が24.1%である。女性は「週に1～2回」が30.5%で最も高く、次いで「ほとんど毎日」が26.0%、「2日に1回」が25.1%である。

〈図表 86〉甘味飲料の摂取状況（学童思春期） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	小学 1～4年生	小学 5・6年生	中学生	高校生	男性	女性	無回答	全体数
ほとんど毎日	198 33.0	116 35.3	156 27.3	257 34.7	444 38.7	283 26.0	0 0.0	727 32.4
2日に1回	130 21.7	87 26.4	169 29.5	205 27.7	316 27.6	273 25.1	2 40.0	591 26.4
週に1～2回	185 30.8	86 26.1	164 28.7	176 23.8	276 24.1	332 30.5	3 60.0	611 27.3
ほとんど飲まない	87 14.5	40 12.2	83 14.5	102 13.8	111 9.7	201 18.5	0 0.0	312 13.9
無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
計	600 100.0	329 100.0	572 100.0	740 100.0	1,147 100.0	1,089 100.0	5 100.0	2,241 100.0

⑫甘い物

《一般》

【全体】甘い物の摂取状況については「週に1～2回」は34.2%で最も高く、次いで「ほとんど毎日」が25.4%、「2日に1回」が25.2%である。

【年代】20～49歳で「ほとんど毎日」が最も高い。

【性別】男性は「週に1～2回」が37.2%で最も高く、次いで「2日に1回」が24.5%、「ほとんど毎日」が19.1%である。女性は「週に1～2回」が31.9%で最も高く、次いで「ほとんど毎日」が30.6%、「2日に1回」が25.6%である。

〈図表 87〉甘い物の摂取状況（一般） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
ほとんど毎日	17 27.0	70 32.3	105 33.8	132 28.9	146 28.5	121 17.7	153 21.9	60 25.3	11 39.3	266 19.1	538 30.6	11 21.6	815 25.4
2日に1回	20 31.7	65 30.0	84 27.0	125 27.4	118 23.0	175 25.6	167 23.9	48 20.3	5 17.9	342 24.5	451 25.6	14 27.5	807 25.2
週に1～2回	20 31.7	62 28.6	91 29.3	128 28.1	172 33.6	273 40.0	251 36.0	91 38.4	8 28.6	519 37.2	561 31.9	16 31.4	1,096 34.2
ほとんど食べない	6 9.5	20 9.2	29 9.3	68 14.9	74 14.5	110 16.1	100 14.3	27 11.4	3 10.7	251 18.0	181 10.3	5 9.8	437 13.6
無回答	0 0.0	0 0.0	2 0.6	3 0.7	2 0.4	4 0.6	27 3.9	11 4.6	1 3.6	16 1.1	29 1.6	5 9.8	50 1.6
計	63 100.0	217 100.0	311 100.0	456 100.0	512 100.0	683 100.0	698 100.0	237 100.0	28 100.0	1,394 100.0	1,760 100.0	51 100.0	3,205 100.0

《学童思春期》

【全体】甘い物の摂取状況については「ほとんど毎日」が41.5%で最も高く、次いで「2日に1回」が32.3%、「週に1～2回」が20.9%である。

【年代】小学1～4年生、小学5・6年生、高校生は「ほとんど毎日」が最も高い。中学生は「2日に1回」が最も高い。

【性別】男性は「ほとんど毎日」が36.0%で最も高く、次いで「2日に1回」が34.9%、「週に1～2回」が22.8%である。女性は「ほとんど毎日」が47.4%で最も高く、次いで「2日に1回」が29.6%、「週に1～2回」が18.9%である。

〈図表 88〉甘い物の摂取状況（学童思春期） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	小学1～4年生	小学5・6年生	中学生	高校生	男性	女性	無回答	全体数
ほとんど毎日	332 55.3	141 42.9	195 34.1	263 35.5	413 36.0	516 47.4	2 40.0	931 41.5
2日に1回	173 28.8	99 30.1	205 35.8	247 33.4	400 34.9	322 29.6	2 40.0	724 32.3
週に1～2回	83 13.8	66 20.1	135 23.6	185 25.0	262 22.8	206 18.9	1 20.0	469 20.9
ほとんど食べない	12 2.0	23 7.0	37 6.5	45 6.1	72 6.3	45 4.1	0 0.0	117 5.2
無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
計	600 100.0	329 100.0	572 100.0	740 100.0	1,147 100.0	1,089 100.0	5 100.0	2,241 100.0

10 休養

(1) ストレス

① ストレスの有無

設問 最近1ヶ月間にストレスを感じたことはありますか。(あてはまるもの1つに○)

1. とても感じる 2. 多少感じる 3. あまり感じない 4. 全く感じない

《一般》

【全体】ストレスの有無については「多少感じる」が50.6%で最も高く、次いで「とても感じる」が24.2%、「あまり感じない」が19.8%である。

『ストレスあり群(「とても感じる」と「多少感じる」を合わせたもの)』は74.8%である。

【年代】全年代を通して「多少感じる」が最も高い。「とても感じる」は20～59歳で3割以上である。

『ストレスあり群』は20歳代が87.1%、30歳代が85.9%、40歳代が88.4%、50歳代が83.4%と高くなっている。

【性別】男性は「多少感じる」が45.8%で最も高く、次いで「あまり感じない」が25.3%、「とても感じる」が21.7%である。女性は「多少感じる」が54.7%で最も高く、次いで「とても感じる」が26.4%、「あまり感じない」が15.1%である。

『ストレスあり群』は男性が67.5%、女性が81.1%である。

〈図表 89〉 ストレスの有無（一般） 年齢階級・性別

(単位：上段人数(人)・下段割合(%))

区分	18・ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 79歳	80～ 84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
とても感じる	13 20.6	66 30.4	116 37.3	177 38.8	175 34.2	112 16.4	78 11.2	33 13.9	7 25.0	303 21.7	464 26.4	10 19.6	777 24.2
多少感じる	34 54.0	123 56.7	151 48.6	226 49.6	252 49.2	369 54.0	339 48.6	115 48.5	12 42.9	639 45.8	962 54.7	20 39.2	1,621 50.6
あまり感じない	14 22.2	23 10.6	37 11.9	45 9.9	80 15.6	168 24.6	213 30.5	49 20.7	4 14.3	353 25.3	266 15.1	14 27.5	633 19.8
全く感じない	2 3.2	5 2.3	4 1.3	7 1.5	4 0.8	33 4.8	49 7.0	28 11.8	4 14.3	83 6.0	49 2.8	4 7.8	136 4.2
無回答	0 0.0	0 0.0	3 1.0	1 0.2	1 0.2	1 0.1	19 2.7	12 5.1	1 3.6	16 1.1	19 1.1	3 5.9	38 1.2
計	63 100.0	217 100.0	311 100.0	456 100.0	512 100.0	683 100.0	698 100.0	237 100.0	28 100.0	1,394 100.0	1,760 100.0	51 100.0	3,205 100.0

《学童思春期：中学生・高校生》

【全体】ストレスの有無については「多少感じる」が48.8%で最も高く、次いで「あまり感じない」が23.8%、「とても感じる」が20.1%である。

『ストレスあり群』は68.9%である。

【年代】全学年を通して「多少感じる」が最も高い。

『ストレスあり群』は中学生が64.5%、高校生が72.3%である。

【性別】男性は「多少感じる」が47.1%で最も高く、次いで「あまり感じない」が27.0%、「とても感じる」が15.7%である。女性は「多少感じる」が50.6%で最も高く、次いで「とても感じる」が25.0%、「あまり感じない」が20.3%である。

『ストレスあり群』は男性が62.8%で、女性が75.6%である。

〈図表 90〉ストレスの有無（学童思春期：中学生・高校生） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	中学生	高校生	男性	女性	無回答	全体数
とても感じる	104 18.2	160 21.6	108 15.7	155 25.0	1 20.0	264 20.1
多少感じる	265 46.3	375 50.7	323 47.1	314 50.6	3 60.0	640 48.8
あまり感じない	153 26.7	159 21.5	185 27.0	126 20.3	1 20.0	312 23.8
全く感じない	50 8.7	45 6.1	69 10.1	26 4.2	0 0.0	95 7.2
無回答	0 0.0	1 0.1	1 0.1	0 0.0	0 0.0	1 0.1
計	572 100.0	740 100.0	686 100.0	621 100.0	5 100.0	1,312 100.0

②ストレス解消（ストレスを「とても感じる」「多少感じる」「あまり感じない」のみ）

設問 ストレスを解消できていますか。（あてはまるもの1つに○）

1. 十分解消できている 2. ほぼ解消できている
3. あまり解消できていない 4. 全く解消できていない

《一般》

【全体】ストレス解消については「ほぼ解消できている」が51.7%で最も高く、次いで「あまり解消できていない」が35.4%、「全く解消できていない」が6.6%である。

『ストレス解消できていない群（「あまり解消できていない」と「全く解消できていない」を合わせたもの）』は42.0%である。

【年代】『ストレス解消できていない群』は20歳代が43.0%、30歳代が51.0%、40歳代が53.3%、50歳代が47.6%と高い。

【性別】男性は「ほぼ解消できている」が52.8%で最も高く、次いで「あまり解消できていない」が32.7%、「全く解消できていない」が6.9%である。女性は「ほぼ解消できている」が50.9%で最も高く、次いで「あまり解消できていない」が37.5%、「全く解消できていない」が6.4%である。

『ストレス解消できていない群』は男性が39.6%、女性が43.9%である。

〈図表 91〉 ストレス解消（一般） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
十分解消できている	5 8.2	17 8.0	20 6.6	14 3.1	25 4.9	31 4.8	30 4.8	8 4.1	1 4.3	83 6.4	62 3.7	6 13.6	151 5.0
ほぼ解消できている	35 57.4	103 48.6	125 41.1	190 42.4	235 46.4	367 56.5	387 61.4	117 59.4	9 39.1	684 52.8	862 50.9	22 50.0	1,568 51.7
あまり解消できていない	16 26.2	79 37.3	125 41.1	191 42.6	193 38.1	215 33.1	187 29.7	56 28.4	11 47.8	424 32.7	635 37.5	14 31.8	1,073 35.4
全く解消できていない	4 6.6	12 5.7	30 9.9	48 10.7	48 9.5	27 4.2	17 2.7	11 5.6	2 8.7	89 6.9	109 6.4	1 2.3	199 6.6
無回答	1 1.6	1 0.5	4 1.3	5 1.1	6 1.2	9 1.4	9 1.4	5 2.5	0 0.0	15 1.2	24 1.4	1 2.3	40 1.3
計	61 100.0	212 100.0	304 100.0	448 100.0	507 100.0	649 100.0	630 100.0	197 100.0	23 100.0	1,295 100.0	1,692 100.0	44 100.0	3,031 100.0

◇ストレスを「とても感じる」の場合；

【全体】ストレス解消については「あまり解消できてない」が58.0%で最も高く、次いで「全く解消できていない」が23.6%、「ほぼ解消できている」が16.2%である。

『ストレス解消できていない群』は81.6%である。

【年代】全年代を通して「あまり解消できない」が最も高い。

『ストレス解消できていない群』は18・19歳が77.0%、20歳代が78.8%、70歳代が75.6%と他の年代に比べてやや低い。

【性別】男性は「あまり解消できてない」が57.1%で最も高く、次いで「全く解消できていない」が26.4%、「ほぼ解消できている」が14.2%である。女性は「あまり解消できてない」が59.1%で最も高く、次いで「全く解消できていない」が22.0%、「ほぼ解消できている」が17.2%である。

『ストレス解消できていない群』は男性が83.5%、女性が81.1%である。

〈図表 92〉 ストレス解消 ストレスを「とても感じる」のみ（一般） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（％））

区分	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
十分解消できている	0 0.0	0 0.0	2 1.7	3 1.7	3 1.7	4 3.6	2 2.6	0 0.0	0 0.0	6 2.0	6 1.3	2 20.0	14 1.8
ほぼ解消できている	3 23.1	14 21.2	19 16.4	31 17.5	25 14.3	13 11.6	17 21.8	3 9.1	1 14.3	43 14.2	80 17.2	3 30.0	126 16.2
あまり解消できていない	6 46.2	40 60.6	66 56.9	95 53.7	101 57.7	71 63.4	48 61.5	20 60.6	4 57.1	173 57.1	274 59.1	4 40.0	451 58.0
全く解消できていない	4 30.8	12 18.2	29 25.0	47 26.6	44 25.1	24 21.4	11 14.1	10 30.3	2 28.6	80 26.4	102 22.0	1 10.0	183 23.6
無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.6	2 1.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.3	2 0.4	0 0.0	3 0.4
計	13 100.0	66 100.0	116 100.0	177 100.0	175 100.0	112 100.0	78 100.0	33 100.0	7 100.0	303 100.0	464 100.0	10 100.0	777 100.0

《学童思春期：中学生・高校生》

- 【全体】ストレス解消については「ほぼ解消できている」が44.1%で最も高く、次いで「あまり解消できていない」が35.6%、「十分解消できている」が12.8%である。
『ストレス解消できていない群』は41.1%である。
- 【年代】全学年を通して「ほぼ解消できている」が最も高い。
『ストレス解消できていない群』は中学生が39.4%、高校生が42.3%である。
- 【性別】男性は「ほぼ解消できている」が43.5%で最も高く、次いで「あまり解消できていない」が31.3%、「十分解消できている」が17.4%である。女性は「ほぼ解消できている」が44.5%で最も高く、次いで「あまり解消できていない」が40.0%、「十分解消できている」が8.2%である。
『ストレス解消できていない群』は男性が35.8%、女性が46.6%である。

〈図表 93〉 ストレス解消（学童思春期：中学生・高校生） 年齢階級・性別
（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	中学生	高校生	男性	女性	無回答	全体数
十分解消できている	82 15.7	74 10.7	107 17.4	49 8.2	0 0.0	156 12.8
ほぼ解消できている	219 42.0	317 45.7	268 43.5	265 44.5	3 60.0	536 44.1
あまり解消できていない	174 33.3	259 37.3	193 31.3	238 40.0	2 40.0	433 35.6
全く解消できていない	32 6.1	35 5.0	28 4.5	39 6.6	0 0.0	67 5.5
無回答	15 2.9	9 1.3	20 3.2	4 0.7	0 0.0	24 2.0
計	522 100.0	694 100.0	616 100.0	595 100.0	5 100.0	1,216 100.0

◇ストレスを「とても感じる」の場合；

- 【全体】ストレス解消については「あまり解消できていない」が59.5%で最も高く、次いで「全く解消できていない」が20.1%、「ほぼ解消できている」が17.0%である。
『ストレス解消できていない群』は79.6%である。
- 【年代】全学年を通して「あまり解消できていない」が最も高い。
『ストレス解消できていない群』は中学生が80.7%、高校生が78.8%である。
- 【性別】男性は「あまり解消できていない」が61.1%で最も高く、次いで「ほぼ解消できている」「全く解消できていない」がともに17.6%、「十分解消できている」が2.8%である。女性は「あまり解消できていない」が58.1%で最も高く、次いで「全く解消できていない」が21.9%、「ほぼ解消できている」が16.8%である。
『ストレス解消できていない群』は男性が78.7%、女性が80.0%である。

〈図表 94〉ストレス解消 ストレスを「とても感じる」のみ（学童思春期：中学生・高校生）
年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	中学生	高校生	男性	女性	無回答	全体数
十分解消できている	5 4.8	3 1.9	3 2.8	5 3.2	0 0.0	8 3.0
ほぼ解消できている	14 13.5	31 19.4	19 17.6	26 16.8	0 0.0	45 17.0
あまり解消できていない	59 56.7	98 61.3	66 61.1	90 58.1	1 100.0	157 59.5
全く解消できていない	25 24.0	28 17.5	19 17.6	34 21.9	0 0.0	53 20.1
無回答	1 1.0	0 0.0	1 0.9	0 0.0	0 0.0	1 0.4
計	104 100.0	160 100.0	108 100.0	155 100.0	1 100.0	264 100.0

(2) 睡眠による休養

設問 睡眠による休養を十分にとれていますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 十分とれている 2. ほぼとれている
3. あまりとれていない 4. とれていない

《一般》

【全体】睡眠による休養については「ほぼとれている」が50.4%で最も高く、次いで「十分とれている」が24.1%、「あまりとれていない」が20.5%である。

『十分群(「十分とれている」と「ほぼとれている」を合わせたもの)』は74.5%である。

【年代】全年代を通して「ほぼとれている」が最も高い。

『十分群』は40歳代が66.9%、50歳代が69.5%と他の年代に比べてやや低い。

【性別】男性は「ほぼとれている」が47.3%で最も高く、次いで「十分とれている」が28.1%、

「あまりとれていない」が19.2%である。女性は「ほぼとれている」が52.7%で最も高く、次いで「あまりとれていない」が21.6%、「十分とれている」が21.0%である。

『十分群』は男性が75.4%、女性が73.7%である。

〈図表 95〉睡眠による休養（一般） 年齢階級・性別

(単位：上段人数(人)・下段割合(%))

区分	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
十分とれている	14 22.2	48 22.1	72 23.2	81 17.8	86 16.8	155 22.7	224 32.1	84 35.4	9 32.1	392 28.1	369 21.0	12 23.5	773 24.1
ほぼとれている	33 52.4	124 57.1	151 48.6	224 49.1	270 52.7	358 52.4	341 48.9	109 46.0	6 21.4	660 47.3	928 52.7	28 54.9	1,616 50.4
あまりとれていない	15 23.8	38 17.5	70 22.5	122 26.8	131 25.6	141 20.6	93 13.3	36 15.2	11 39.3	267 19.2	381 21.6	9 17.6	657 20.5
とれていない	0 0.0	3 1.4	13 4.2	19 4.2	21 4.1	20 2.9	7 1.0	0 0.0	0 0.0	44 3.2	39 2.2	0 0.0	83 2.6
無回答	1 1.6	4 1.8	5 1.6	10 2.2	4 0.8	9 1.3	33 4.7	8 3.4	2 7.1	31 2.2	43 2.4	2 3.9	76 2.4
計	63 100.0	217 100.0	311 100.0	456 100.0	512 100.0	683 100.0	698 100.0	237 100.0	28 100.0	1,394 100.0	1,760 100.0	51 100.0	3,205 100.0

《学童思春期：中学生・高校生》

【全体】睡眠による休養については「ほぼとれている」は51.4%で最も高く、次いで「あまりとれていない」が25.3%、「十分とれている」が20.0%である。

『十分群』は71.4%である。

【年代】全学年を通して「ほぼとれている」が最も高い。「あまりとれていない」は高校生は29.9%である。

『十分群』は中学生が77.6%、高校生は66.5%である。

【性別】男性は「ほぼとれている」が50.3%で最も高く、次いで「あまりとれていない」が23.3%、「十分とれている」が22.9%である。女性は「ほぼとれている」が52.3%で最も高く、次いで「あまりとれていない」が27.7%、「十分とれている」が16.7%である。

『十分群』は男性が73.2%、女性が69.0%である。

〈図表 96〉睡眠による休養（学童思春期：中学生・高校生） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	中学生	高校生	男性	女性	無回答	全体数
十分とれている	159 27.8	103 13.9	157 22.9	104 16.7	1 20.0	262 20.0
ほぼとれている	285 49.8	389 52.6	345 50.3	325 52.3	4 80.0	674 51.4
あまりとれていない	111 19.4	221 29.9	160 23.3	172 27.7	0 0.0	332 25.3
とれていない	17 3.0	27 3.6	24 3.5	20 3.2	0 0.0	44 3.4
無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
計	572 100.0	740 100.0	686 100.0	621 100.0	5 100.0	1,312 100.0

(3) 睡眠（学童思春期のみ）

設問 よく眠れますか。（あてはまるもの1つに○）

1. よく眠れる 2. まあまあ眠れる
3. あまり眠れない 4. 眠れない

【全体】睡眠については「よく眠れる」が77.7%で最も高く、次いで「まあまあ眠れる」が19.1%、「あまり眠れない」が2.5%である。

【年代】全学年を通して「よく眠れる」が最も高く、小学1～4年生は85.8%、小学5・6年生は62.9%である。

【性別】男性は「よく眠れる」が78.7%で最も高く、次いで「まあまあ眠れる」が18.2%、「あまり眠れない」が2.2%である。女性は「よく眠れる」が76.7%で最も高く、次いで「まあまあ眠れる」が19.9%、「あまり眠れない」が2.8%である。

〈図表 97〉睡眠（学童思春期：小学1～4年生・小学5・6年生） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	小学 1～4年生	小学 5・6年生	男性	女性	無回答	全体数
よく眠れる	515 85.8	207 62.9	363 78.7	359 76.7	0 0.0	722 77.7
まあまあ眠れる	83 13.8	94 28.6	84 18.2	93 19.9	0 0.0	177 19.1
あまり眠れない	2 0.3	21 6.4	10 2.2	13 2.8	0 0.0	23 2.5
眠れない	0 0.0	7 2.1	4 0.9	3 0.6	0 0.0	7 0.8
無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
計	600 100.0	329 100.0	461 100.0	468 100.0	0 0.0	929 100.0

(4) 就寝時刻、起床時刻 (学童思春期のみ)

①就寝時刻、起床時刻

設問 平日(月～金)の寝る時刻や起きる時刻は何時台ですか。(あてはまる数字に○)

寝る時刻 【午後】 1. 9時台 2. 10時台 3. 11時台 4. 12時以降
 起きる時刻【午前】 1. 5時台 2. 6時台 3. 7時台 4. 8時以降

【全体】 就寝時刻は「9時台」が30.1%、起床時刻は「6時台」が71.4%で最も高い。

【年代】 就寝時刻は小学1～4年、小学5・6年は「9時台」が最も高い。中学生は「11時台」、高校生は「12時以降」が最も高い。起床時刻は全学年を通じて「6時台」が最も高い。

【性別】 就寝時刻は、男性は「9時台」が30.6%で最も高く、次いで「11時台」が27.9%、「10時台」が21.7%である。女性は「9時台」が29.7%で最も高く、次いで「11時台」が27.9%、「10時台」が22.4%である。起床時刻は、男性は「6時台」が68.7%で最も高く、次いで「7時台」が16.6%、「5時台」が14.0%である。女性は「6時台」が74.4%で最も高く、次いで「5時台」が14.1%、「7時台」が10.8%である。

〈図表 98〉 就寝時刻 (学童思春期) 年齢階級・性別

(単位：上段人数(人)・下段割合(%))

区分	小学 1～4年生	小学 5・6年生	中学生	高校生	男性	女性	無回答	全体数
9時台	473 78.8	147 44.7	41 7.2	13 1.8	351 30.6	323 29.7	0 0.0	674 30.1
10時台	118 19.7	141 42.9	171 29.9	64 8.6	249 21.7	244 22.4	1 20.0	494 22.0
11時台	9 1.5	36 10.9	267 46.7	314 42.4	320 27.9	304 27.9	2 40.0	626 27.9
12時以降	0 0.0	5 1.5	93 16.3	349 47.2	227 19.8	218 20.0	2 40.0	447 19.9
無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
計	600 100.0	329 100.0	572 100.0	740 100.0	1,147 100.0	1,089 100.0	5 100.0	2,241 100.0

〈図表 99〉 起床時刻 (学童思春期) 年齢階級・性別

(単位：上段人数(人)・下段割合(%))

区分	小学 1～4年生	小学 5・6年生	中学生	高校生	男性	女性	無回答	全体数
5時台	54 9.0	52 15.8	76 13.3	133 18.0	161 14.0	154 14.1	0 0.0	315 14.1
6時台	509 84.8	243 73.9	411 71.9	438 59.2	788 68.7	810 74.4	3 60.0	1,601 71.4
7時台	37 6.2	32 9.7	83 14.5	158 21.4	190 16.6	118 10.8	2 40.0	310 13.8
8時以降	0 0.0	2 0.6	2 0.3	11 1.5	8 0.7	7 0.6	0 0.0	15 0.7
無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
計	600 100.0	329 100.0	572 100.0	740 100.0	1,147 100.0	1,089 100.0	5 100.0	2,241 100.0

②就寝時刻、起床時刻の規則性

設問 寝る時刻や起きる時刻は、決まっていますか。(あてはまるもの1つに○)

1. ほぼ決まっている 2. 決まっていない

【全体】 毎日の寝る時刻や起きる時刻は「ほぼ決まっている」が83.4%である。

【年代】 全学年を通して「ほぼ決まっている」が最も高く、小学1～4年生は96.7%、小学5・6年生は84.2%、中学生は77.6%、高校生は76.8%である。

【性別】 「ほぼ決まっている」は男性が82.6%、女性が84.2%である。

〈図表 100〉 就寝・起床時刻の規則性（学童思春期） 年齢階級・性別

(単位：上段人数(人)・下段割合(%))

区分	小学 1～4年生	小学 5・6年生	中学生	高校生	男性	女性	無回答	全体数
ほぼ決ま っている	580 96.7	277 84.2	444 77.6	568 76.8	947 82.6	917 84.2	5 100.0	1,869 83.4
決まっ ていな い	20 3.3	52 15.8	128 22.4	171 23.1	200 17.4	171 15.7	0 0.0	371 16.6
無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.1	0 0.0	1 0.1	0 0.0	1 0.0
計	600 100.0	329 100.0	572 100.0	740 100.0	1,147 100.0	1,089 100.0	5 100.0	2,241 100.0

1 1 飲酒

(1) 一般の飲酒状況（一般のみ）

① 飲酒の習慣

設問 お酒（清酒、洋酒、ビール、焼酎など）を飲みますか。（あてはまるもの1つに○）

1. 飲む 2. 飲まない 3. 以前は飲んでいましたが今は飲まない

【全体】お酒やアルコールを「飲む」が46.8%で最も高く、次いで「飲まない」が39.3%、「以前は飲んでいましたが今は飲まない」が12.0%である。

【年代】18・19歳、70歳以上は「飲まない」が最も高い。その他の年代は「飲む」が最も高く、40歳代は54.4%、50歳代は60.0%である。

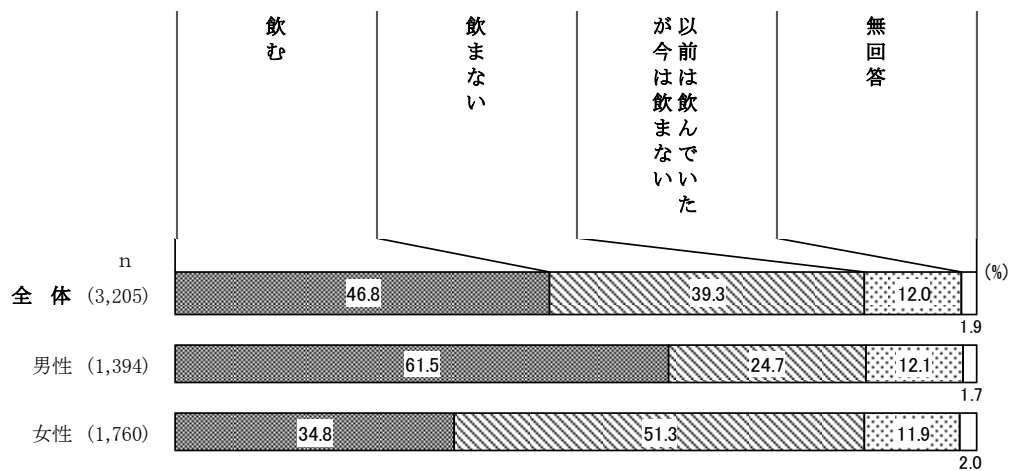
【性別】男性は「飲む」が61.5%で最も高く、次いで「飲まない」が24.7%、「以前は飲んでいましたが今は飲まない」が12.1%である。女性は「飲まない」が51.3%で最も高く、次いで「飲む」が34.8%、「以前は飲んでいましたが今は飲まない」が11.9%である。

〈図表 101〉 飲酒の習慣（一般） 年齢階級・性別

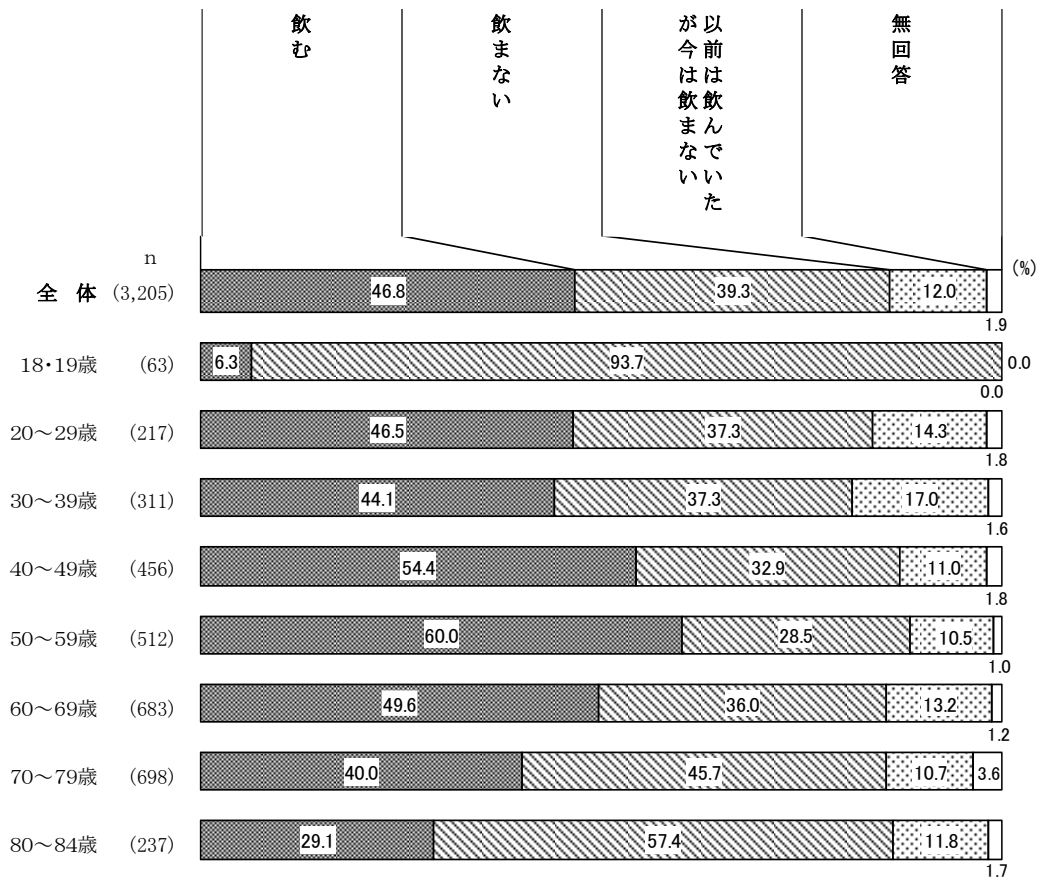
（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
飲む	4 6.3	101 46.5	137 44.1	248 54.4	307 60.0	339 49.6	279 40.0	69 29.1	15 53.6	857 61.5	613 34.8	29 56.9	1,499 46.8
飲まない	59 93.7	81 37.3	116 37.3	150 32.9	146 28.5	246 36.0	319 45.7	136 57.4	8 28.6	345 24.7	902 51.3	14 27.5	1,261 39.3
以前は飲んでいましたが今は飲まない	0 0.0	31 14.3	53 17.0	50 11.0	54 10.5	90 13.2	75 10.7	28 11.8	3 10.7	168 12.1	210 11.9	6 11.8	384 12.0
無回答	0 0.0	4 1.8	5 1.6	8 1.8	5 1.0	8 1.2	25 3.6	4 1.7	2 7.1	24 1.7	35 2.0	2 3.9	61 1.9
計	63 100.0	217 100.0	311 100.0	456 100.0	512 100.0	683 100.0	698 100.0	237 100.0	28 100.0	1,394 100.0	1,760 100.0	51 100.0	3,205 100.0

〈図表 102〉 飲酒の習慣（一般） 性別／割合



〈図表 103〉 飲酒の習慣（一般） 年齢階級別／割合



②飲酒の頻度（お酒を「飲む」のみ）

設問 どのくらいの頻度で飲みますか。（あてはまるもの1つに○）

1. ほとんど毎日 2. 週に4～5回 3. 週に2～3回 4. 週に1回以下

【全体】 飲酒の頻度は「ほとんど毎日」が42.8%で最も高く、次いで「週に2～3回」が22.6%、「週に1回以下」が21.2%である。

【年代】 40歳以上は「ほとんど毎日」が最も高い。

【性別】 男性は「ほとんど毎日」が51.2%で最も高く、次いで「週に2～3回」が21.1%、「週に1回以下」が14.8%である。女性は「ほとんど毎日」が30.3%で最も高く、次いで「週に1回以下」が30.2%、「週に2～3回」が25.1%である。

〈図表 104〉 飲酒の頻度（一般） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	18・ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 79歳	80～ 84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
ほとんど毎日	0 0.0	10 9.9	36 26.3	104 41.9	140 45.6	169 49.9	136 48.7	38 55.1	8 53.3	439 51.2	186 30.3	16 55.2	641 42.8
週に4～5回	1 25.0	7 6.9	21 15.3	27 10.9	33 10.7	53 15.6	42 15.1	12 17.4	0 0.0	107 12.5	86 14.0	3 10.3	196 13.1
週に2～3回	0 0.0	24 23.8	43 31.4	55 22.2	79 25.7	63 18.6	61 21.9	11 15.9	3 20.0	181 21.1	154 25.1	4 13.8	339 22.6
週に1回以下	3 75.0	60 59.4	37 27.0	61 24.6	55 17.9	54 15.9	37 13.3	7 10.1	4 26.7	127 14.8	185 30.2	6 20.7	318 21.2
無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.4	0 0.0	0 0.0	3 1.1	1 1.4	0 0.0	3 0.4	2 0.3	0 0.0	5 0.3
計	4 100.0	101 100.0	137 100.0	248 100.0	307 100.0	339 100.0	279 100.0	69 100.0	15 100.0	857 100.0	613 100.0	29 100.0	1,499 100.0

③ 1日平均の飲酒量（お酒を「飲む」のみ）

設問 1日平均どのくらいの量を飲みますか。（あてはまるもの1つに○）

1. 1合未満 2. 1～2合未満 3. 2～3合未満 4. 3合以上

※下記を参考に日本酒にあてはめて計算してください。

【日本酒1合（180ml）とほぼ同じ量のお酒】

○ビール中瓶1本（約500ml）○焼酎25度（120ml）○チューハイ7%（350ml）

○ウイスキーダブル1杯（60ml）○ワイン2杯（240ml）

【全体】 1日平均の飲酒量は「1合未満」が43.4%で最も高く、次いで「1～2合未満」が35.6%、「2～3合未満」が15.0%である。

【年代】 40歳代は「1～2合未満」が最も高く、その他の年代は「1合未満」が最も高い。

【性別】 男性は「1～2合未満」が40.5%、次いで「1合未満」が32.4%、「2～3合未満」が20.2%である。女性は「1合未満」が59.4%で最も高く、次いで「1～2合未満」が28.2%、「2～3合未満」が7.8%である。

〈図表 105〉 1日平均の飲酒量（一般） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
1合未満	3 75.0	44 43.6	55 40.1	94 37.9	127 41.4	140 41.3	138 49.5	41 59.4	9 60.0	278 32.4	364 59.4	9 31.0	651 43.4
1～2合未満	0 0.0	42 41.6	53 38.7	95 38.3	107 34.9	127 37.5	87 31.2	20 29.0	2 13.3	347 40.5	173 28.2	13 44.8	533 35.6
2～3合未満	1 25.0	9 8.9	24 17.5	39 15.7	52 16.9	57 16.8	37 13.3	3 4.3	3 20.0	173 20.2	48 7.8	4 13.8	225 15.0
3合以上	0 0.0	5 5.0	5 3.6	17 6.9	18 5.9	10 2.9	7 2.5	0 0.0	0 0.0	47 5.5	14 2.3	1 3.4	62 4.1
無回答	0 0.0	1 1.0	0 0.0	3 1.2	3 1.0	5 1.5	10 3.6	5 7.2	1 6.7	12 1.4	14 2.3	2 6.9	28 1.9
計	4 100.0	101 100.0	137 100.0	248 100.0	307 100.0	339 100.0	279 100.0	69 100.0	15 100.0	857 100.0	613 100.0	29 100.0	1,499 100.0

◇お酒を「ほとんど毎日飲む」の場合：

【全体】 1日平均飲酒量は「1～2合未満」が41.5%で最も高く、次いで「1合未満」が26.8%、「2～3合」が23.2%である。

【年代】 70歳代以下は「1～2合未満」が最も高く、80～84歳は「1合未満」が最も高い。

【性別】 男性は「1～2合未満」が44.0%で最も高く、次いで「2～3合」が27.1%、「1合未満」が20.3%である。女性は「1合未満」が42.5%で最も高く、次いで「1～2合未満」が34.9%、「2～3合」が14.5%である。

〈図表 106〉「ほとんど毎日飲む」の1日平均の飲酒量（一般） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（％））

区分	18・ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 79歳	80～ 84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
1合未満	0 0.0	1 10.0	9 25.0	21 20.2	35 25.0	39 23.1	46 33.8	19 50.0	2 25.0	89 20.3	79 42.5	4 25.0	172 26.8
1～2合未満	0 0.0	7 70.0	14 38.9	43 41.3	52 37.1	76 45.0	56 41.2	16 42.1	2 25.0	193 44.0	65 34.9	8 50.0	266 41.5
2～3合未満	0 0.0	1 10.0	11 30.6	25 24.0	37 26.4	42 24.9	28 20.6	2 5.3	3 37.5	119 27.1	27 14.5	3 18.8	149 23.2
3合以上	0 0.0	1 10.0	2 5.6	13 12.5	15 10.7	9 5.3	4 2.9	0 0.0	0 0.0	33 7.5	11 5.9	0 0.0	44 6.9
無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 1.9	1 0.7	3 1.8	2 1.5	1 2.6	1 12.5	5 1.1	4 2.2	1 6.3	10 1.6
計	0 0.0	10 100.0	36 100.0	104 100.0	140 100.0	169 100.0	136 100.0	38 100.0	8 100.0	439 100.0	186 100.0	16 100.0	641 100.0

(2) 学童思春期の飲酒状況 (学童思春期のみ)

①飲酒の経験・習慣

設問 お酒・アルコール類を飲んだことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 飲んだことがない 2. 飲んだことがある

【全体】 お酒やアルコール類を「飲んだことがない」は90.7%で最も高い。

【年代】 全学年を通して「飲んだことがない」が最も高く、小学1～4年生が99.7%、小学5・6年生が87.2%、中学生が89.7%、高校生が85.8%である。

【性別】 「飲んだことがない」は男性が88.7%、女性が92.8%である。

〈図表 107〉 飲酒の経験・習慣 (学童思春期) 年齢階級・性別

(単位：上段人数(人)・下段割合(%))

区分	小学 1～4年生	小学 5・6年生	中学生	高校生	男性	女性	無回答	全体数
飲んだことが ない	598 99.7	287 87.2	513 89.7	635 85.8	1,017 88.7	1,011 92.8	5 100.0	2,033 90.7
飲んだことが ある	2 0.3	42 12.8	59 10.3	104 14.1	129 11.2	78 7.2	0 0.0	207 9.2
無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.1	1 0.1	0 0.0	0 0.0	1 0.0
計	600 100.0	329 100.0	572 100.0	740 100.0	1,147 100.0	1,089 100.0	5 100.0	2,241 100.0

②飲酒のきっかけ（お酒を「飲んだことがある」のみ）

設問 初めて飲んだきっかけは何ですか。（もっともあてはまるもの1つに○）

1. 人にすすめられた 2. おもしろそうだった 3. カッコいい
4. なんとなく 5. その他

【全体】初めて飲酒した時のきっかけは「人にすすめられた」が19.8%で最も高く、次いで「なんとなく」が14.5%、「おいしそうだった」が14.0%である。なお、「その他」は43.5%である。

【年代】小学5・6年生、中学生、高校生は「人にすすめられた」が最も高い。なお、「その他」は小学1～4年生は100.0%、小学5・6年生は54.8%、中学生は61.0%、高校生は27.9%である。

【性別】男性は「人にすすめられた」が20.2%で最も高く、次いで「なんとなく」が17.1%、「おいしそうだった」が13.2%である。女性は「人にすすめられた」が19.2%で最も高く、次いで「おいしそうだった」が15.4%、「なんとなく」が10.3%である。なお、「その他」は男性が45.0%、女性が41.0%である。

〈図表 108〉飲酒のきっかけ（学童思春期） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	小学 1～4年生	小学 5・6年生	中学生	高校生	男性	女性	無回答	全体数
人にすすめられた	0 0.0	7 16.7	8 13.6	26 25.0	26 20.2	15 19.2	0 0.0	41 19.8
おいしそうだった	0 0.0	5 11.9	7 11.9	17 16.3	17 13.2	12 15.4	0 0.0	29 14.0
カッコいい	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
なんとなく	0 0.0	3 7.1	4 6.8	23 22.1	22 17.1	8 10.3	0 0.0	30 14.5
その他	2 100.0	23 54.8	36 61.0	29 27.9	58 45.0	32 41.0	0 0.0	90 43.5
無回答	0 0.0	4 9.5	4 6.8	9 8.7	6 4.7	11 14.1	0 0.0	17 8.2
計	2 100.0	42 100.0	59 100.0	104 100.0	129 100.0	78 100.0	0 0.0	207 100.0

③飲酒をすすめた人（飲酒のきっかけが「人にすすめられた」のみ）

設問 誰にすすめられましたか。（あてはまるものすべてに○）

1. 父・母 2. 兄弟姉妹 3. 祖父・祖母 4. 友だち 5. 先輩 6. その他

【全体】飲酒をすすめた人は「父・母」が53.7%で最も高く、次いで「祖父・祖母」が22.0%、「兄弟姉妹」が9.8%である。なお、「その他」は19.5%である。

【年代】全学年を通して「父・母」が最も高い（小学1～4年生は回答者なし）。

【性別】男性は「父・母」が57.7%で最も高く、次いで「祖父・祖母」が19.2%、「兄弟姉妹」が11.5%である。女性は「父・母」が46.7%で最も高く、次いで「祖父・祖母」が26.7%、「兄弟姉妹」「友だち」「先輩」がともに6.7%である。なお、「その他」は男性が15.4%、女性が26.7%である。

〈図表 109〉 飲酒をすすめた人（学童思春期） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	小学 1～4年生	小学 5・6年生	中学生	高校生	男性	女性	無回答	全体数
父・母	0 0.0	5 71.4	4 50.0	13 50.0	15 57.7	7 46.7	0 0.0	22 53.7
兄弟姉妹	0 0.0	1 14.3	1 12.5	2 7.7	3 11.5	1 6.7	0 0.0	4 9.8
祖父・祖母	0 0.0	0 0.0	1 12.5	8 30.8	5 19.2	4 26.7	0 0.0	9 22.0
友だち	0 0.0	0 0.0	1 12.5	1 3.8	1 3.8	1 6.7	0 0.0	2 4.9
先輩	0 0.0	0 0.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	1 6.7	0 0.0	1 2.4
その他	0 0.0	1 14.3	2 25.0	5 19.2	4 15.4	4 26.7	0 0.0	8 19.5
無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 11.5	1 3.8	2 13.3	0 0.0	3 7.3
計	0 0.0	7 100.0	8 100.0	26 100.0	26 100.0	15 100.0	0 0.0	41 100.0

1.2 たばこ

(1) 一般の喫煙状況（一般のみ）

①喫煙習慣

設問 たばこを吸いますか（加熱式たばこ、電子たばこを含む）。（あてはまるもの1つに○）

1. 吸っている 2. 吸わない 3. 以前は吸っていたが今はやめた

【全体】たばこを「吸わない」が66.0%で最も高く、次いで「以前は吸っていたが今はやめた」が17.5%、「吸っている」が14.3%である。

【年代】全年代を通して「吸わない」が最も高く、18・19歳は100.0%、20歳代は81.6%と他の年代に比べて高い。「吸っている」は40歳代が21.5%で最も高い。

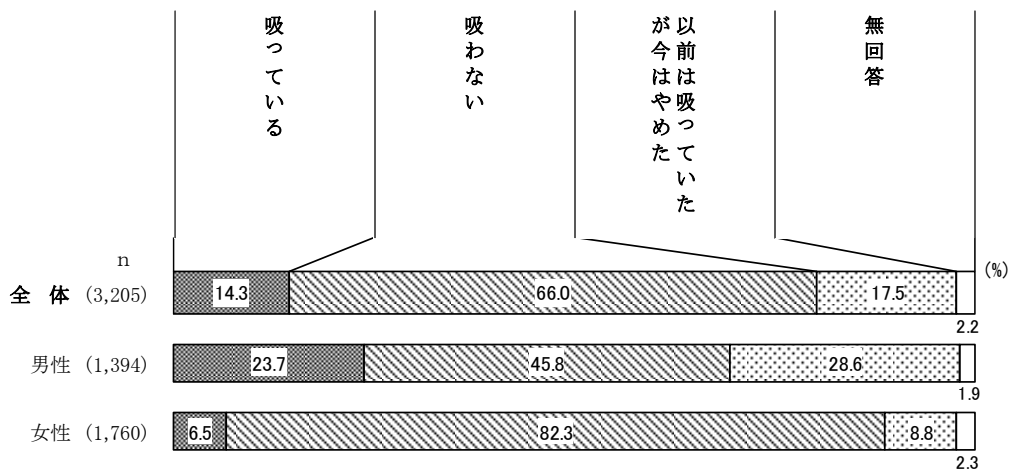
【性別】男性は「吸わない」が45.8%で高く、次いで「以前は吸っていたが今はやめた」が28.6%、「吸っている」が23.7%である。女性は「吸わない」が82.3%で最も高く、次いで「以前は吸っていたが今はやめた」が8.8%、「吸っている」が6.5%である。

〈図表 110〉喫煙習慣（一般） 年齢階級・性別

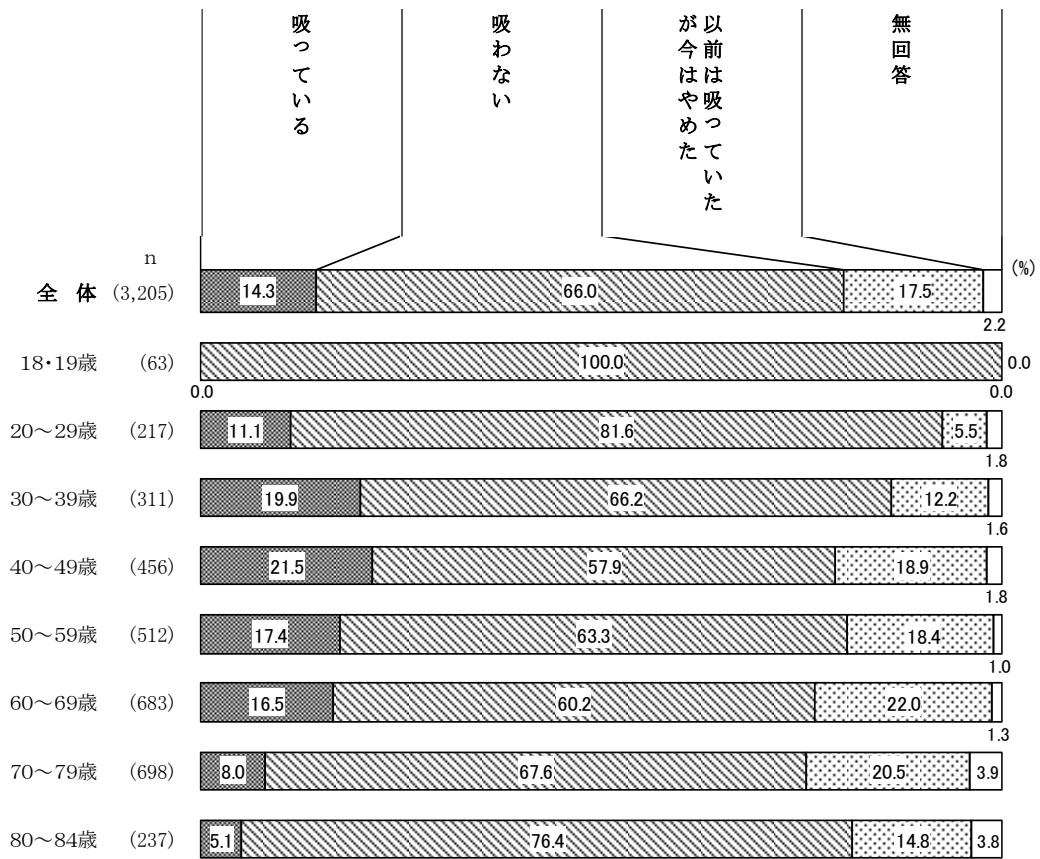
（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
吸っている	0 0.0	24 11.1	62 19.9	98 21.5	89 17.4	113 16.5	56 8.0	12 5.1	3 10.7	331 23.7	115 6.5	11 21.6	457 14.3
吸わない	63 100.0	177 81.6	206 66.2	264 57.9	324 63.3	411 60.2	472 67.6	181 76.4	18 64.3	639 45.8	1,449 82.3	28 54.9	2,116 66.0
以前は吸っていたが今はやめた	0 0.0	12 5.5	38 12.2	86 18.9	94 18.4	150 22.0	143 20.5	35 14.8	4 14.3	398 28.6	155 8.8	9 17.6	562 17.5
無回答	0 0.0	4 1.8	5 1.6	8 1.8	5 1.0	9 1.3	27 3.9	9 3.8	3 10.7	26 1.9	41 2.3	3 5.9	70 2.2
計	63 100.0	217 100.0	311 100.0	456 100.0	512 100.0	683 100.0	698 100.0	237 100.0	28 100.0	1,394 100.0	1,760 100.0	51 100.0	3,205 100.0

〈図表 111〉喫煙習慣（一般） 性別／割合



〈図表 112〉喫煙習慣（一般） 年齢階級別／割合



②禁煙の意志（たばこを「吸っている」のみ）

設問 禁煙したいと思ったことはありますか。（あてはまるもの1つに○）

1. ある 2. ない

【全体】禁煙したいと思ったことが「ある」が58.9%である。

【年代】「ある」は20歳代が62.5%、40歳代が65.3%と他の年代に比べてやや高い。

【性別】「ある」は男性が56.8%、女性が62.6%である。

〈図表 113〉禁煙の意志（一般） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
ある	0 0.0	15 62.5	32 51.6	64 65.3	53 59.6	65 57.5	31 55.4	6 50.0	3 100.0	188 56.8	72 62.6	9 81.8	269 58.9
ない	0 0.0	9 37.5	30 48.4	33 33.7	36 40.4	47 41.6	22 39.3	5 41.7	0 0.0	140 42.3	41 35.7	1 9.1	182 39.8
無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.0	0 0.0	1 0.9	3 5.4	1 8.3	0 0.0	3 0.9	2 1.7	1 9.1	6 1.3
計	0 0.0	24 100.0	62 100.0	98 100.0	89 100.0	113 100.0	56 100.0	12 100.0	3 100.0	331 100.0	115 100.0	11 100.0	457 100.0

③禁煙外来などの禁煙情報（たばこを「吸っている」のみ）

設問 禁煙外来などの禁煙情報を知っていますか。（あてはまるもの1つに○）

1. 知っている 2. 知らない

【全体】禁煙外来などの禁煙情報については「知っている」が79.6%である。

【年代】「知っている」は20歳代が83.3%、50歳代が91.0%、60歳代が82.3%と他の年代に比べて高い。

【性別】「知っている」は男性が77.3%、女性が87.0%である。

〈図表 114〉禁煙外来などの禁煙情報（一般） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
知っている	0 0.0	20 83.3	48 77.4	77 78.6	81 91.0	93 82.3	35 62.5	9 75.0	1 33.3	256 77.3	100 87.0	8 72.7	364 79.6
知らない	0 0.0	4 16.7	13 21.0	20 20.4	7 7.9	19 16.8	17 30.4	2 16.7	2 66.7	68 20.5	13 11.3	3 27.3	84 18.4
無回答	0 0.0	0 0.0	1 1.6	1 1.0	1 1.1	1 0.9	4 7.1	1 8.3	0 0.0	7 2.1	2 1.7	0 0.0	9 2.0
計	0 0.0	24 100.0	62 100.0	98 100.0	89 100.0	113 100.0	56 100.0	12 100.0	3 100.0	331 100.0	115 100.0	11 100.0	457 100.0

(2) 学童思春期の喫煙状況 (学童思春期のみ)

①喫煙経験

設問 たばこを吸ったことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 吸ったことがない 2. 吸ったことがある

【全体】 たばこを「吸ったことがない」は98.5%である。

【年代】 全学年を通して「吸ったことがない」が最も高く、小学1～4年生が100.0%、小学5・6年生が99.7%、中学生が98.6%、高校生が96.6%である。

【性別】 「吸ったことがない」は男性が98.4%、女性が98.5%である。

〈図表 115〉 喫煙経験 (学童思春期) 年齢階級・性別

(単位：上段人数(人)・下段割合(%))

区分	小学 1～4年生	小学 5・6年生	中学生	高校生	男性	女性	無回答	全体数
吸ったことが ない	600 100.0	328 99.7	564 98.6	715 96.6	1,129 98.4	1,073 98.5	5 100.0	2,207 98.5
吸ったことが ある	0 0.0	1 0.3	8 1.4	25 3.4	18 1.6	16 1.5	0 0.0	34 1.5
無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
計	600 100.0	329 100.0	572 100.0	740 100.0	1,147 100.0	1,089 100.0	5 100.0	2,241 100.0

②喫煙のきっかけ（たばこを「吸ったことがある」のみ）

設問 初めて吸ったきっかけは何ですか。（もっともあてはまるもの1つに○）

1. 人にすすめられた 2. おもしろそうだった 3. カッコいい
4. なんとなく 5. その他

【全体】初めてたばこを吸ったきっかけは「なんとなく」が20.6%で最も高く、次いで「人にすすめられた」が5.9%である。なお、「その他」は8.8%である。

【年代】「なんとなく」は中学生が25.0%、高校生が20.0%である。

【性別】男性は「なんとなく」が27.8%で最も高く、次いで「人にすすめられた」が11.1%である。女性は「なんとなく」12.5%で最も高い。なお、「その他」は男性が5.6%、女性が12.5%である。

〈図表 116〉 喫煙のきっかけ（学童思春期） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	小学 1～4年生	小学 5・6年生	中学生	高校生	男性	女性	無回答	全体数
人にすすめられた	0 0.0	0 0.0	1 12.5	1 4.0	2 11.1	0 0.0	0 0.0	2 5.9
おもしろそうだった	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
カッコいい	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
なんとなく	0 0.0	0 0.0	2 25.0	5 20.0	5 27.8	2 12.5	0 0.0	7 20.6
その他	0 0.0	1 100.0	1 12.5	1 4.0	1 5.6	2 12.5	0 0.0	3 8.8
無回答	0 0.0	0 0.0	4 50.0	18 72.0	10 55.6	12 75.0	0 0.0	22 64.7
計	0 0.0	1 100.0	8 100.0	25 100.0	18 100.0	16 100.0	0 0.0	34 100.0

③喫煙をすすめた人（喫煙のきっかけが「人にすすめられた」のみ）

設問 誰にすすめられましたか。（あてはまるものすべてに○）

1. 父・母 2. 兄弟姉妹 3. 祖父・祖母 4. 友だち 5. 先輩 6. その他

【全体】喫煙をすすめた人は「父・母」、「先輩」である。

〈図表 117〉喫煙をすすめた人（学童思春期） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	小学 1～4年生	小学 5・6年生	中学生	高校生	男性	女性	無回答	全体数
父・母	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0
兄弟姉妹	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
祖父・祖母	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
友だち	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
先輩	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0
その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
計	0 0.0	0 0.0	1 100.0	1 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0

(3) 受動喫煙の状況

①受動喫煙の機会の有無

設問 この1ヶ月に受動喫煙（望まずに他人のたばこの煙を吸う）の場面がありましたか。（あてはまるもの1つに○）

1. あった 2. なかった

《一般》

【全体】この1ヶ月間の受動喫煙の機会については「あった」が28.3%である。

【年代】全年代を通して「なかった」が最も高い。

【性別】「あった」は男性が29.8%、女性が27.2%である。

〈図表 118〉受動喫煙の機会の有無（一般） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
あった	27 42.9	86 39.6	131 42.1	177 38.8	160 31.3	172 25.2	114 16.3	28 11.8	13 46.4	416 29.8	478 27.2	14 27.5	908 28.3
なかった	36 57.1	126 58.1	175 56.3	269 59.0	337 65.8	487 71.3	529 75.8	182 76.8	12 42.9	922 66.1	1,201 68.2	30 58.8	2,153 67.2
無回答	0 0.0	5 2.3	5 1.6	10 2.2	15 2.9	24 3.5	55 7.9	27 11.4	3 10.7	56 4.0	81 4.6	7 13.7	144 4.5
計	63 100.0	217 100.0	311 100.0	456 100.0	512 100.0	683 100.0	698 100.0	237 100.0	28 100.0	1,394 100.0	1,760 100.0	51 100.0	3,205 100.0

《学童思春期》

【全体】この1ヶ月間の受動喫煙の機会については「あった」が30.8%である。

【年代】全学年を通して「なかった」が最も高い。高校生は「あった」が41.5%と他の学年に比べて高い。

【性別】「あった」は男性が31.0%、女性が30.5%である。

〈図表 119〉受動喫煙の機会の有無（学童思春期） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	小学 1～4年生	小学 5・6年生	中学生	高校生	男性	女性	無回答	全体数
あった	128 21.3	91 27.7	165 28.8	307 41.5	356 31.0	332 30.5	3 60.0	691 30.8
なかった	466 77.7	238 72.3	395 69.1	420 56.8	772 67.3	745 68.4	2 40.0	1,519 67.8
無回答	6 1.0	0 0.0	12 2.1	13 1.8	19 1.7	12 1.1	0 0.0	31 1.4
計	600 100.0	329 100.0	572 100.0	740 100.0	1,147 100.0	1,089 100.0	5 100.0	2,241 100.0

②受動喫煙の場（受動喫煙の場が「あった」のみ）

《一般》

設問 それはどのような場でしたか。（あてはまるものすべてに○）

1. 家庭 2. 職場 3. 飲食店 4. 行政機関
 5. 路上 6. 医療機関 7. 学校 8. 公共交通機関
 9. 遊技場（ゲームセンター、パチンコ店など）
 10. 子供が利用する屋外の空間（公園、通学路など） 11. その他

【全体】受動喫煙の場は「職場」が33.3%で最も高く、次いで「路上」が32.5%、「家庭」が31.2%である。

【年代】「職場」は30～59歳で最も高い。他の年代は「家庭」が最も高く、18・19歳は55.6%と他の年代に比べて高い。

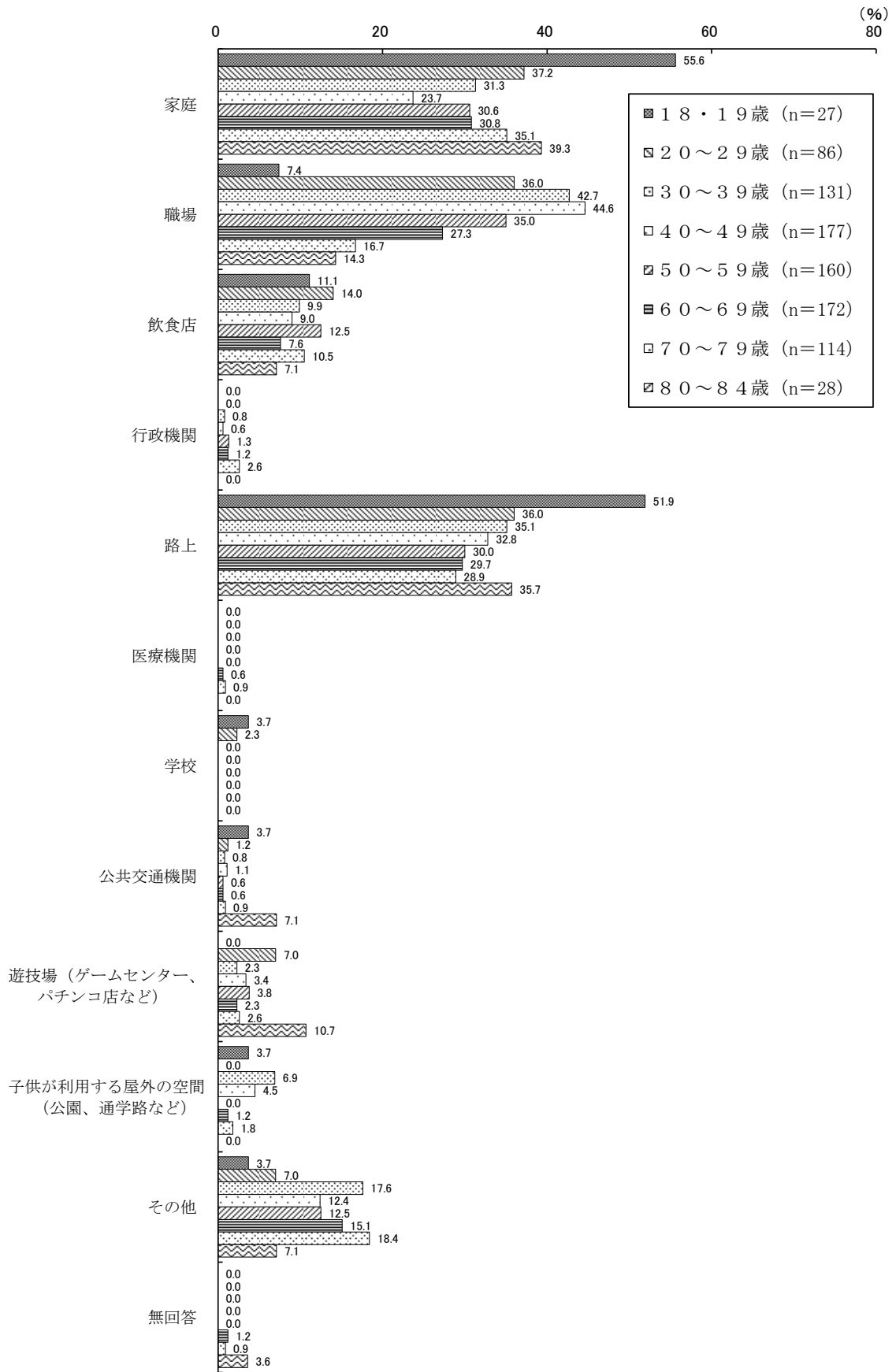
【性別】男性は「職場」が47.4%で最も高く、次いで「路上」が28.1%、「家庭」が20.7%である。女性は「家庭」が40.4%で最も高く、次いで「路上」が36.6%、「職場」が20.5%である。

〈図表120〉受動喫煙の場（一般） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
家庭	15 55.6	32 37.2	41 31.3	42 23.7	49 30.6	53 30.8	40 35.1	11 39.3	0 0.0	86 20.7	193 40.4	4 28.6	283 31.2
職場	2 7.4	31 36.0	56 42.7	79 44.6	56 35.0	47 27.3	19 16.7	4 14.3	8 61.5	197 47.4	98 20.5	7 50.0	302 33.3
飲食店	3 11.1	12 14.0	13 9.9	16 9.0	20 12.5	13 7.6	12 10.5	2 7.1	4 30.8	55 13.2	39 8.2	1 7.1	95 10.5
行政機関	0 0.0	0 0.0	1 0.8	1 0.6	2 1.3	2 1.2	3 2.6	0 0.0	1 7.7	5 1.2	5 1.0	0 0.0	10 1.1
路上	14 51.9	31 36.0	46 35.1	58 32.8	48 30.0	51 29.7	33 28.9	10 35.7	4 30.8	117 28.1	175 36.6	3 21.4	295 32.5
医療機関	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.6	1 0.9	0 0.0	0 0.0	2 0.5	0 0.0	0 0.0	2 0.2
学校	1 3.7	2 2.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 0.5	1 0.2	0 0.0	3 0.3
公共交通機関	1 3.7	1 1.2	1 0.8	2 1.1	1 0.6	1 0.6	1 0.9	2 7.1	0 0.0	7 1.7	3 0.6	0 0.0	10 1.1
遊技場（ゲームセンター、パチンコ店など）	0 0.0	6 7.0	3 2.3	6 3.4	6 3.8	4 2.3	3 2.6	3 10.7	3 23.1	28 6.7	6 1.3	0 0.0	34 3.7
子供が利用する屋外の空間（公園、通学路など）	1 3.7	0 0.0	9 6.9	8 4.5	0 0.0	2 1.2	2 1.8	0 0.0	0 0.0	5 1.2	17 3.6	0 0.0	22 2.4
その他	1 3.7	6 7.0	23 17.6	22 12.4	20 12.5	26 15.1	21 18.4	2 7.1	0 0.0	47 11.3	73 15.3	1 7.1	121 13.3
無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 1.2	1 0.9	1 3.6	0 0.0	1 0.2	3 0.6	0 0.0	4 0.4
計	27 100.0	86 100.0	131 100.0	177 100.0	160 100.0	172 100.0	114 100.0	28 100.0	13 100.0	416 100.0	478 100.0	14 100.0	908 100.0

〈図表 121〉 受動喫煙の場（一般） 年齢階級別／割合



《学童思春期》

設問 それはどういう場でしたか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | | |
|----------------------|---------|-----------|---------|
| 1. 学校 | 2. 行政機関 | 3. 公共交通機関 | 4. 医療機関 |
| 5. 家庭 | 6. 飲食店 | 7. 遊技場 | 8. 路上 |
| 9. 屋外の空間（公園、グラウンドなど） | 10. その他 | | |

【全体】受動喫煙の場は「家庭」が44.0%で最も高く、次いで「路上」が41.5%、「屋外の空間（公園、グラウンドなど）」が19.2%である。

【年代】小学1～4年生、小学5・6年生、中学生は「家庭」が最も高い。高校生は「路上」が最も高い。

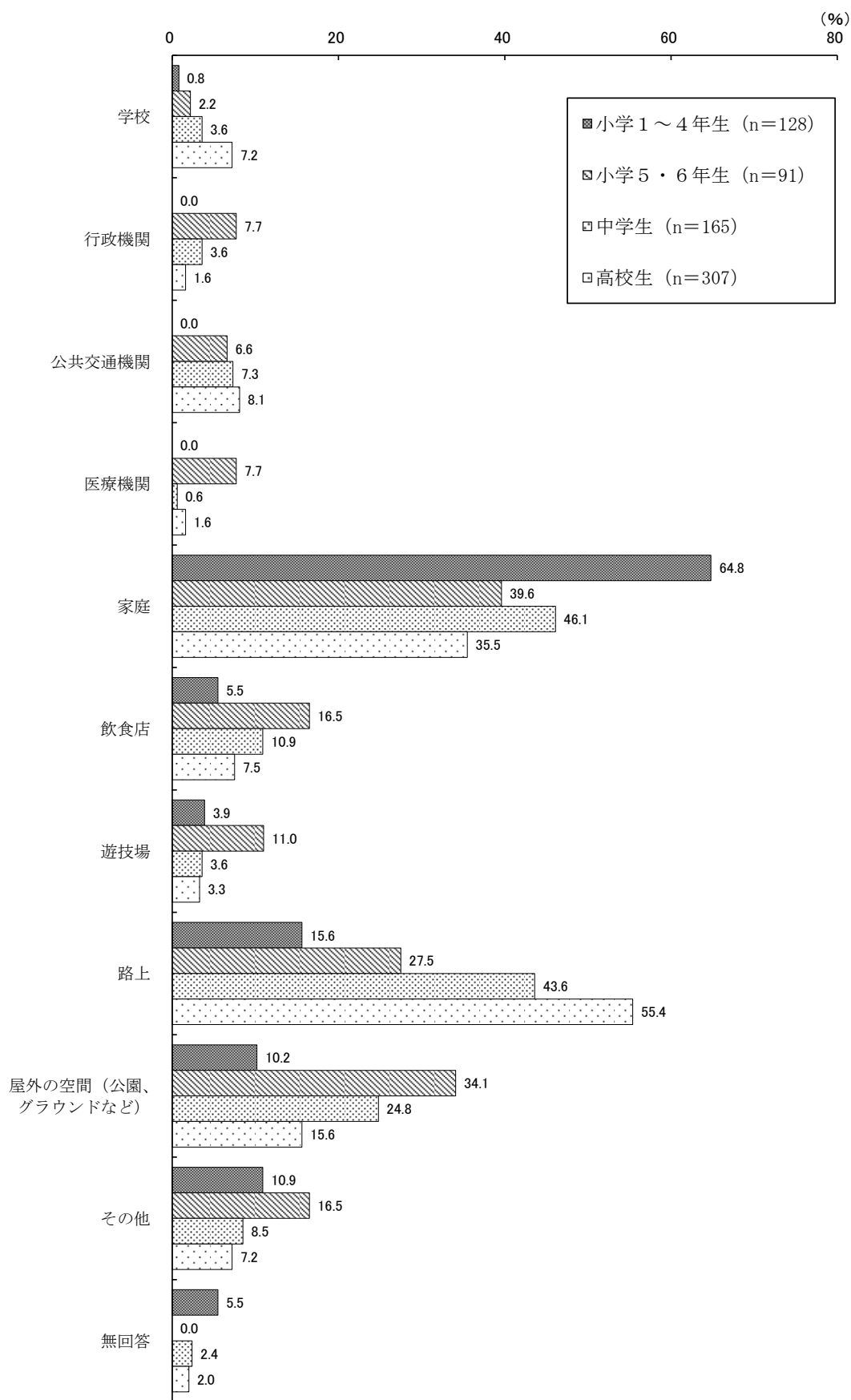
【性別】男性は「家庭」が45.8%で最も高く、次いで「路上」が37.6%、「屋外の空間（公園、グラウンドなど）」が20.8%である。女性は「路上」が45.2%で最も高く、次いで「家庭」が42.5%、「屋外の空間（公園、グラウンドなど）」が17.8%である。

〈図表 122〉受動喫煙の場（学童思春期） 年齢階級・性別

(単位：上段人数(人)・下段割合(%))

区分	小学 1～4年生	小学 5・6年生	中学生	高校生	男性	女性	無回答	全体数
学校	1 0.8	2 2.2	6 3.6	22 7.2	17 4.8	14 4.2	0 0.0	31 4.5
行政機関	0 0.0	7 7.7	6 3.6	5 1.6	15 4.2	3 0.9	0 0.0	18 2.6
公共交通機関	0 0.0	6 6.6	12 7.3	25 8.1	21 5.9	22 6.6	0 0.0	43 6.2
医療機関	0 0.0	7 7.7	1 0.6	5 1.6	5 1.4	8 2.4	0 0.0	13 1.9
家庭	83 64.8	36 39.6	76 46.1	109 35.5	163 45.8	141 42.5	0 0.0	304 44.0
飲食店	7 5.5	15 16.5	18 10.9	23 7.5	29 8.1	34 10.2	0 0.0	63 9.1
遊技場	5 3.9	10 11.0	6 3.6	10 3.3	19 5.3	12 3.6	0 0.0	31 4.5
路上	20 15.6	25 27.5	72 43.6	170 55.4	134 37.6	150 45.2	3 100.0	287 41.5
屋外の空間（公園、 グラウンドなど）	13 10.2	31 34.1	41 24.8	48 15.6	74 20.8	59 17.8	0 0.0	133 19.2
その他	14 10.9	15 16.5	14 8.5	22 7.2	30 8.4	35 10.5	0 0.0	65 9.4
無回答	7 5.5	0 0.0	4 2.4	6 2.0	8 2.2	9 2.7	0 0.0	17 2.5
計	128 100.0	91 100.0	165 100.0	307 100.0	356 100.0	332 100.0	3 100.0	691 100.0

〈図表 123〉 受動喫煙の場（学童思春期） 年齢階級別／割合



③同居家族の喫煙の有無

設問 同居家族の中でたばこを吸っている人はいますか。(あてはまるもの1つに○)

1. いる 2. いない

《一般》

【全体】同居家族の喫煙の有無については「いる」が19.8%である。

【年代】全年代を通して「いない」が最も高い。

【性別】「いる」は男性が12.8%、女性が25.3%である。

〈図表 124〉同居家族の喫煙の有無（一般） 年齢階級・性別

(単位：上段人数(人)・下段割合(%))

区分	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
いる	25 39.7	54 24.9	77 24.8	89 19.5	119 23.2	129 18.9	105 15.0	34 14.3	3 10.7	178 12.8	445 25.3	12 23.5	635 19.8
いない	37 58.7	157 72.4	229 73.6	359 78.7	385 75.2	531 77.7	530 75.9	188 79.3	21 75.0	1,155 82.9	1,247 70.9	35 68.6	2,437 76.0
無回答	1 1.6	6 2.8	5 1.6	8 1.8	8 1.6	23 3.4	63 9.0	15 6.3	4 14.3	61 4.4	68 3.9	4 7.8	133 4.1
計	63 100.0	217 100.0	311 100.0	456 100.0	512 100.0	683 100.0	698 100.0	237 100.0	28 100.0	1,394 100.0	1,760 100.0	51 100.0	3,205 100.0

《学童思春期》

【全体】同居家族の喫煙の有無については「いる」が45.2%である。

【年代】全学年を通して「いない」が最も高い。

【性別】「いる」は男性が46.2%、女性が44.3%である。

〈図表 125〉同居家族の喫煙の有無（学童思春期） 年齢階級・性別

(単位：上段人数(人)・下段割合(%))

区分	小学 1～4年生	小学 5・6年生	中学生	高校生	男性	女性	無回答	全体数
いる	260 43.3	130 39.5	265 46.3	359 48.5	530 46.2	482 44.3	2 40.0	1,014 45.2
いない	334 55.7	199 60.5	301 52.6	374 50.5	605 52.7	600 55.1	3 60.0	1,208 53.9
無回答	6 1.0	0 0.0	6 1.0	7 0.9	12 1.0	7 0.6	0 0.0	19 0.8
計	600 100.0	329 100.0	572 100.0	740 100.0	1,147 100.0	1,089 100.0	5 100.0	2,241 100.0

④喫煙している同居家族（学童思春期、喫煙している同居家族が「いる」のみ）

設問 たばこを吸っている方はどなたですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 父 2. 母 3. 兄姉 4. 祖父 5. 祖母 6. その他

【全体】喫煙している同居家族は「父」が77.1%で最も高く、次いで「母」が31.4%、「祖父」が12.3%である。

【年代】全学年を通じて「父」が最も高く、次いで「母」、「祖父」となっている。

【性別】男性は「父」が78.7%で最も高く、次いで「母」が29.8%、「祖父」が12.8%である。女性は「父」が75.3%で最も高く、次いで「母」が33.0%、「祖父」が11.8%である。

〈図表 126〉喫煙している同居家族（学童思春期） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	小学 1～4年生	小学 5・6年生	中学生	高校生	男性	女性	無回答	全体数
父	204 78.5	102 78.5	205 77.4	271 75.5	417 78.7	363 75.3	2 100.0	782 77.1
母	54 20.8	45 34.6	86 32.5	133 37.0	158 29.8	159 33.0	1 50.0	318 31.4
兄姉	1 0.4	4 3.1	12 4.5	22 6.1	19 3.6	20 4.1	0 0.0	39 3.8
祖父	33 12.7	17 13.1	41 15.5	34 9.5	68 12.8	57 11.8	0 0.0	125 12.3
祖母	12 4.6	8 6.2	18 6.8	19 5.3	23 4.3	34 7.1	0 0.0	57 5.6
その他	10 3.8	6 4.6	8 3.0	8 2.2	17 3.2	15 3.1	0 0.0	32 3.2
無回答	7 2.7	0 0.0	12 4.5	9 2.5	20 3.8	8 1.7	0 0.0	28 2.8
計	260 100.0	130 100.0	265 100.0	359 100.0	530 100.0	482 100.0	2 100.0	1,014 100.0

(4) たばこの健康への影響

《一般》

設問 たばこの影響があると思われる病気はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | | |
|---------|-------------------------------|--------|---------|
| 1. 脳卒中 | 2. 歯周病 | 3. 肺がん | 4. ぜんそく |
| 5. 気管支炎 | 6. COPD (慢性閉塞性肺疾患) | 7. 心臓病 | |
| 8. 胃潰瘍 | 9. 妊娠に関連した異常 (流産、早産、低出生体重児など) | | |

【全体】たばこの影響があると思う病気は「肺がん」が89.7%で最も高く、次いで「気管支炎」が65.1%、「ぜんそく」が63.5%、「脳卒中」「妊娠に関連した異常 (流産、早産、低出生体重児など)」がともに48.5%、「COPD (慢性閉塞性肺疾患)」が45.0%である。

【年代】全年代を通して「肺がん」が最も高い。30歳代は「妊娠に関連した異常 (流産、早産、低出生体重児など)」、40～84歳は「脳卒中」が上位である。

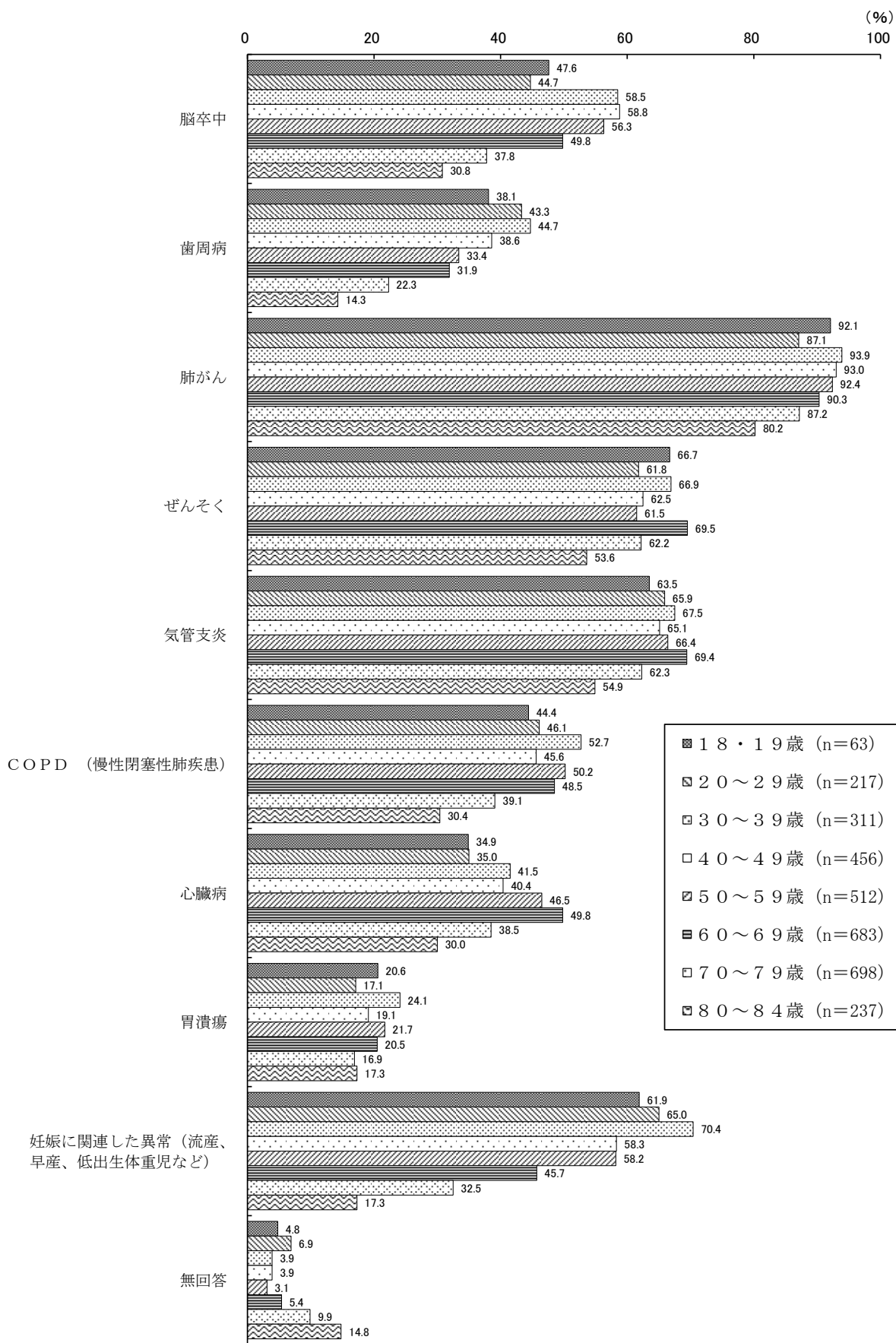
【性別】男性は「肺がん」が89.0%で最も高く、次いで「気管支炎」が63.8%、「ぜんそく」が62.0%である。女性は「肺がん」が90.5%で最も高く、次いで「気管支炎」が66.5%、「ぜんそく」が65.1%である。

〈図表 127〉 たばこの健康への影響 (一般) 年齢階級・性別

(単位: 上段人数 (人)・下段割合 (%))

区分	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
脳卒中	30 47.6	97 44.7	182 58.5	268 58.8	288 56.3	340 49.8	264 37.8	73 30.8	12 42.9	721 51.7	815 46.3	18 35.3	1,554 48.5
歯周病	24 38.1	94 43.3	139 44.7	176 38.6	171 33.4	218 31.9	156 22.3	34 14.3	7 25.0	440 31.6	568 32.3	11 21.6	1,019 31.8
肺がん	58 92.1	189 87.1	292 93.9	424 93.0	473 92.4	617 90.3	609 87.2	190 80.2	23 82.1	1,241 89.0	1,592 90.5	42 82.4	2,875 89.7
ぜんそく	42 66.7	134 61.8	208 66.9	285 62.5	315 61.5	475 69.5	434 62.2	127 53.6	16 57.1	864 62.0	1,146 65.1	26 51.0	2,036 63.5
気管支炎	40 63.5	143 65.9	210 67.5	297 65.1	340 66.4	474 69.4	435 62.3	130 54.9	18 64.3	890 63.8	1,171 66.5	26 51.0	2,087 65.1
COPD (慢性閉塞性肺疾患)	28 44.4	100 46.1	164 52.7	208 45.6	257 50.2	331 48.5	273 39.1	72 30.4	9 32.1	576 41.3	852 48.4	14 27.5	1,442 45.0
心臓病	22 34.9	76 35.0	129 41.5	184 40.4	238 46.5	340 49.8	269 38.5	71 30.0	13 46.4	618 44.3	707 40.2	17 33.3	1,342 41.9
胃潰瘍	13 20.6	37 17.1	75 24.1	87 19.1	111 21.7	140 20.5	118 16.9	41 17.3	4 14.3	308 22.1	313 17.8	5 9.8	626 19.5
妊娠に関連した異常 (流産、早産、低出生体重児など)	39 61.9	141 65.0	219 70.4	266 58.3	298 58.2	312 45.7	227 32.5	41 17.3	10 35.7	495 35.5	1,044 59.3	14 27.5	1,553 48.5
無回答	3 4.8	15 6.9	12 3.9	18 3.9	16 3.1	37 5.4	69 9.9	35 14.8	3 10.7	86 6.2	114 6.5	8 15.7	208 6.5
計	63 100.0	217 100.0	311 100.0	456 100.0	512 100.0	683 100.0	698 100.0	237 100.0	28 100.0	1,394 100.0	1,760 100.0	51 100.0	3,205 100.0

〈図表 128〉 たばこの健康への影響（一般） 年齢階級別／割合



《学童思春期：小学5・6年生・中学生・高校生》

設問 たばこの影響があると思われる病気はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|------------|---------------------------|-------------|
| 1. 脳の血管の病気 | 2. 歯や歯ぐきの病気 | 3. 胃の病気 |
| 4. 肺がん | 5. ぜんそく | 6. 肺や気管支の病気 |
| 7. 心臓の病気 | 8. 妊娠に関わる異常（赤ちゃんが大きく育たない） | |

【全体】 たばこの影響があると思う病気は「肺がん」が 86.9%で最も高く、次いで「肺や気管支の病気」が 78.7%、「ぜんそく」が 66.6%である。

【年代】 全学年を通して「肺がん」が最も高く、次いで「肺や気管支の病気」、「ぜんそく」となっている。

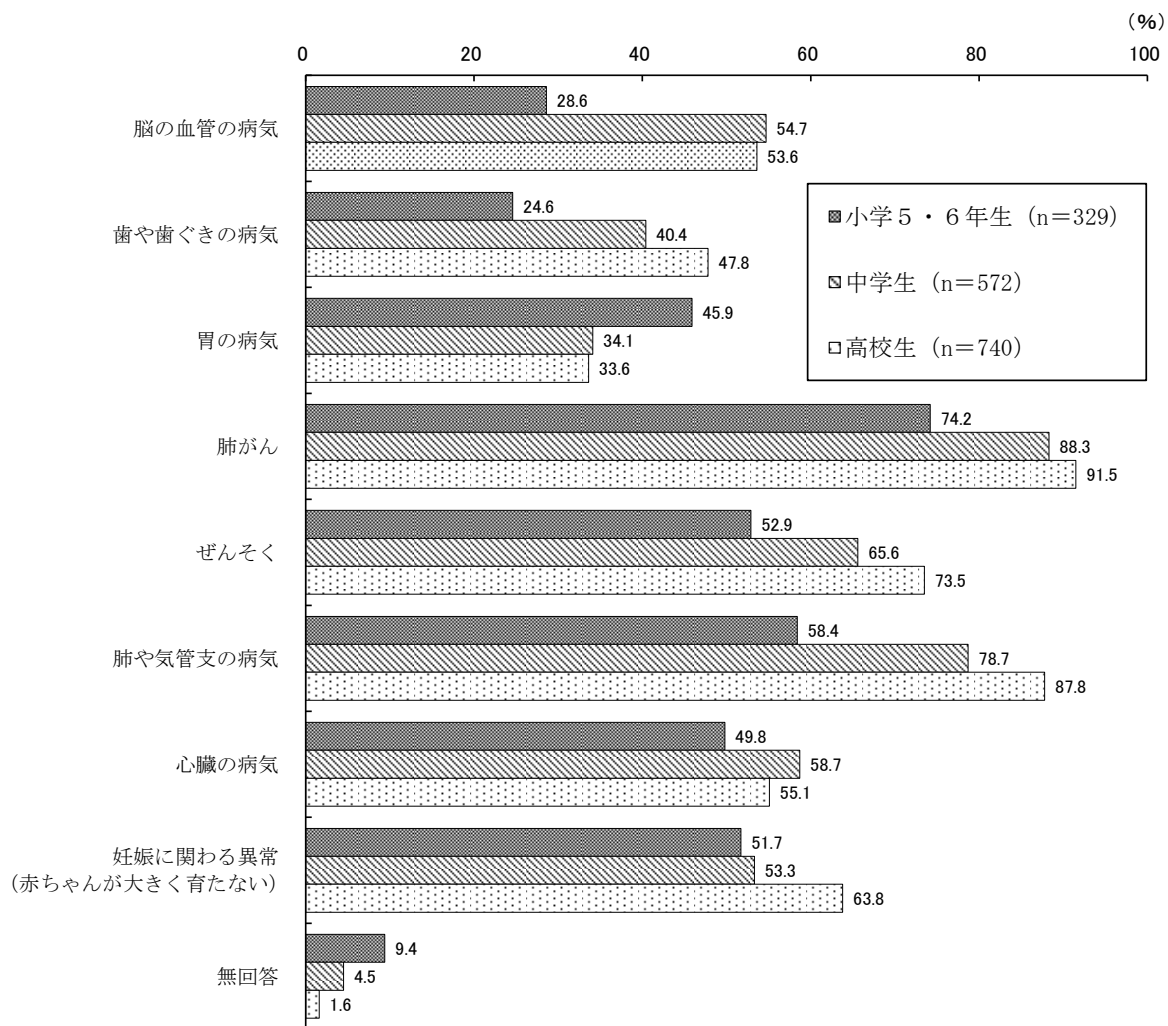
【性別】 男性は「肺がん」が 86.3%で最も高く、次いで「肺や気管支の病気」が 77.4%、「ぜんそく」が 68.9%である。女性は「肺がん」が 87.5%で最も高く、次いで「肺や気管支の病気」が 80.0%、「ぜんそく」が 64.1%である。

〈図表 129〉 たばこの健康への影響（学童思春期：小学5・6年生・中学生・高校生） 年齢階級・性別

(単位：上段人数(人)・下段割合(%))

区分	小学 5・6年生	中学生	高校生	男性	女性	無回答	全体数
脳の血管の病気	94 28.6	313 54.7	397 53.6	426 50.4	374 47.3	4 80.0	804 49.0
歯や歯ぐきの病気	81 24.6	231 40.4	354 47.8	361 42.7	302 38.2	3 60.0	666 40.6
胃の病気	151 45.9	195 34.1	249 33.6	324 38.3	269 34.0	2 40.0	595 36.3
肺がん	244 74.2	505 88.3	677 91.5	729 86.3	692 87.5	5 100.0	1,426 86.9
ぜんそく	174 52.9	375 65.6	544 73.5	582 68.9	507 64.1	4 80.0	1,093 66.6
肺や気管支の病気	192 58.4	450 78.7	650 87.8	654 77.4	633 80.0	5 100.0	1,292 78.7
心臓の病気	164 49.8	336 58.7	408 55.1	473 56.0	433 54.7	2 40.0	908 55.3
妊娠に関わる異常（赤ちゃんが大きく育たない）	170 51.7	305 53.3	472 63.8	458 54.2	486 61.4	3 60.0	947 57.7
無回答	31 9.4	26 4.5	12 1.6	38 4.5	31 3.9	0 0.0	69 4.2
計	329 100.0	572 100.0	740 100.0	845 100.0	791 100.0	5 100.0	1,641 100.0

〈図表 130〉 たばこの健康への影響（学童思春期：小学5・6年生・中学生・高校生） 年齢階級別／割合



(2) 安全な食の選定・調理方法（一般のみ）

設問 安全な食品の選び方や、食中毒を起こさない調理方法などについて知識があると思いますか。（あてはまるもの1つに○）

1. 十分にある 2. ある程度ある 3. あまりない 4. まったくない

- 【全体】安全な食の選定・調理方法についての知識は「ある程度ある」が58.3%で最も高く、次いで「あまりない」が26.2%、「十分にある」が8.4%である。
『知識あり群（「十分にある」と「ある程度ある」を合わせたもの）』は66.7%である。
- 【年代】18・19歳は「あまりない」が最も高く、20歳以上は「ある程度ある」が最も高い。
『知識あり群』は60歳以上で7割以上と他の年代に比べて高い。
- 【性別】男性は「ある程度ある」が46.1%で高く、次いで「あまりない」が35.7%、「まったくない」が8.2%である。女性は「ある程度ある」が67.8%で高く、次いで「あまりない」が18.9%、「十分にある」が9.1%である。
『知識あり群』は男性が53.6%、女性が76.9%である。

〈図表 132〉安全な食の選定・調理方法（一般） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
十分にある	6 9.5	11 5.1	17 5.5	26 5.7	36 7.0	54 7.9	64 9.2	51 21.5	4 14.3	105 7.5	160 9.1	4 7.8	269 8.4
ある程度ある	21 33.3	116 53.5	158 50.8	225 49.3	296 57.8	437 64.0	465 66.6	137 57.8	13 46.4	643 46.1	1,194 67.8	31 60.8	1,868 58.3
あまりない	27 42.9	72 33.2	103 33.1	169 37.1	153 29.9	161 23.6	116 16.6	32 13.5	6 21.4	497 35.7	332 18.9	10 19.6	839 26.2
まったくない	9 14.3	14 6.5	28 9.0	28 6.1	22 4.3	22 3.2	22 3.2	9 3.8	2 7.1	114 8.2	39 2.2	3 5.9	156 4.9
無回答	0 0.0	4 1.8	5 1.6	8 1.8	5 1.0	9 1.3	31 4.4	8 3.4	3 10.7	35 2.5	35 2.0	3 5.9	73 2.3
計	63 100.0	217 100.0	311 100.0	456 100.0	512 100.0	683 100.0	698 100.0	237 100.0	28 100.0	1,394 100.0	1,760 100.0	51 100.0	3,205 100.0

(3) 農業体験（一般のみ）

設問 田植え、稲刈り、野菜づくりなど農業体験をしたことがありますか。（あてはまるもの1つに○）

1. ある 2. ない

【全体】 農業体験の経験については「ある」が63.6%である。

【年代】 全年代を通して「ある」が最も高い。

【性別】 「ある」は男性が64.3%、女性が63.1%である。

〈図表 133〉 農業体験（一般） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
ある	42 66.7	165 76.0	207 66.6	286 62.7	334 65.2	431 63.1	429 61.5	128 54.0	17 60.7	897 64.3	1,110 63.1	32 62.7	2,039 63.6
ない	21 33.3	48 22.1	99 31.8	162 35.5	174 34.0	244 35.7	245 35.1	102 43.0	9 32.1	471 33.8	617 35.1	16 31.4	1,104 34.4
無回答	0 0.0	4 1.8	5 1.6	8 1.8	4 0.8	8 1.2	24 3.4	7 3.0	2 7.1	26 1.9	33 1.9	3 5.9	62 1.9
計	63 100.0	217 100.0	311 100.0	456 100.0	512 100.0	683 100.0	698 100.0	237 100.0	28 100.0	1,394 100.0	1,760 100.0	51 100.0	3,205 100.0

(4) 郷土料理・作法の伝承（一般のみ）

設問 地域や家庭で受け継がれてきた郷土料理※や箸づかいなどの作法#を教わっていますか。（あてはまるもの1つに○）

1. 教わっている 2. 教わっていない

※郷土料理とは、その地域特有の料理や年越しそばなど古くから受け継がれ伝えられている料理の事です。

#作法には食事の際のマナーや感謝などの表現である「いただきます」「ごちそうさま」の挨拶も含まれます。

【全体】 郷土料理・作法を「教わっている」が60.1%である。

【年代】 全年代を通して「教わっている」が最も高い。

【性別】 「教わっている」は男性が48.7%、女性が69.4%である。

〈図表 134〉 郷土料理・作法の伝承（一般） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
教わっている	46 73.0	148 68.2	185 59.5	283 62.1	322 62.9	408 59.7	389 55.7	128 54.0	16 57.1	679 48.7	1,221 69.4	25 49.0	1,925 60.1
教わっていない	17 27.0	65 30.0	121 38.9	164 36.0	183 35.7	264 38.7	272 39.0	93 39.2	11 39.3	677 48.6	489 27.8	24 47.1	1,190 37.1
無回答	0 0.0	4 1.8	5 1.6	9 2.0	7 1.4	11 1.6	37 5.3	16 6.8	1 3.6	38 2.7	50 2.8	2 3.9	90 2.8
計	63 100.0	217 100.0	311 100.0	456 100.0	512 100.0	683 100.0	698 100.0	237 100.0	28 100.0	1,394 100.0	1,760 100.0	51 100.0	3,205 100.0

1 4 健康への放射線の影響についての不安

(1) 健康への放射線の影響についての不安

①現在の健康への不安感

設問 東日本大震災にともなう原子力発電所事故による放射線の影響について、現在、どのくらい不安がありますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 全くない 2. 少ししかない 3. いくらかある
4. たくさんある 5. 非常にある

《一般》

【全体】現在の健康への不安感については「いくらかある」が39.4%で最も高く、次いで「少ししかない」が26.3%、「全くない」が21.8%である。

『不安あり群（「いくらかある」と「たくさんある」と「非常にある」を合わせたもの）』は50.4%である。

【年代】20歳代以下は「全くない」が最も高く、30歳以上は「いくらかある」が最も高い。『不安あり群』は18・19歳が20.7%、20歳代が26.8%と他の年代に比べて低い。

【性別】男性は「いくらかある」が34.7%で最も高く、次いで「少ししかない」が26.2%、「全くない」が26.0%である。女性は「いくらかある」が43.2%で最も高く、次いで「少ししかない」が26.5%、「全くない」が18.4%である。『不安あり群』は男性が46.2%、女性が53.7%である。

〈図表 135〉現在の健康への不安感（一般） 年齢階級・性別

(単位：上段人数(人)・下段割合(%))

区分	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
全くない	36 57.1	85 39.2	75 24.1	88 19.3	99 19.3	138 20.2	129 18.5	45 19.0	5 17.9	363 26.0	323 18.4	14 27.5	700 21.8
少ししかない	13 20.6	73 33.6	100 32.2	150 32.9	157 30.7	160 23.4	142 20.3	42 17.7	6 21.4	365 26.2	467 26.5	11 21.6	843 26.3
いくらかある	11 17.5	52 24.0	108 34.7	173 37.9	199 38.9	304 44.5	305 43.7	100 42.2	11 39.3	484 34.7	761 43.2	18 35.3	1,263 39.4
たくさんある	0 0.0	1 0.5	10 3.2	22 4.8	33 6.4	48 7.0	67 9.6	23 9.7	4 14.3	90 6.5	115 6.5	3 5.9	208 6.5
非常にある	2 3.2	5 2.3	15 4.8	19 4.2	20 3.9	29 4.2	36 5.2	16 6.8	1 3.6	70 5.0	71 4.0	2 3.9	143 4.5
無回答	1 1.6	1 0.5	3 1.0	4 0.9	4 0.8	4 0.6	19 2.7	11 4.6	1 3.6	22 1.6	23 1.3	3 5.9	48 1.5
計	63 100.0	217 100.0	311 100.0	456 100.0	512 100.0	683 100.0	698 100.0	237 100.0	28 100.0	1,394 100.0	1,760 100.0	51 100.0	3,205 100.0

《学童思春期：中学生・高校生》

- 【全体】現在の健康への不安感については「全くない」が58.6%で最も高く、次いで「少ししかない」が27.5%、「いくらかある」が12.0%である。
『不安あり群』は13.8%である。
- 【年代】全学年を通して「全くない」が最も高い。
『不安あり群』は中学生が15.6%、高校生が12.5%である。
- 【性別】男性は「全くない」が62.7%で最も高く、次いで「少ししかない」が26.1%、「いくらかある」が9.5%である。女性は「全くない」が54.3%で最も高く、次いで「少ししかない」が29.0%、「いくらかある」が14.8%である。
『不安あり群』は男性が11.2%、女性が16.7%である。

〈図表 136〉現在の健康への不安感（学童思春期：中学生・高校生）年齢階級・性別
（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	中学生	高校生	男性	女性	無回答	全体数
全くない	316 55.2	453 61.2	430 62.7	337 54.3	2 40.0	769 58.6
少ししかない	167 29.2	194 26.2	179 26.1	180 29.0	2 40.0	361 27.5
いくらかある	77 13.5	81 10.9	65 9.5	92 14.8	1 20.0	158 12.0
たくさんある	8 1.4	7 0.9	7 1.0	8 1.3	0 0.0	15 1.1
非常にある	4 0.7	5 0.7	5 0.7	4 0.6	0 0.0	9 0.7
無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
計	572 100.0	740 100.0	686 100.0	621 100.0	5 100.0	1,312 100.0

②不安に思う内容（不安が「いくらかある」「たくさんある」「非常にある」のみ）

《一般》

設問 それほどのようなことですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|---------------|-----------|------------|
| 1. 身体のこと | 2. 食べ物のこと | 3. 日常生活のこと |
| 4. 仕事（経済面）のこと | 5. 家族のこと | 6. その他 |

【全体】不安に思う内容は「食べ物のこと」が64.9%で最も高く、次いで「身体のこと」が52.9%、「家族のこと」が29.1%である。

【年代】40歳代以下は「身体のこと」、50歳以上は「食べ物のこと」が最も高い。

【性別】男性は「食べ物のこと」が62.1%で最も高く、次いで「身体のこと」が50.1%、「日常生活のこと」が29.9%である。女性は「食べ物のこと」が66.7%で最も高く、次いで「身体のこと」が55.3%、「家族のこと」が29.8%である。

〈図表 137〉 不安に思う内容（一般） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
身体のこと	20 76.9	102 77.9	161 69.1	226 62.1	228 55.7	261 48.2	219 39.8	73 40.3	10 45.5	506 50.1	782 55.3	12 35.3	1,300 52.9
食べ物のこと	9 34.6	51 38.9	136 58.4	204 56.0	235 57.5	394 72.8	423 76.9	130 71.8	12 54.5	627 62.1	943 66.7	24 70.6	1,594 64.9
日常生活のこと	4 15.4	20 15.3	54 23.2	87 23.9	77 18.8	152 28.1	160 29.1	52 28.7	9 40.9	302 29.9	303 21.4	10 29.4	615 25.0
仕事（経済面）のこと	2 7.7	14 10.7	30 12.9	40 11.0	55 13.4	60 11.1	45 8.2	12 6.6	2 9.1	152 15.1	103 7.3	5 14.7	260 10.6
家族のこと	2 7.7	16 12.2	93 39.9	141 38.7	142 34.7	139 25.7	135 24.5	42 23.2	5 22.7	286 28.3	421 29.8	8 23.5	715 29.1
その他	3 11.5	10 7.6	12 5.2	23 6.3	37 9.0	42 7.8	35 6.4	9 5.0	0 0.0	80 7.9	89 6.3	2 5.9	171 7.0
無回答	0 0.0	0 0.0	3 1.3	6 1.6	3 0.7	7 1.3	10 1.8	5 2.8	0 0.0	6 0.6	27 1.9	1 2.9	34 1.4
計	26 100.0	131 100.0	233 100.0	364 100.0	409 100.0	541 100.0	550 100.0	181 100.0	22 100.0	1,009 100.0	1,414 100.0	34 100.0	2,457 100.0

《学童思春期：中学生・高校生》

設問 それはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------|-------------------|
| 1. 身体のこと | 2. 食べ物のこと |
| 3. 日常生活のこと | 4. 将来のこと（進学・就職など） |
| 5. 家族のこと | 6. その他 |

【全体】不安に思う内容は「身体のこと」が47.3%で最も高く、次いで「食べ物のこと」「日常生活のこと」がともに24.3%、「将来のこと（進学・就職など）」が17.9%である。

【年代】全学年を通して「身体のこと」が最も高く、中学生は46.1%、高校生は48.4%となっている。

【性別】男性は「身体のこと」が44.9%で最も高く、次いで「食べ物のこと」「日常生活のこと」がともに24.2%、「将来のこと（進学・就職など）」が18.0%である。女性は「身体のこと」が50.0%で最も高く、次いで「食べ物のこと」「日常生活のこと」がともに24.6%、「将来のこと（進学・就職など）」が17.3%である。

〈図表 138〉不安に思う内容（学童思春期：中学生・高校生） 年齢階級・性別
（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	中学生	高校生	男性	女性	無回答	全体数
身体のこと	118 46.1	139 48.4	115 44.9	142 50.0	0 0.0	257 47.3
食べ物のこと	70 27.3	62 21.6	62 24.2	70 24.6	0 0.0	132 24.3
日常生活のこと	69 27.0	63 22.0	62 24.2	70 24.6	0 0.0	132 24.3
将来のこと（進学・就職など）	45 17.6	52 18.1	46 18.0	49 17.3	2 66.7	97 17.9
家族のこと	41 16.0	23 8.0	26 10.2	38 13.4	0 0.0	64 11.8
その他	26 10.2	46 16.0	34 13.3	37 13.0	1 33.3	72 13.3
無回答	15 5.9	6 2.1	12 4.7	9 3.2	0 0.0	21 3.9
計	256 100.0	287 100.0	256 100.0	284 100.0	3 100.0	543 100.0

15 「新型コロナウイルス感染拡大前」と「現在」を比べての生活の変化について

(1) 「新型コロナウイルス感染拡大前」と「現在」を比べての生活の変化について（一般のみ）

①体重

設問 生活の変化について、次の項目でそれぞれあてはまるもの1つに○をつけてください。

<体重>

1. 増えた 2. 変わらない 3. 減った

【全体】 体重の変化については「変わらない」が64.3%で最も高く、次いで「増えた」が23.2%、「減った」が10.0%である。

【年代】 全年代を通して「変わらない」が最も高い。

【性別】 男性は「変わらない」が69.9%で最も高く、次いで「増えた」が17.6%、「減った」が10.5%である。女性は「変わらない」が59.9%で最も高く、次いで「増えた」が27.9%、「減った」が9.7%である。

〈図表 139〉 体重の変化（一般） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
増えた	17 27.0	57 26.3	106 34.1	130 28.5	140 27.3	154 22.5	105 15.0	33 13.9	3 10.7	245 17.6	491 27.9	9 17.6	745 23.2
変わらない	33 52.4	124 57.1	164 52.7	273 59.9	325 63.5	465 68.1	497 71.2	157 66.2	24 85.7	974 69.9	1,054 59.9	34 66.7	2,062 64.3
減った	12 19.0	34 15.7	40 12.9	46 10.1	44 8.6	55 8.1	67 9.6	23 9.7	1 3.6	146 10.5	171 9.7	5 9.8	322 10.0
無回答	1 1.6	2 0.9	1 0.3	7 1.5	3 0.6	9 1.3	29 4.2	24 10.1	0 0.0	29 2.1	44 2.5	3 5.9	76 2.4
計	63 100.0	217 100.0	311 100.0	456 100.0	512 100.0	683 100.0	698 100.0	237 100.0	28 100.0	1,394 100.0	1,760 100.0	51 100.0	3,205 100.0

② 1週間の運動日数

設問 生活の変化について、次の項目でそれぞれあてはまるもの1つに○をつけてください。

< 1週間の運動日数 >

1. 増えた 2. 変わらない 3. 減った 4. もともとない

【全体】1週間の運動日数の変化については「変わらない」が53.3%で最も高く、次いで「減った」が19.1%、「もともとない」が18.3%である。

【年代】全年代を通して「変わらない」が最も高い。

【性別】男性は「変わらない」が57.7%で最も高く、次いで「もともとない」が16.9%、「減った」が16.6%である。女性は「変わらない」が49.7%で最も高く、次いで「減った」が21.3%、「もともとない」が19.5%である。

〈図表 140〉 1週間の運動日数の変化（一般） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（％））

区分	18・ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 79歳	80～ 84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
増えた	10 15.9	23 10.6	34 10.9	46 10.1	31 6.1	28 4.1	22 3.2	4 1.7	1 3.6	82 5.9	114 6.5	3 5.9	199 6.2
変わらない	24 38.1	103 47.5	152 48.9	248 54.4	260 50.8	383 56.1	397 56.9	125 52.7	16 57.1	805 57.7	875 49.7	28 54.9	1,708 53.3
減った	19 30.2	53 24.4	68 21.9	68 14.9	98 19.1	121 17.7	140 20.1	44 18.6	2 7.1	231 16.6	374 21.3	8 15.7	613 19.1
もともとない	9 14.3	36 16.6	56 18.0	88 19.3	119 23.2	141 20.6	97 13.9	34 14.3	8 28.6	236 16.9	344 19.5	8 15.7	588 18.3
無回答	1 1.6	2 0.9	1 0.3	6 1.3	4 0.8	10 1.5	42 6.0	30 12.7	1 3.6	40 2.9	53 3.0	4 7.8	97 3.0
計	63 100.0	217 100.0	311 100.0	456 100.0	512 100.0	683 100.0	698 100.0	237 100.0	28 100.0	1,394 100.0	1,760 100.0	51 100.0	3,205 100.0

③運動を行う日の平均運動時間

設問 生活の変化について、次の項目でそれぞれあてはまるもの1つに○をつけてください。

<運動を行う日の平均運動時間>

1. 増えた 2. 変わらない 3. 減った 4. もともとない

【全体】運動を行う日の平均運動時間の変化については「変わらない」が52.7%で最も高く、次いで「もともとない」が20.0%、「減った」が18.6%である。

【年代】全年代を通して「変わらない」が最も高い。

【性別】男性は「変わらない」が56.5%で最も高く、次いで「もともとない」が18.8%、「減った」が16.9%である。女性は「変わらない」が49.5%で最も高く、次いで「もともとない」が21.1%、「減った」が20.0%である。

〈図表 141〉 運動を行う日の平均運動時間の変化（一般） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
増えた	10 15.9	19 8.8	29 9.3	42 9.2	31 6.1	23 3.4	15 2.1	2 0.8	1 3.6	68 4.9	102 5.8	2 3.9	172 5.4
変わらない	25 39.7	111 51.2	160 51.4	242 53.1	251 49.0	371 54.3	390 55.9	123 51.9	16 57.1	788 56.5	872 49.5	29 56.9	1,689 52.7
減った	19 30.2	49 22.6	58 18.6	67 14.7	96 18.8	121 17.7	138 19.8	47 19.8	1 3.6	235 16.9	352 20.0	9 17.6	596 18.6
もともとない	8 12.7	36 16.6	63 20.3	97 21.3	131 25.6	155 22.7	107 15.3	35 14.8	8 28.6	262 18.8	371 21.1	7 13.7	640 20.0
無回答	1 1.6	2 0.9	1 0.3	8 1.8	3 0.6	13 1.9	48 6.9	30 12.7	2 7.1	41 2.9	63 3.6	4 7.8	108 3.4
計	63 100.0	217 100.0	311 100.0	456 100.0	512 100.0	683 100.0	698 100.0	237 100.0	28 100.0	1,394 100.0	1,760 100.0	51 100.0	3,205 100.0

④飲酒の頻度

設問 生活の変化について、次の項目でそれぞれあてはまるもの1つに○をつけてください。

<飲酒の頻度>

1. 増えた 2. 変わらない 3. 減った 4. もともとない

【全体】飲酒の頻度の変化については「もともとない」が43.0%で最も高く、次いで「変わらない」が36.4%、「減った」が11.1%、「増えた」が5.1%である。

【年代】40歳代、50歳代は「変わらない」が最も高く、その他の年代は「もともとない」が最も高い。

【性別】男性は「変わらない」が47.3%で最も高く、次いで「もともとない」が29.6%「減った」が12.9%である。女性は「もともとない」が53.8%で最も高く、次いで「変わらない」が27.6%、「減った」が9.8%である。

〈図表 142〉 飲酒の頻度の変化（一般） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（％））

区分	18・ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 79歳	80～ 84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
増えた	1 1.6	19 8.8	34 10.9	37 8.1	35 6.8	25 3.7	11 1.6	1 0.4	1 3.6	86 6.2	78 4.4	0 0.0	164 5.1
変わらない	1 1.6	67 30.9	104 33.4	187 41.0	232 45.3	271 39.7	238 34.1	56 23.6	11 39.3	659 47.3	485 27.6	23 45.1	1,167 36.4
減った	1 1.6	54 24.9	46 14.8	63 13.8	64 12.5	69 10.1	39 5.6	16 6.8	4 14.3	180 12.9	172 9.8	4 7.8	356 11.1
もともとない	57 90.5	75 34.6	126 40.5	164 36.0	173 33.8	299 43.8	346 49.6	126 53.2	11 39.3	412 29.6	947 53.8	18 35.3	1,377 43.0
無回答	3 4.8	2 0.9	1 0.3	5 1.1	8 1.6	19 2.8	64 9.2	38 16.0	1 3.6	57 4.1	78 4.4	6 11.8	141 4.4
計	63 100.0	217 100.0	311 100.0	456 100.0	512 100.0	683 100.0	698 100.0	237 100.0	28 100.0	1,394 100.0	1,760 100.0	51 100.0	3,205 100.0

⑤ 1日当たりの飲酒の量

設問 生活の変化について、次の項目でそれぞれあてはまるもの1つに○をつけてください。

<1日当たりの飲酒の量>

1. 増えた 2. 変わらない 3. 減った 4. もともとない

【全体】 1日当たりの飲酒の量の変化については「もともとない」が44.0%で最も高く、次いで「変わらない」が37.7%、「減った」が9.9%、「増えた」が4.0%である。

【年代】 20歳代、40歳代、50歳代は「変わらない」が最も高く、その他の年代は「もともとない」が最も高い。

【性別】 男性は「変わらない」が50.2%で最も高く、次いで「もともとない」が29.8%「減った」が11.3%である。女性は「もともとない」が55.6%で最も高く、次いで「変わらない」が27.6%、「減った」が8.6%である。

〈図表 143〉 1日当たりの飲酒の量の変化（一般） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	18・ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 79歳	80～ 84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
増えた	0 0.0	12 5.5	24 7.7	26 5.7	38 7.4	16 2.3	11 1.6	0 0.0	0 0.0	66 4.7	60 3.4	1 2.0	127 4.0
変わらない	3 4.8	80 36.9	118 37.9	193 42.3	237 46.3	286 41.9	224 32.1	55 23.2	12 42.9	700 50.2	486 27.6	22 43.1	1,208 37.7
減った	1 1.6	45 20.7	31 10.0	55 12.1	52 10.2	59 8.6	49 7.0	19 8.0	5 17.9	157 11.3	152 8.6	7 13.7	316 9.9
もともとない	55 87.3	79 36.4	137 44.1	174 38.2	179 35.0	303 44.4	350 50.1	124 52.3	10 35.7	416 29.8	978 55.6	17 33.3	1,411 44.0
無回答	4 6.3	1 0.5	1 0.3	8 1.8	6 1.2	19 2.8	64 9.2	39 16.5	1 3.6	55 3.9	84 4.8	4 7.8	143 4.5
計	63 100.0	217 100.0	311 100.0	456 100.0	512 100.0	683 100.0	698 100.0	237 100.0	28 100.0	1,394 100.0	1,760 100.0	51 100.0	3,205 100.0

⑥喫煙の頻度

設問 生活の変化について、次の項目でそれぞれあてはまるもの1つに○をつけてください。

<喫煙の頻度>

1. 増えた 2. 変わらない 3. 減った 4. もともとない

【全体】喫煙の頻度の変化については「もともとない」が73.4%で最も高く、次いで「変わらない」が15.4%、「減った」が2.1%、「増えた」が1.6%である。

【年代】全年代を通して「もともとない」が最も高い。

【性別】男性は「もともとない」が62.5%で最も高く、次いで「変わらない」が23.8%、「減った」が3.3%である。女性は「もともとない」が82.5%で最も高く、次いで「変わらない」が8.6%、「増えた」「減った」がともに1.0%である。

〈図表 144〉喫煙の頻度の変化（一般） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	18・ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 79歳	80～ 84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
増えた	0 0.0	8 3.7	13 4.2	11 2.4	12 2.3	6 0.9	2 0.3	0 0.0	0 0.0	34 2.4	18 1.0	0 0.0	52 1.6
変わらない	0 0.0	35 16.1	71 22.8	100 21.9	96 18.8	113 16.5	58 8.3	13 5.5	8 28.6	332 23.8	152 8.6	10 19.6	494 15.4
減った	0 0.0	6 2.8	5 1.6	11 2.4	9 1.8	20 2.9	12 1.7	3 1.3	0 0.0	46 3.3	18 1.0	2 3.9	66 2.1
もともとない	60 95.2	167 77.0	220 70.7	323 70.8	378 73.8	498 72.9	526 75.4	163 68.8	16 57.1	871 62.5	1,452 82.5	28 54.9	2,351 73.4
無回答	3 4.8	1 0.5	2 0.6	11 2.4	17 3.3	46 6.7	100 14.3	58 24.5	4 14.3	111 8.0	120 6.8	11 21.6	242 7.6
計	63 100.0	217 100.0	311 100.0	456 100.0	512 100.0	683 100.0	698 100.0	237 100.0	28 100.0	1,394 100.0	1,760 100.0	51 100.0	3,205 100.0

⑦睡眠時間

設問 生活の変化について、次の項目でそれぞれあてはまるもの1つに○をつけてください。

<睡眠時間>

1. 増えた 2. 変わらない 3. 減った

【全体】睡眠時間の変化については「変わらない」が77.0%で最も高く、次いで「減った」が13.4%、「増えた」が5.1%である。

【年代】全年代を通して「変わらない」が最も高い。

【性別】男性は「変わらない」が80.4%で最も高く、次いで「減った」が11.3%、「増えた」が4.6%である。女性は「変わらない」が74.3%で最も高く、次いで「減った」が15.1%、「増えた」が5.7%である。

〈図表 145〉睡眠時間の変化（一般） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（％））

区分	18・ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 79歳	80～ 84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
増えた	9 14.3	29 13.4	22 7.1	30 6.6	23 4.5	26 3.8	18 2.6	7 3.0	0 0.0	64 4.6	100 5.7	0 0.0	164 5.1
変わらない	40 63.5	157 72.4	237 76.2	351 77.0	402 78.5	546 79.9	550 78.8	159 67.1	25 89.3	1,121 80.4	1,307 74.3	39 76.5	2,467 77.0
減った	12 19.0	25 11.5	48 15.4	65 14.3	81 15.8	85 12.4	79 11.3	33 13.9	1 3.6	158 11.3	265 15.1	6 11.8	429 13.4
無回答	2 3.2	6 2.8	4 1.3	10 2.2	6 1.2	26 3.8	51 7.3	38 16.0	2 7.1	51 3.7	88 5.0	6 11.8	145 4.5
計	63 100.0	217 100.0	311 100.0	456 100.0	512 100.0	683 100.0	698 100.0	237 100.0	28 100.0	1,394 100.0	1,760 100.0	51 100.0	3,205 100.0

⑧社会活動・人とのつながり

設問 生活の変化について、次の項目でそれぞれあてはまるもの1つに○をつけてください。

＜社会活動・人とのつながり＞

1. 増えた 2. 変わらない 3. 減った

【全体】社会活動・人とのつながりの変化については「減った」が54.4%で最も高く、次いで「変わらない」が39.7%、「増えた」が1.8%である。

【年代】70歳代以下は「減った」が最も高く、80～84歳は「変わらない」「減った」がともに41.4%で最も高い。

【性別】男性は「減った」が48.9%で最も高く、次いで「変わらない」が46.8%、「増えた」が1.5%である。女性は「減った」が59.3%で最も高く、次いで「変わらない」が33.7%、「増えた」が2.2%である。

〈図表 146〉社会活動・人とのつながりの変化（一般） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
増えた	10 15.9	11 5.1	10 3.2	10 2.2	1 0.2	7 1.0	7 1.0	2 0.8	1 3.6	21 1.5	38 2.2	0 0.0	59 1.8
変わらない	22 34.9	78 35.9	102 32.8	169 37.1	207 40.4	282 41.3	302 43.3	98 41.4	13 46.4	652 46.8	593 33.7	28 54.9	1,273 39.7
減った	30 47.6	124 57.1	195 62.7	269 59.0	300 58.6	373 54.6	343 49.1	98 41.4	11 39.3	681 48.9	1,043 59.3	19 37.3	1,743 54.4
無回答	1 1.6	4 1.8	4 1.3	8 1.8	4 0.8	21 3.1	46 6.6	39 16.5	3 10.7	40 2.9	86 4.9	4 7.8	130 4.1
計	63 100.0	217 100.0	311 100.0	456 100.0	512 100.0	683 100.0	698 100.0	237 100.0	28 100.0	1,394 100.0	1,760 100.0	51 100.0	3,205 100.0

⑨経済（収入）

設問 生活の変化について、次の項目でそれぞれあてはまるもの1つに○をつけてください。

<経済（収入）>

1. 増えた 2. 変わらない 3. 減った

【全体】経済（収入）の変化については「変わらない」が66.4%で最も高く、次いで「減った」が26.5%、「増えた」が2.4%である。

【年代】全年代を通して「変わらない」が最も高い。

【性別】男性は「変わらない」が65.4%で最も高く、次いで「減った」が28.8%、「増えた」が2.3%である。女性は「変わらない」が67.4%で最も高く、次いで「減った」が24.4%、「増えた」が2.5%である。

〈図表 147〉経済（収入）の変化（一般） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
増えた	9 14.3	20 9.2	17 5.5	17 3.7	4 0.8	4 0.6	6 0.9	0 0.0	0 0.0	32 2.3	44 2.5	1 2.0	77 2.4
変わらない	36 57.1	139 64.1	207 66.6	312 68.4	358 69.9	433 63.4	482 69.1	144 60.8	17 60.7	912 65.4	1,187 67.4	29 56.9	2,128 66.4
減った	15 23.8	54 24.9	83 26.7	118 25.9	145 28.3	219 32.1	156 22.3	51 21.5	7 25.0	402 28.8	429 24.4	17 33.3	848 26.5
無回答	3 4.8	4 1.8	4 1.3	9 2.0	5 1.0	27 4.0	54 7.7	42 17.7	4 14.3	48 3.4	100 5.7	4 7.8	152 4.7
計	63 100.0	217 100.0	311 100.0	456 100.0	512 100.0	683 100.0	698 100.0	237 100.0	28 100.0	1,394 100.0	1,760 100.0	51 100.0	3,205 100.0

16 感染予防対策として取り組んでいること

(1) 感染予防対策として取り組んでいること（一般のみ）

設問 感染予防対策として、現在取り組んでいることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|--------------|-------------|------------|
| 1. 体温測定 | 2. 人との距離をとる | 3. マスクの着用 |
| 4. 手洗い・消毒 | 5. 室内の換気 | 6. 人混みを避ける |
| 7. 発熱以外の体調確認 | 8. その他 | |

【全体】感染予防対策としては「マスクの着用」が96.9%で最も高く、次いで「手洗い・消毒」が92.7%、「人混みを避ける」が80.0%、「人との距離をとる」が68.4%である。

【年代】18・19歳は「マスクの着用」「手洗い・消毒」が最も高い。他の年代では「マスクの着用」が最も高い。

【性別】男性は「マスクの着用」が96.0で最も高く、次いで「手洗い・消毒」が89.0%、「人混みを避ける」が74.0%、「人との距離をとる」が60.8%である。女性は「マスクの着用」が97.7で最も高く、次いで「手洗い・消毒」が95.6%、「人混みを避ける」が85.3%、「人との距離をとる」が74.5%である。

〈図表 148〉感染予防対策として取り組んでいること（一般） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（％））

区分	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
体温測定	36 57.1	115 53.0	191 61.4	302 66.2	309 60.4	348 51.0	296 42.4	101 42.6	14 50.0	699 50.1	986 56.0	27 52.9	1,712 53.4
人との距離をとる	35 55.6	124 57.1	216 69.5	332 72.8	359 70.1	488 71.4	473 67.8	146 61.6	20 71.4	848 60.8	1,311 74.5	34 66.7	2,193 68.4
マスクの着用	61 96.8	211 97.2	309 99.4	447 98.0	507 99.0	669 98.0	657 94.1	219 92.4	25 89.3	1,338 96.0	1,720 97.7	47 92.2	3,105 96.9
手洗い・消毒	61 96.8	204 94.0	297 95.5	427 93.6	478 93.4	645 94.4	627 89.8	209 88.2	23 82.1	1,241 89.0	1,683 95.6	47 92.2	2,971 92.7
室内の換気	31 49.2	104 47.9	176 56.6	262 57.5	299 58.4	388 56.8	396 56.7	136 57.4	14 50.0	660 47.3	1,120 63.6	26 51.0	1,806 56.3
人混みを避ける	39 61.9	150 69.1	250 80.4	366 80.3	426 83.2	560 82.0	575 82.4	177 74.7	22 78.6	1,032 74.0	1,501 85.3	32 62.7	2,565 80.0
発熱以外の体調確認	15 23.8	64 29.5	91 29.3	137 30.0	150 29.3	180 26.4	158 22.6	51 21.5	6 21.4	284 20.4	562 31.9	6 11.8	852 26.6
その他	1 1.6	3 1.4	9 2.9	14 3.1	23 4.5	16 2.3	13 1.9	4 1.7	2 7.1	42 3.0	43 2.4	0 0.0	85 2.7
無回答	1 1.6	5 2.3	1 0.3	7 1.5	5 1.0	9 1.3	29 4.2	11 4.6	2 7.1	37 2.7	32 1.8	1 2.0	70 2.2
計	63 100.0	217 100.0	311 100.0	456 100.0	512 100.0	683 100.0	698 100.0	237 100.0	28 100.0	1,394 100.0	1,760 100.0	51 100.0	3,205 100.0

17 ソーシャルキャピタル

(1) 地域活動への参加（一般のみ）

①地域活動への参加

設問 何らかの地域活動に参加していますか。（あてはまるもの1つに○）

1. 参加している 2. 参加していない

【全体】地域活動に「参加している」は34.1%である。

【年代】全年代を通して「参加していない」が最も高い。20～79歳は年代が上がるにつれて「参加している」が高い。

【性別】「参加している」は男性が36.3%、女性が32.0%である。

〈図表 149〉地域活動への参加（一般） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	18・ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 79歳	80～ 84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
参加している	6 9.5	20 9.2	94 30.2	162 35.5	183 35.7	244 35.7	291 41.7	85 35.9	7 25.0	506 36.3	563 32.0	23 45.1	1,092 34.1
参加してない	56 88.9	196 90.3	216 69.5	290 63.6	327 63.9	436 63.8	385 55.2	144 60.8	20 71.4	867 62.2	1,177 66.9	26 51.0	2,070 64.6
無回答	1 1.6	1 0.5	1 0.3	4 0.9	2 0.4	3 0.4	22 3.2	8 3.4	1 3.6	21 1.5	20 1.1	2 3.9	43 1.3
計	63 100.0	217 100.0	311 100.0	456 100.0	512 100.0	683 100.0	698 100.0	237 100.0	28 100.0	1,394 100.0	1,760 100.0	51 100.0	3,205 100.0

②参加している地域活動の内容（地域活動に「参加している」のみ）

設問 それはどのようなことですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. お祭り | 2. 地区運動会 |
| 3. 地区文化祭 | 4. 老人クラブ活動 |
| 5. 清掃活動・廃品回収・側溝掃除 | 6. 防犯・防災・交通安全活動 |
| 7. 子ども会行事 | 8. 小中学校行事（PTA含む） |
| 9. いきいきももりん体操※ | 10. その他 |

※福島市版介護予防体操

【全体】参加している地域活動の内容は「清掃活動・廃品回収・側溝掃除」が66.8%で最も高く、次いで「お祭り」が19.1%、「小中学校行事（PTA含む）」が17.7%である。なお、「その他」は19.9%である。

【年代】18・19歳は「お祭り」、30歳代は「小中学校行事（PTA含む）」が最も高い。その他の年代は「清掃活動・廃品回収・側溝掃除」が最も高い。なお、「いきいきももりん体操」は70歳代が11.7%、80～84歳が20.0%である。

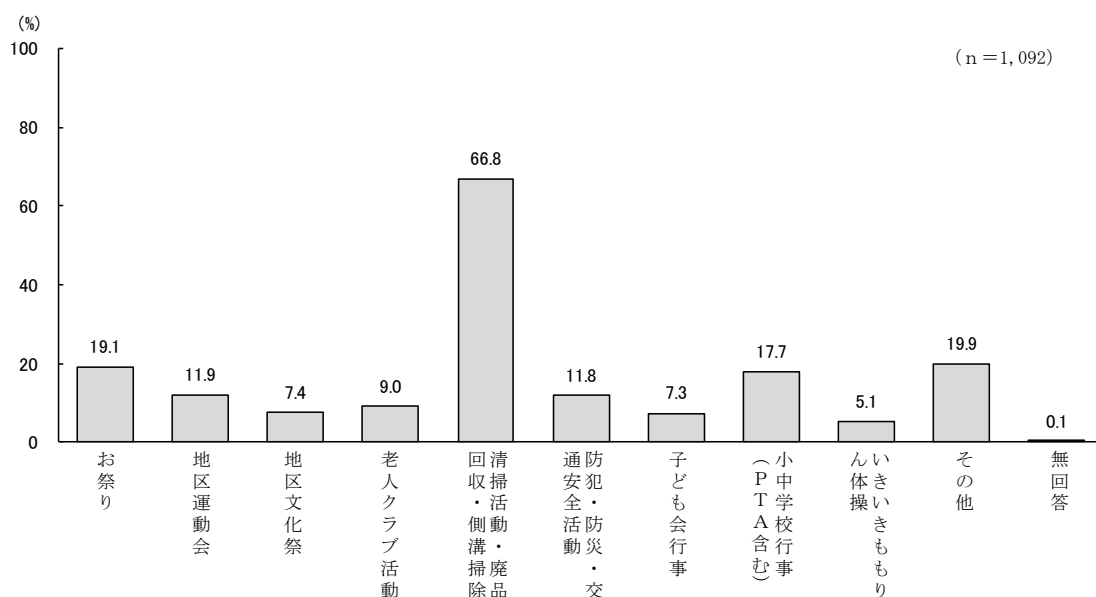
【性別】男性は「清掃活動・廃品回収・側溝掃除」が73.3%で最も高く、次いで「お祭り」が24.7%、「防犯・防災・交通安全活動」が18.0%である。女性は「清掃活動・廃品回収・側溝掃除」が60.7%で最も高く、次いで「小中学校行事（PTA含む）」が24.9%、「お祭り」が14.2%である。なお、「その他」は男性が21.5%、女性が19.0%である。

〈図表 150〉参加している地域活動の内容（一般） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
お祭り	5 83.3	9 45.0	16 17.0	44 27.2	34 18.6	52 21.3	38 13.1	9 10.6	2 28.6	125 24.7	80 14.2	4 17.4	209 19.1
地区運動会	1 16.7	2 10.0	12 12.8	29 17.9	25 13.7	34 13.9	23 7.9	4 4.7	0 0.0	77 15.2	50 8.9	3 13.0	130 11.9
地区文化祭	0 0.0	1 5.0	1 1.1	5 3.1	11 6.0	17 7.0	38 13.1	8 9.4	0 0.0	37 7.3	43 7.6	1 4.3	81 7.4
老人クラブ活動	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 1.2	2 1.1	9 3.7	54 18.6	30 35.3	1 14.3	42 8.3	53 9.4	3 13.0	98 9.0
清掃活動・廃品回収・側溝掃除	1 16.7	10 50.0	48 51.1	100 61.7	137 74.9	190 77.9	186 63.9	53 62.4	4 57.1	371 73.3	342 60.7	16 69.6	729 66.8
防犯・防災・交通安全活動	0 0.0	1 5.0	6 6.4	13 8.0	23 12.6	37 15.2	39 13.4	9 10.6	1 14.3	91 18.0	33 5.9	5 21.7	129 11.8
子ども会行事	0 0.0	0 0.0	26 27.7	36 22.2	10 5.5	4 1.6	2 0.7	2 2.4	0 0.0	35 6.9	45 8.0	0 0.0	80 7.3
小中学校行事（PTA含む）	0 0.0	3 15.0	57 60.6	96 59.3	23 12.6	6 2.5	5 1.7	1 1.2	2 28.6	52 10.3	140 24.9	1 4.3	193 17.7
いきいきももりん体操	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.6	1 0.5	3 1.2	34 11.7	17 20.0	0 0.0	12 2.4	42 7.5	2 8.7	56 5.1
その他	1 16.7	1 5.0	13 13.8	13 8.0	31 16.9	66 27.0	73 25.1	18 21.2	1 14.3	109 21.5	107 19.0	1 4.3	217 19.9
無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.2	0 0.0	0 0.0	1 0.2	0 0.0	1 0.1
計	6 100.0	20 100.0	94 100.0	162 100.0	183 100.0	244 100.0	291 100.0	85 100.0	7 100.0	506 100.0	563 100.0	23 100.0	1,092 100.0

〈図表 151〉 参加している地域活動の内容（一般） 全体／割合



(2) かかわりの程度（一般のみ）

設問 あなたは、地域の人とどの程度かかわりをもっていますか。（あてはまるもの1つに○）

1. 相談し合える人がいる
2. 立ち話をする人がいる
3. あいさつをする人がいる
4. つきあいはない

【全体】かかわりの程度については「あいさつをする人がいる」が36.4%で最も高く、次いで「立ち話をする人がいる」が30.2%、「つきあいはない」が16.6%である。

【年代】20歳代は「つきあいはない」が44.2%と他の年代に比べて高い。

【性別】男性は「あいさつをする人がいる」が40.2%で最も高く、次いで「立ち話をする人がいる」が27.0%、「つきあいはない」が19.0%である。女性は「あいさつをする人がいる」が33.5%で最も高く、次いで「立ち話をする人がいる」が32.8%、「相談し合える人がいる」が17.6%である。

〈図表 152〉 かかわりの程度（一般） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（%））

区分	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数												
	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数												
相談し合える人がいる	3	4.8	6	8.4	26	10.5	48	10.5	99	14.5	179	25.6	71	30.0	2	7.1	167	12.0	309	17.6	12	23.5	488	15.2	
立ち話をする人がいる	3	4.8	26	12.0	50	16.1	105	23.0	151	29.5	250	36.6	93	40.7	6	21.4	377	27.0	578	32.8	13	25.5	968	30.2	
あいさつをする人がいる	33	52.4	88	40.6	132	42.4	204	44.7	221	43.2	264	38.7	168	24.1	47	19.8	561	40.2	589	33.5	18	35.3	1,168	36.4	
つきあいはない	23	36.5	96	44.2	101	32.5	94	20.6	84	16.4	64	9.4	47	6.7	15	6.3	265	19.0	260	14.8	6	11.8	531	16.6	
無回答	1	1.6	1	0.5	2	0.6	5	1.1	2	0.4	6	0.9	20	2.9	11	4.6	24	1.7	24	1.4	2	3.9	50	1.6	
計	63	100.0	217	100.0	311	100.0	456	100.0	512	100.0	683	100.0	698	100.0	237	100.0	28	1,394	100.0	1,760	100.0	51	100.0	3,205	100.0

(3) 助け合いの程度（一般のみ）

設問 お住まいの地域は、困ったときにお互いに助け合っていると思いますか。（あてはまるもの1つに○）

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. 強くそう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. 全くそう思わない |

【全体】助け合いの程度については「どちらかといえばそう思う」が57.8%で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が22.3%、「全くそう思わない」が12.0%である。

『助け合っていると思う群（「強くそう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせたもの）』は63.3%である。

【年代】全年代を通して「どちらかといえばそう思う」が最も高い。

『助け合っていると思う群』は18・19歳が66.7%、60歳代が65.9%、70歳代が68.7%、80～84歳が76.8%である。

【性別】男性は「どちらかといえばそう思う」が56.0%で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が24.0%、「全くそう思わない」が13.3%である。女性は「どちらかといえばそう思う」が59.4%で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が21.2%、「全くそう思わない」が10.9%である。

『助け合っていると思う群』は男性が60.7%、女性が65.4%である。

〈図表 153〉 助け合いの程度（一般） 年齢階級・性別

（単位：上段人数（人）・下段割合（％））

区分	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～84歳	無回答	男性	女性	無回答	全体数
強くそう思う	3 4.8	3 1.4	13 4.2	17 3.7	20 3.9	32 4.7	49 7.0	38 16.0	1 3.6	65 4.7	106 6.0	5 9.8	176 5.5
どちらかといえば そう思う	39 61.9	111 51.2	153 49.2	255 55.9	289 56.4	418 61.2	431 61.7	144 60.8	13 46.4	781 56.0	1,045 59.4	27 52.9	1,853 57.8
どちらかといえば そう思わない	11 17.5	60 27.6	70 22.5	103 22.6	129 25.2	155 22.7	154 22.1	28 11.8	6 21.4	335 24.0	373 21.2	8 15.7	716 22.3
全くそう思わない	9 14.3	40 18.4	73 23.5	75 16.4	70 13.7	63 9.2	36 5.2	11 4.6	6 21.4	185 13.3	192 10.9	6 11.8	383 12.0
無回答	1 1.6	3 1.4	2 0.6	6 1.3	4 0.8	15 2.2	28 4.0	16 6.8	2 7.1	28 2.0	44 2.5	5 9.8	77 2.4
計	63 100.0	217 100.0	311 100.0	456 100.0	512 100.0	683 100.0	698 100.0	237 100.0	28 100.0	1,394 100.0	1,760 100.0	51 100.0	3,205 100.0

18 自由記載〈抜粋〉

(1) 自由記載（一般）

アンケートの最後に、自分自身や家族が幸せに過ごすために大切だと思うことを、この調査の意見を含め自由に発言していただける欄を設けたところ、1,420名の方から、2,336件の意見が寄せられた。意見内容を分類した結果は下表のとおりである。

no.	項目	件数	順位
1	健康全般について(規則正しい生活、生活習慣の改善等含む)	332	1
2	家族・友人等とのつながり	261	2
3	新型コロナウイルス感染症について	227	3
4	地域活動、地域の人とのつながり	134	4
5	栄養・食生活について	130	5
6	お金、各種手当について	128	6
7	こころの健康について	123	7
8	高齢者の健康について	102	8
9	生きがい・趣味について	66	9
10	身体活動・運動について	60	10
11	子育てを取り巻く環境の整備について	36	11
12	睡眠・休養について(早寝早起き含む)	25	12
13	放射線への不安について	22	13
14	こどもの健康について	7	14
15	喫煙について	6	15
16	肥満・メタボリックシンドロームについて	3	16
17	歯・口腔の健康について	1	17
18	その他	673	
合計		2,336	

以下に主な意見を抜粋し、掲載している。

- ・出来るだけ連絡を取り合う。LINEでもメールでも良いので。そして、時間を合わせる。言葉少なだった頃はうまくいっていなかった様に感じるので誰に対しても話す努力を忘れない。
- ・毎日1回は笑い合う(家族みんなで)。自分にとって都合が悪いことでも、何か訳があって、自分を成長させるためのことと受け入れて自分の体に感謝して支えられて生かされていることを忘れないで生活を送ることができればストレスも良い方向にとらえられ明るく前向きになれると思う。運動は大切なのでまずは歩くことからやるように努力しています。
- ・ワーク・ライフバランスを意識した日常を送ることが重要かと思います。仕事が忙しく、

家庭での生活が充実せず、という状況が続いているため仕事も日常生活もうまく回っていない気がします。

- ・他人と比べない生活をする。家族内で家事の分担はせず、できる者ができる事をし、お互いに感謝の気持ちを持つ。
- ・朝は必ず夫婦で「おはよう」「おはようございます」を言う。どんな小さな事にでも「幸せ」を感じられると、またそう意識して過ごすことが大切だと思う。
- ・家族内でいろんな出来事を話し合える雰囲気を作る事が大切である。又、相手の話を中断せず聞いてやる事も大事だと思う。健康の悩み事は早く解決するように努めることが大切であると思う。
- ・「いつも笑うこと！会話をすること！ありがとうの言葉を忘れない！」これが自分にとって家族にとっても大切だと思って毎日過ごしております！
- ・私が幸せに過ごすために心がけていることは、家族や友人と楽しくおしゃべりをしたり、たまに散歩をして気晴ししたりすることです。人と話すときは、思いやりをもって接するようにしています。気持ちが後ろ向きにならないようにポジティブに物事を考えるようにしています。
- ・近くに夫の両親がいるのですが、震災もあったし、コロナ流行の中でいろいろと不安なことがお互いにあるので、電話で話したりして、お互いの体を気遣い、勇気づけて生活することが大切だと思います。
- ・外出や遠出は減ったが、SNSや通話での友人とのコミュニケーションは以前より密になり、良い関係を築けているので、どんな状況であれ細やかなやり取りを切らさないことが大切だと感じている。
- ・コロナ禍の状況をきっかけに、これからの新しい生活方法を改善していく。
- ・コロナが落ち着き、家族が集まって食卓を囲んで、楽しい時間を過ごしたい。
- ・うちの場合、母がカレンダーに沿ったイベント、料理を必ず出してくれるので、とても楽しみであり、学べる事があります。3世代なので食べ物も比較的、野菜、煮物、魚が多く自分も肉より好きになりました。世代を超えて互いにいろんな話をする事が心のストレス解消につながると思います。
- ・やはり幸せに過ごすには「健康」が第一です。家族の中に一人でも病気の者がいると、そのケアのため次から次へ体調を崩すおそれがあります。家族の健康のためにも1人1人が健康管理に努めるということが大事だと思います。
- ・まず、健康です。娘の家族（孫も）の食事も作っているので、元気に大きく育ってくれる様に、かなり大きな家庭菜園を楽しみ、収穫し食事に野菜たっぷり使って調理します。おかげでみんな野菜好き、魚好き、肉好きの家族です。
- ・健康こそが何よりの節約、というのが夫婦の相言葉です。家庭菜園で採れた野菜を存分に食べ、友人にもおすそわけして交友を持っています。働けるうちは、いつまでも社会とのつながりを持っていたいと思うので、この先も無理のない範囲で仕事を続けたいと思う。
- ・家族が健康でいること、健康のために食事に気をつける、家族の会話を大切にする、お互いに思いやりの心を持つこと。ありがとう、ごめんなさいを素直に言えること。
- ・原発事故、コロナ禍等、思いもよらぬことで健康を保つことができない状況があることがわかった。自分の健康は自分で守る、そのための知識をこれからも学んでいければと思う。学んだことは実践し、家族の健康維持にも役立てていければと思います。
- ・自分の体調だけでなく、まわりの人たちの事も気にかけて、適度な距離感で接していく。人とのつながりを大切にする。
- ・ひとり暮らしなので、健康に気を配りながら、無理をせず出来る範囲で人との関わりを持ち、家にこもらず行動していくことで心を穏やかに健康に生活していくことが良いことかなと思っています。
- ・家族が健康で生きがいを見い出せるように、食育（食事）に留意している。自己実現できる趣味等をお互いに尊重している。

- ・20年前より毎日2～3時間難問ナンプレに挑戦しています。
- ・家族を大切にしている。子供達、孫達と仲良く楽しく過ごしている（孫達の成長を見るのが楽しい）。趣味を楽しんでいる（お花、キルト、お菓子づくり）。
- ・生きがいや趣味などがあれば、生き易くなる、幸せを感じる。
- ・仕事は真剣に、遊びは、やりたい事をとことん楽しむ。
- ・私は家庭菜園で野菜作りをしています。夫も耕す方を手伝ってくれるようになりました。おいしい野菜を作り、友人、近所の人にあげています。おいしかったよ、と一言で幸せを感じます。これからは運動の方もがんばります。
- ・夫婦で出かけたり、おいしい物食べたり、お互いに思いやりを持って過ごせることが幸せです。
- ・私は高齢ですが、何でもほとんど自分でやっております。例えば庭木の手入れや買い物、車の運転等です。時々にはストレスも感じますが、ご近所の奥様達とお茶を飲んだり（今はコロナであまりしません）して、ストレス解消したりしております。みんなで笑えばまた力が湧いてきます。そういう意味で、お友達は非常に大切だと思っております。
- ・寿命が50歳ほどだった昔と違い、今や医学も進歩し、人生100年時代、60（65）歳定年だからと、周りも老人扱いするのではなく、そこからの40年間私達はいかに生き生きと笑顔で心豊かに生きがいをもって生きていけるか。最後まで自分のことは自分でやるように健康で仕事やボランティア活動など社会にいかに関与できるか、次の世代により良いモデルとなれるかどうか。戦後、比較的平和で経済的に発展を遂げてきた中で育つことができた私達は問われているように思います。
- ・とにかく健康寿命を伸ばすことを第一に考えている。そのためには、フレイルや認知症にならない様に、週3回はジムでトレーニングをし、毎朝50分位はウォーキングをし、読書を欠かさないように努めている。
- ・単身高齢なので、遠方の子供達と1日に1回はメールで連絡を取り合っている（孤独感が無い）。大病をした事があるので、現在の健康を維持する事。毎日1つでいいから、小さな楽しみを作るか、何かに感動する。
- ・“この町に住んで良かった”と思えるような、御近所との連帯システム。
- ・コロナ禍の前も後も（近い将来）、茶話会（サロン）等自由に集まれる場所が必要。学習センターまで徒歩3～40分（当地域の避難所にもなっている）隣の集落（当地域に集会所がない）の集会所まで15～20分。後期高齢者が気軽に行ける場所がありません。
- ・孤独死を迎えないために、社会から孤立しないよう心掛けている。万が一最悪の状態になったとしても、早期発見してもらえよう工夫が必要。個人の努力には限界があるので、残りの人生の課題であると思っている。
- ・高齢化が進行する中で、いかに良好な地域コミュニティを確保し、共助の理念を担保するかが重要である。
- ・助け合いの心。1人暮らしの老人に月に1度、おかず作りの会を数名で行っている。おかずを届け安否を気づかう。自ら社会参加し、積極的に行動。自身の健康を心がける。
- ・防犯・防災等の事もあるので、地区の人との関わりを大切にしたいと思います。当地区も高齢化の家庭が多くなっているのではなさらず。
- ・地域のコミュニケーション作り、立ち寄り所、井戸端会議の出来る地域づくりが、これからは生きがいづくりもかねて必要だと思う。
- ・新型コロナ感染防止を、自分自身や家族とやれる事をしっかりと行い、町内会や地域の方々と関わりを持って生活していきたいと思っております。
- ・隣近所の繋がり希薄化が最近強くなったように感じている。
- ・家族と出かける場所がない。子供との思い出作りがなかなかできないのがさみしく思う。早くコロナが終息してほしい。ですが、逆になかなか外での活動ができないため家族が家で過ごす時間が多くなった。会話することも増えたし、悪いことばかりではない。
- ・子供（幼児）を持つ母親の就業時間を定刻内に収められる様、勤務配置を考えてほしい。

残業をしなくとも良い配属（保育所に預けているため）。

- ・夫婦関係や親子関係に注意して、他者の立場に立って理解し合い毎日を過ごすことだと思っています。特に子育てでは、子供を自分の所有物にしないで尊び、我がままに育てないようにかわり人生の土台を作ってあげることが必要だと思っています。
- ・若い人や子供達に会っても挨拶がないのが淋しい。近所の子供達や若者がどの家の方かわからないのが多く、近所のつながり、家族の会話があったら楽しい。
- ・子供がもっと多くなってほしい。周り（近所、公園など）から子供の声や姿が少なくなった事に将来への不安を感じる。
- ・世代を越えて楽しめる活動（スポーツ、文化等すべて）の場所と指導者があれば、楽しいのかなと思います。私自身は一人で過ごすのが好きですが。
- ・この調査を役に立ててほしいと思います。毎日、朝のラジオ体操と30分程度の散歩を日課にして、健康を心がけています。
- ・ウォーキング等の遊歩道が、各地区に整備されるといいと思う。
- ・高齢者となって今考える事は、いつまでも自分の事は自分で出来るように、食事やスポーツを取り入れ、迷惑をかけないようにしていきたいです。私は毎日のように1時間の水泳やダンスをして毎日決まった時間に食事をしています。寝る時間も決まっています。
- ・自産自消：運動がてらに家庭菜園始めました。旬の野菜を食べるように心掛けました。
- ・「食生活、運動の大切さ」を痛切に感じています。今年に入って腰・膝に痛みが出て、ラジオ体操など休んでいます。老老介護の生活にならないように、お互いに注意しながら生活していきたいと思います。ありがとうございました。
- ・幸せは健康あってのこと。自分に合った無理のない生活をして（その中に運動、食事、趣味など含む）穏やかな毎を送りたいと思います。
- ・コロナの影響で運動する機会が減った。時間を見ついたり工夫したりして、少しでも運動時間を確保したい。
- ・無意識にためてしまっているストレスをはき出し、聞いてくれる相手がいる事はとても大事だと思う。お互いに心が軽くなれる存在でありたいと思う。
- ・コロナで、人とのつながりが心身共に大事なこと。あたりまえのことができないのはつらいですね。
- ・学校を含めて、ストレス社会だと感じる。子供のストレスや不登校などがもっとなくなってくることが希望です。
- ・親の介護でストレスを感じている毎日で、自分の時間を作れない現在、友だちとのメール交換がストレス解消の一つになっているように思います。本心で話し合える友達をつくるのが大切だと思います。
- ・コロナ禍で仕事量が増えストレスが多くなったが、健康管理に対する意識がupしました。各個人個人が注意することで早く終息することを願っています。感染対策に関する意識を若い世代にも持っていただければと思います。
- ・身体の健康も大切ですが、一番は心の健康だと思います。コロナも早く収束して、笑顔で過ごせるといいですね。みんなが幸せでありますように。
- ・他県の人々から、福島県出身ということで子ども達が将来差別されないか不安（結婚などで）。
- ・県外の人に、福島県人であることを伝えづらい気持ちがある。子供達のためにも、何か改善できたら良いと思う。
- ・東日本大震災に伴う原子力発電所の放射線の影響や処理水の行方、新型コロナウイルスの収束の仕事（経済面など）や地域における人とのつながり（介護や1人暮らしの方への安否確認など）気軽に話せることができる地域がいいのではないのでしょうか。
- ・東日本大震災により、福島は、日本はもとより世界中の人々が知るところとなりました。将来には、プラスの印象を持つ人々が増えるような工夫を考え、積極的に行動することが今大切だと思います。一個人ですが、このようなことを考えながら次世代の福島の人々へ

と継いでいきたいと思っております。

- ・放射線、コロナを気にせず過ごせるようになりたい。
- ・食育や健康に関する事を、小さい時から学校などでも教えていただきたいと思えます。
- ・これからの社会を担う子供達のためにできる事、それから、子供を産んで育てられる環境、産休や育休などの取りやすい社会になってほしい。子供が増えることは幸せに繋がると思う。
- ・いろんな物にあふれている社会になってしまったので、何が身体にいいものなのかを学べる機会を小さい時から持てれば、食育を考えられるのではないか。
- ・何でもいいので話を聞いてくれる存在はとても大切だと思う。子供にとってそうありたい。日々の生活に追われ、ゆっくり過ごす時間をとることが難しい中、子供との時間、一人の時間どちらも大切だと思います。
- ・子どもが小さいため、コロナウイルスだけでなく、様々な病気について学び予防していきたい。また、今後は可能な範囲で運動習慣を身につけていきたい。
- ・福島県民の肥満度の高さが気になります。深刻に受け止め、自分も含め気をつけなければいけないと思っています。

(2) 自由記載（学童思春期：小学1～4年生 ※保護者記載）

アンケートの最後に、お子さんが健康に過ごすために大切だと思うことを、この調査の意見を含め自由に発言していただける欄を設けたところ、217名の方から、705件の意見が寄せられた。意見内容を分類した結果は下表のとおりである。

no.	項目	件数	順位
1	こどもの健康について	206	1
2	栄養・食生活について	124	2
3	健康全般について（規則正しい生活、生活習慣の改善等含む）	74	3
4	身体活動・運動について	71	4
5	睡眠・休養について（早寝早起き含む）	66	5
6	家族・友人等とのつながり	33	6
7	こころの健康について	22	7
8	子育てを取り巻く環境の整備について	22	7
9	メディアの利用について	18	9
10	喫煙について	15	10
11	新型コロナウイルス感染症について	8	11
12	歯・口腔の健康について	6	12
13	飲酒について	4	13
14	肥満・メタボリックシンドロームについて	2	14
15	その他	34	
合計		705	

以下に主な意見を抜粋し、掲載している。

- ・まだまだ周囲の大人が気をつけてあげないといけないと思った。
- ・親元を離れるまでは親の知識量が子育てに直結していくと思います。調査票を通し、食生活の見直しに繋げていこうと思うとともに、自分自身もっと新しい情報を取り入れながら子育てに役立てたいと思いました。
- ・食生活は生涯に渡って大切なものかと思います。どの品目をどのくらいの頻度で食べているのか、このアンケートで客観的にみることができました。
- ・安定した家庭環境。
- ・毎日の食事を大切にすること（家族でおいしく楽しく）日頃から食事を大切にするため、米とぎや、手伝い（野菜を洗って切ったり、みそ汁のみそを入れたりなど）、好き嫌いを減らすために、自分で食事を作る一部でも良いので手伝いを通して、意識付けしていくことも必要だと思います。
- ・食事を一緒にとる、食事の栄養バランスを考える。毎日「今日あったこと」などを話すようにしている。
- ・食事のメニューは、食欲につながるから大事だと思うが、まずは、食べる雰囲気（孤食じゃなく家族で楽しく）が、もっと大事だと思う。
- ・家族と一緒に食事をする。一緒に作って、食事の大切さを学ぶこと。

- ・食事は家族といっしょに1日1回は食べるように、話をしながらできればいいのかなと思います。
- ・笑うことで免疫があがると聞いたことがあります。家庭では、笑顔でおだやかな時間をすごせる工夫が必要と思い努力しています。
- ・規則正しい生活をしてスマホやタブレットはほどほどに使ってもらいたい。
- ・規則正しい生活、メディアコントロール。
- ・子どもだけでなく、親も一緒に、生活のリズムを整えています。毎日、体調が整う様に、食事面でも、生活面でも、ある程度親が努力をしないといけないと思います。親の言う事には従いませんが、やることには従うのが子どもだと思います。
- ・規則正しい生活を、家族1人1人が意識して送るよう、心掛けること。子供が安心して過ごせる環境をつくること。
- ・子供はまだ小さいので、健康に過ごすためには、家庭が一番大事だと思います。そのためにも、食事や、生活スタイルに気をつけながら、毎日をすごしたいと思います。
- ・少しでも身体を動かすことが大事だと考えているため、縄跳びを毎日行っています。バランスの摂れた食生活になるように心がけたいと思います。
- ・なかなか運動する機会が、取れていないのでメディアから離れる為にも、意識して外遊び等していきたいと改めて感じました。
- ・バランスの良い食事、規則正しい生活、適度な運動。そして、安心できる場所、見守ってくれている家族や気の合う友達・仲間がいるということを実感しながら過ごせることが大切であると思います。
- ・タブレットやゲームばかりでなく、子供らしく外で元気に遊ぶなど環境作りも大切だなと思います。
- ・健康に過ごす為には外で体を動かす場があればいいと思うが、福島市には小学生が遊べるような公園が圧倒的に少ない。近所にもっと気軽に遊べる公園を設置してもらいたい。
- ・学童のおやつ。スナック菓子がほぼ毎日で親としては与えたくない。成長期の子どもの体を考えた補食に変えてほしい。
- ・家族や環境（学校等）が少しずつ余裕のある時間を持てると、もっと健康にも向き合えると思いました。
- ・市で配布されたタブレットにブルーライトカットフィルムを追加配布して下さい。目の健康の為に。
- ・ストレスを溜めないために、がんばりすぎないこと。規則正しいばかりでなく、時々わがまま（夜更かしやゲームなど）も承認すること。
- ・健康には外的なものだけでなく精神面の影響も大きいので、学校のような決まりごとの多い集団生活のストレスへも、柔軟な対応が必要かと思います。
- ・食を通じて体をつくるのはもちろんですが、食事中一緒に過ごす、話を聞く事で心の健康にもつながると思います。
- ・バランスのとれた食事、運動を適度にする事。メディア時間を減らすこと。家族との交流、心身が安定するような生活が大切だと思います。
- ・食事や運動はもちろん大切なことですが身体だけではなく心の健康も大切だと思います。悩みや不安などを声に出せる環境を作れるように気をつけています。
- ・一番は、食事だと思います。バランスのとれた食事も大切ですが、家族の誰かと食べる。楽しい食事であるかも、体と心の健康につながると思う。
- ・規則正しい生活をする。好き嫌いせず色々な物をなるべく食べるようにする。家族の会話を多くし、子供の悩みやストレスに気付くようにする。
- ・良く食べ、良く動き、良く眠る。ストレスをためない。家族が仲良い環境。笑顔で過ごせる環境。
- ・家庭環境が一番大切だと思います。環境次第で食事の質も睡眠の質も変わってくると思います。学校で食育、生活習慣等を学習するだけでなく、家庭においても食事や睡眠等を話

- し合いながら、適切な生活習慣を探していけたらと思います。
- ・早寝、早起きの生活リズムをくずさず過ごすこと。昼間に身体を良く動かして夜、ゆっくり休める環境を作り、翌日に疲れを残さないように心掛けているつもりです。
 - ・バランス良く食べ、よく動き、笑い、よく寝る事。
 - ・父親に、室内でタバコを吸わないように、何度も注意しているが、聞き入れてもらえず、とても困っている。職場での教育もして欲しい。
 - ・食べもの、お酒・タバコは全て親の普段の摂取の仕方が子に影響すると思います。親が健康的な食生活を心がけることが大切だと思っています。
 - ・受動喫煙について。駐車場や街中で喫煙している人には子供の顔の高さや受動喫煙についての知識そのものがない様に感じる。たばこの灰が顔につく、火が目の近くに来る、なども気づきもしていないようで怖い。
 - ・好き嫌いをせず、何でも食べて、よく寝ることが、大切だと思う。家族がたばこを吸うのをやめてほしいと思うし、路上での歩きたばこや、他人が駐車場で喫煙するのを見かけるが、やめてほしい。
 - ・受動喫煙に気をつけることが必要と考えます。
 - ・たばこに関して、アイコスなどはどのように捉えたらいいのでしょうか。もっと安心して、子どもたちの遊べる、動ける場所が身近にあったらいいなと感じます。
 - ・コロナ禍で外出も制限されている状況ですが、人の多くない場所を選びながら外でもいっきり遊ばせ、太陽の下で体を動かすことが大切だと思います。
 - ・マスクを常に付けさせるのは、免疫力を低下させたり熱中症の原因になります。せめて体育の授業や昼休みの時間は外させて欲しいです！
 - ・外あそびをする。マスクをとれる広い場所で思いきりすごす。
 - ・コロナになってから（流行しはじめて）学校での歯みがきが中止となりました。そのせいかわかりませんが、子供の虫歯も増えました。学校から帰ってきてから歯みがきをすればという意見もありますが共働きの家庭ではなかなかそこまで手がまわらない気がします。安全面や感染面を考慮して、学校での歯みがきを今後どうするか検討して頂きたいです。
 - ・早寝早起きは、親の協力が不可決だと思いますが、仕事や他の兄弟の育児などで余裕がなくなるとイライラして、どうでもいいかなと思うこともあります。歯みがきなど誰か一人ではなく家族が協力して行うことが大切だと思います。

(3) 自由記載（学童思春期：小学5・6年生）

アンケートの最後に、自分自身や家族が健康に過ごすために必要なことを自由に発言していただける欄を設けたところ、297名の方から、557件の意見が寄せられた。意見内容を分類した結果は下表のとおりである。

no.	項 目	件 数	順 位
1	栄養・食生活について	125	1
2	喫煙について	116	2
3	睡眠・休養について（早寝早起き含む）	68	3
4	健康全般について（規則正しい生活、生活習慣の改善等含む）	62	4
5	飲酒について	49	5
6	身体活動・運動について	33	6
7	家族・友人等とのつながり	15	7
8	メディアの利用について	13	8
9	新型コロナウイルス感染症について	10	9
10	歯・口腔の健康について	8	10
11	こころの健康について	1	11
12	その他	57	
合 計		557	

以下に主な意見を抜粋し、掲載している。

- ・病気になりやすそうな物はなるべくひかえる。
- ・体に害のあるものを買ったり、かたよったご飯にしないことが必要。
- ・妊婦さんなどがいた場合タバコをすっている人をちがうところですってくださいと言う。
- ・大人になってもたばこを吸わないでいること。
- ・たばこをすってはいいいけど人の前ではすわないことが必要。
- ・タバコをすっていると、自分自身だけではなく、家族、知らないだれかにも悪えいきょうをおよぼす場合がある。だからタバコなどはやめるべきだ。
- ・すんでる家族にかんしゃして、くらししていきたいと思った。
- ・家族全員で3食食べる。
- ・家族や自分の事を大切にする。
- ・健康なものを飲食したり、家族にすすめたりする。たばこをやめるようにしている（いつもやめるよう言っている）。
- ・家族のみんなといっしょに病気にならないように工夫してくらす。たばこは、病気につながるかもしれないからきをつける。
- ・タバコや、アルコールを最少におさえる。毎日、かぞくとごはんを食べる。
- ・家族全員でお酒をひかえることやタバコをひかえるように呼びかけあって過ごすことが必要だと思いました。
- ・家族の1人1人がよびかける。
- ・ちゃんとしたすいみん時間をとる。野菜をちゃんと食べる。タバコやお酒をすわないのまない。ゲームやTikTok、ユーチューブをほどほどにする。

- ・栄養をちゃんととって、じゅうぶんにすいみんをとって、ゲームをやりすぎない。
- ・好ききらいをしないで食べる。早ね早起きをしてきそく正しい生活をする。テレビの時間などをできるだけへらす。
- ・すいみんや、バランスのととのった食事を3食しっかりたべることだと思います。ゲームはやってもいいけどいぞんしょうにならないでいどにやる。
- ・家族の人たちが、たばこをすっているので、私はやめてほしいなと思いました。みんなにけんこうでいてほしいので、お話してみる必要があるだと思います。
- ・どんなことが健康に悪いか知る。
- ・家族が健康に過ごすためには、自分自身も病気にかからないようにすること。
- ・できるだけ早ね、早おきをして体におわるいものなどをしないようにして家族で協力して健康に過ごす必要があると思います。
- ・やさいとお肉をきちんととって、みんなで健康でいてほしい。
- ・生活の中で「やってはいけないこと」や「自分の体を守れないこと」をやらないようにしたり「健康な体を作れること」を見つけてそれを実行することが必要だと思う。
- ・バランスのよい食事を心がけ、家族に運動不足たばこを吸っている人がいたら、運動をすすめたばこを吸わないように言う。
- ・朝は早く起きて夜は早くねて子供の場合いっぱい遊んで大人は会社へ社会（未来）のために働くことだと思います。
- ・適度に運動をしたり、しっかり朝ごはんなどを食べたりすることが必要だと思います。他にも、家族の人との会話をして、明るい家庭にすることも必要だと思います。
- ・早寝、早起きで外で楽しく体を動かすことだと思います。
- ・ばらんすのよい、しょくじや、てきどなうんど。たばこ、ビールののみすぎやかいすぎをちゅういすることが必要だと思います。
- ・きそく正しい生活リズム（早ね早おき朝ごはんなど）ですごすことだと思います。ほかに、1日3食きっちり食べる、塩分やとう分のとりすぎに気をつける、主食・主菜・副菜・汁物のごはんを心がける。適度に体を動かす。お酒やたばこは適量を心がけるなどのことをすればもっと健康に過ごせると思います。
- ・運動は、これからも沢山つづけていきたいです！
- ・毎日1日3食で栄養バランスをしっかり考えて食べる。晴れの日には外で体を動かし雨の日には家で軽い運動をして健康な体をつくる。すいみん不足にならないようになるべく早くねて、早く起きること。
- ・ゲームをやりすぎない。家族全員毎日3回歯をみがく。
- ・早寝、早起き、朝ごはん、歯みがき、運動、お話。
- ・みんな歯みがきを3回やるといいと思います。
- ・たばこをすわないこと早ね早起きです。たばこをすわないこと（めんえき力がさがってコロナになる）。
- ・たばこや酒などを飲まずにすごすこと。一日三食しっかりバランスよく食べる事。てきどなすいみんをとる事。コロナにならないようマスクをする事。
- ・ゲームやテレビなど、目が悪くなるものを長時間やらない。
- ・みんなが協力し、かならず手あらいうがいをする。
- ・相手の気持ちを考えたり、このように考える時間を多くとり、人々がもっとおだやかにすごせるように1人1人が願うことが必要だと思います。

(4) 自由記載（学童思春期：中学生）

アンケートの最後に、自分自身や家族が健康に過ごすために必要なことを自由に発言していただける欄を設けたところ、540名の方から、894件の意見が寄せられた。意見内容を分類した結果は下表のとおりである。

no.	項目	件数	順位
1	栄養・食生活について	213	1
2	健康全般について(規則正しい生活、生活習慣の改善等含む)	181	2
3	睡眠・休養について(早寝早起き含む)	130	3
4	身体活動・運動について	70	4
5	喫煙について	68	5
6	飲酒について	35	6
7	こころの健康について	28	7
8	新型コロナウイルス感染症について	11	8
9	家族・友人等とのつながり	11	8
10	メディアの利用について	4	10
11	子育てを取り巻く環境の整備について	1	11
12	生きがい・趣味について	1	11
13	その他	141	
合計		894	

以下に主な意見を抜粋し、掲載している。

- ・家族みんなの栄養バランスに気をつかって安んじて食べられる食べ物を自分で選びたいなと思いました。
- ・食事面では、栄養バランスを考え、スマホなどを使うときは、時間を決めて使う。
- ・互いに声をかけ合って食生活など、自分ができることは積極的に行うことが大切。
- ・日常生活でいっしょにごはんとかを食べられたりすれば仲が深められると思いました。
- ・栄養をしっかりとることや、休養を十分にとることが必要だと思いました。日々の手洗いやうがい、消毒なども大切だと思います。
- ・ダメな事は注意し合う。早寝早起きを心がける。
- ・自分の体のことを考えて、食べるものや量を決めたり、早寝・早起きをして疲れをためないようにしたりすること。
- ・家族内でしっかりと睡眠をとるように呼びかけ合ったり、互いに食生活に気を付ける必要があると思う。
- ・生活意識を高める生活リズムを整える。
- ・自分自身の健康はもちろん、家族の事も考えて生活することが必要だと思います。
- ・1日に3食をとることや、寝る時間をきちんと確保し、家族で一団となり規則正しい生活を送れるように心がけることが大切だと思う。
- ・お互いの食生活をお互いに気にし合い、管理していくことが必要だと思う。また、受験生ということもあり部活を引退したので運動を家族で行いたい。

- ・適度な運動をこころがけ相手を気づかったり、ささえ合うことが必要。
- ・日常の生活の中でも、食事・運動のバランスがかたよらないように心がけて生活する。
- ・1日1日の食を大切に、栄養バランスのよい食事をとり、程度な運動をすること。
- ・早寝、早起き、朝ごはんを、ちゃんとして夜も早く寝て勉強と運動を両立すること。また、手伝いや休養。
- ・かるくでも体をうごかして、早ね早おきをして、バランスのよい食じをする。
- ・ご飯をしっかり食べ、じゅうぶんに寝ること。また、野菜やフルーツを食べたり適度な運動も大切だと思う。
- ・たばこやお酒などを過度に摂取することなく適度に楽しむことのできる環境作りと人にたばこなどをすすめられても断る勇氣が必要であると思いました。
- ・子どものうちからタバコは吸わないで大人になっても吸わずに生活していく。
- ・周りの人に影響がおよんでしまうと自分がやったことで、となってしまうから、自分のことだけでなく他の人のことも考えてお酒を飲んだりたばこをすったりしないといけないと思う。
- ・大人は飲酒やきつえんをほどほどにし、未成年は、絶討にしない。仲良く過ごす。
- ・タバコを吸うときは、人がいない所や外で吸ったりするなど、家族のことを考えて行動することが必要だと思います。
- ・毎日バランスのよい食事をとり、運動すること。メディアの時間を減らしたり、体調や体重に気をつけたりすること。お酒をあまり飲まず、たばこをすわない。
- ・毎日の生活しゅうかんをしっかりする。望まぬ、飲酒や喫煙はしない。
- ・たばこを吸う場所を決める。適度に運動する。
- ・家庭での受動喫煙を減らすこと。路上などでの喫煙を減らすこと。
- ・1人1人が健康に対する意識をたかめる。ストレスを相手にあたえたりしないように自分の行動を見なおしたりしたらいいと思う。
- ・ストレスもなく、病気にもならないこと。1日3食、休養をしっかりとること。
- ・ストレスをためない規則正しい生活をする。
- ・心と体の健康維持。他人のことをできるだけ思いやる、たくさん笑う。
- ・ストレス等を溜めたりしないように工夫していくことが必要だと思う。寝る時間を決めたりして、しっかり睡眠時間を確保しておく。
- ・ストレスをためない（解消方法を見つける）。
- ・規則的な生活を心がけ、何事にも依存しないことが必要だと思う。
- ・不安が少なく、相談できる相手が身近にいる。
- ・家族1人1人が生活習慣をととのえコミュニケーションをとりながら生活していくこと。
- ・定期的に運動したり、みんなで今日あったことなどを話す。みんなで助け合う。
- ・生活習慣を整えたり、家族だんらんの時間を作ったりする。
- ・コロナから身を守り、マスク、手洗いうがいをする。
- ・コロナで失った安心・安全なあたり前の生活に早くもどること。
- ・今だったら、しっかりと新型コロナウイルスの対さくをしたり、自分だけじゃなく、みんなで気をつけることが大切だと思います。
- ・みんなでささえあって、思いやりの気持ちをもってくらすことが大切だと思う。
- ・多少のルールと自由な時間。
- ・安心してくらすことができる地域をつくることが必要だと思います。子どもやおとしよりの方でも安全に利用できるよう道路整備をしたり、夜間の病院を多くしたりしていったらいいと思います。
- ・楽しくにぎやかに暮らしたらいい。

(5) 自由記載（学童思春期：高校生）

アンケートの最後に、自分自身や家族が健康に過ごすために必要なことを自由に発言していただける欄を設けたところ 822 名の方から、1,288 件の意見が寄せられた。意見内容を分類した結果は下表のとおりである。

no.	項 目	件 数	順 位
1	栄養・食生活について	283	1
2	健康全般について(規則正しい生活、生活習慣の改善等含む)	241	2
3	睡眠・休養について（早寝早起き含む）	163	3
4	身体活動・運動について	121	4
5	家族・友人等とのつながり	78	5
6	こころの健康について	52	7
7	飲酒について	21	8
8	新型コロナウイルス感染症について	12	9
9	子育てを取り巻く環境の整備について	4	10
10	メディアの利用について	3	11
11	生きがい・趣味について	3	11
12	歯・口腔の健康について	1	13
13	子どもの健康について	1	13
15	その他	251	2
合 計		1,288	

以下に主な意見を抜粋し、掲載している。

- ・食べようとしている食品に書かれた成分表をしっかりと見る。
- ・食生活等に気を付けて、生活習慣病にならないよう気を付ける。
- ・3食をバランスよくしっかりととり、スマホなど健康に影響をおよぼすものを使いすぎない。
- ・相手の気持ちを考えて行動したり、発言する。協力し合う。健康的な食べ物をオススメしたり、あまりお菓子などを食べすぎないように注意する。
- ・お互いに健康に注意を払い、もし問題点があれば気軽に指摘し合える関係を築くこと。
- ・平日と休日で生活のリズムを変えないこと。
- ・自らが健康に対して意識をもつこと。また、意識をもたせるような外部からのアクションを起こすこと。
- ・健康になれる方法を知り、無理しない程度に活用すること。
- ・家族内でアドバイスし合うこと、もし家族が食べすぎていたり食べなすぎていたりしたら、声を掛けてあげることなど。
- ・家族への思いやりの気持ち。
- ・家族みんなで健康にどう過ごすかを話し合っ、実践してみることが必要だと思う。
- ・手洗いうがいの徹底、家族間のコミュニケーション規則正しい生活。
- ・常に家族が健康であるかどうか知るために会話をして少しの変化でも気づけるようにしておくこと。

- ・毎日笑うこと。健康的な家庭環境。
- ・家族、1人1人が健康についての大切さを知りやれることから一つ一つ進めていく必要があると思う。
- ・自分と家族がお互いに助け合いながら衣食住をしていくことが大切だと思う。
- ・家族のちょっとした変化に気づいて声をかけること。
- ・家族で協力してまずは食生活からみなおすことが必要だと思いました。
- ・毎日適度な運動に栄養バランスのとれた食事、体に悪い事はしないということが必要。
- ・学校の授業以外でも適度な運動をする。
- ・伸びのびと外で運動したりバランス良く食事をする事。
- ・お互いが呼びかけて運動をすること、バランスに気を付けた食事をする事。
- ・検診をおこたらないこと、変化があったとき誰かにいう、お互いの健康意識を大切にす、食事・運動・生活習慣を見直す。
- ・食べ物をしっかりまんべんなく食べ、運動もできる範囲でやる必要がある。
- ・規則正しい生活を心がけ、体調面においても家族を気にかけて、すいみんをしっかりとり、毎日3食しっかりと食べる。運動（軽い散歩など）をするようにする。毎日家族一緒に食事をして何か今日あったことを喋るようにする。
- ・早寝早起。朝ごはん+昼ごはん+夜ごはん、お風呂。
- ・たくさん食べて、思いきり運動して、いっぱい寝る。
- ・よく食べて、うごいて、ねること。健康的な生活であっても、ストレスがない生活の方がいいと思う。
- ・よく食べて、よく寝る、ストレスを解消すること。
- ・毎日規則正しい生活をして、ストレスをあまりためず元気に過ごせる環境が必要だと思う。
- ・バランスの良い食生活、適度な運動をする。体に悪いことをしない。ストレス発散ができるようにする。
- ・何でも相談したり言い合えたりする関係、ストレスが無くなる。
- ・笑顔で過ごす。テイクアウトや外食を控え、野菜を多く取り入れた食事をとる。ストレスを上手に解消して明るく暮らす。
- ・体の面では、運動やバランスの良い食事をする事、心の面では、ストレスなどがたまらないよう、相手のことも考えながら環境づくりをすることだと思う。
- ・禁煙の場が増えている中、路上での喫煙も増えているから、たばこをなくす。
- ・食生活と生活リズムを整えることだと思います。また、未成年の場合は飲酒、喫煙もやめるべきだと思う。
- ・飲酒、喫煙をなるべくさけて、十分な食事、休養を取り、毎日を楽しみと思えるようにすること。
- ・他の人が将来たばこを吸っていたりしても、つられないで自分の身の安全を最優先にすることが大切だと思います。
- ・母や父は私のために、たばこをやめたので、そんなふうには、他の人の気持ちや健康を考えられるような意識を持つ。
- ・「人のために」という気持ちを持てば、タバコだって喫煙している人も何かが変わると思う。
- ・たばこを吸わずにがんにかかる影響を減らしたり、栄養のある食事をしっかりとることが必要だと思う。
- ・現在のような、コロナの影響が拡大しているなかで、1人1人が意識してその課題について考えて自分ができることをしていく必要がある。
- ・今のご時世は、とにかく手洗い、うがい、アルコール、マスクが大事だと思います。
- ・皆がちゃんとした生活をし、今は、かぜやコロナにならないように気をつけることが必要だと思います。
- ・睡眠をしっかりとる。家族や友だちと話す時間や1人の時間(好きなことをする)をもつ。

- ・自分自身のことだけでなく、家族みんなで健康に過ごせるように心がけることが大切だと思う（バランスの良い食事をつくる、家族の時間・個人の時間をともに大事にするなど）。
- ・学校ではじめがない環境をととのえる。
- ・早寝早起き、3食欠かさず食べて歯もみがき適度に体を動かして楽しく生きること。
- ・お互いが、尊重しあい、時には、一步どちらかが引く勇気をもつこと。
- ・嫌なものに近づき過ぎないこと。やりたいことを我慢し過ぎないこと。

(6) 自由記載（年代別の順位）

年代	1位	2位	3位	4位	5位
小学1～4年生	子どもの健康	栄養・食生活	健康全般	身体活動・運動	睡眠・休養
小学5・6年生	栄養・食生活	喫煙	睡眠・休養	健康全般	飲酒
中学生	栄養・食生活	健康全般	睡眠・休養	身体活動・運動	喫煙
高校生	栄養・食生活	健康全般	睡眠・休養	身体活動・運動	家族・友人
一般	健康全般	家族・友人	新型コロナ	地域活動	栄養・食生活

原文の意味を損なわない範囲で
一部修正しました。
ご協力ありがとうございました。

